

User Manual

Network Camera

FuLSupoカメラ[AIシリーズ] 全共通



V4.01

目次

第1章 製品の説明	4
1.1 製品の概要	4
1.2 主な機能	4
1.3 システム要求	6
第2章 設定フロー	7
第3章 ネットワーク接続	9
3.1 LAN 経由でのカメラの設定	9
3.1.1 カメラを PC に直接接続する	9
3.1.2 スイッチまたはルーターを介して接続する	9
3.2 動的 IP 接続	9
第4章 ネットワークカメラへのアクセス	11
4.1 IP アドレスの割り当て	11
4.1.1 スマートツールを使用した IP アドレスの割り当て	11
4.1.2 ブラウザを介して IP アドレスを割り当てる	14
4.2 Web ブラウザからのアクセス	16
4.3 バックエンドソフトウェアからのアクセス	17
4.3.1 NVR（ネットワークビデオレコーダー）からのアクセス	17
4.3.2 CMS（中央管理システム）からのアクセス	17
4.3.3 VMS Enterprise からのアクセス（ビデオ管理システム）	18
第5章 ライブビュー	19
5.1 ライブビデオ	19
5.2 顔検出モード	22
5.3 PTZ モード	25
5.3.1 ライブビューページでの操作	25
5.3.2 3D ポジショニング	26
5.3.3 プリセットの設定/呼び出し/パトロール/パターン	26
第6章 再生	32
第7章 設定	36
7.1 メディア	36
7.1.1 ビデオ	36
7.1.2 画像	38
7.1.3 オーディオ	52
7.2 ネットワーク	54
7.2.1 基本	54
7.2.2 アドバンス	62
7.3 ストレージ	68
7.3.1 ストレージ管理	68
7.3.2 録画設定	69
7.3.3 スナップショット設定	71
7.3.4 エクスプローラ	72
7.4 イベント	73
7.4.1 基本イベント	73
7.4.2 VCA イベント	80
7.4.3 人数カウント	101
7.4.4 顔検出	115
7.4.5 ヒートマップ	121
7.5 PTZ	128
7.5.1 基本	128
7.5.2 オートホーム	131
7.5.3 PTZ 制限	131
7.5.4 初期位置	133
7.5.5 プライバシーマスク	133
7.5.6 スケジュールタスク	135
7.5.7 自動追尾	136

7.5.8	設定クリア	138
7.5.9	RS485	138
7.5.10	ステータス	139
7.6	システム	139
7.6.1	システム設定	139
7.6.2	セキュリティ	142
7.6.3	ログ	146
7.6.4	メンテナンス	147
7.7	トラブルシューティング	151

第1章 製品の説明

1.1 製品の概要

費用対効果が高く信頼性の高い、一貫した範囲のネットワークカメラを提供するこの製品は、お客様の要件を完全に満たすことができます。組み込みLinuxオペレーティングシステムに基づき、ネットワークカメラはローカルまたはリモートで簡単かつ確実にアクセスおよび管理ができます。また、高性能DSPビデオ処理モジュールを内蔵したこのカメラは、低消費電力と高安定性を誇ります。最新のH. 265/ H. 264/MJPEGビデオ圧縮アルゴリズムと、業界をリードするHDデュアルストリームテクノロジーをサポートし、限られたネットワークリソースで最高レベルのビデオ画質を実現します。完全に機能的なこのカメラは、柔軟で包括的なアラームリンケージメカニズム、デイ/ナイト自動スイッチ、プライバシーマスキングなどをサポートしています。

実際のアプリケーションでは、ネットワークカメラはLAN内で独立して動作するか、強力な安全監視システムを形成するためにネットワーク化されます。金融、教育、工業生産、民間防衛、ヘルスケアなどの分野で安全のために幅広く利用されています。

1.2 主な機能

システム

- 内蔵WEBサーバー、IE/Firefox/Chrome/Safariブラウザをサポート
- 高い信頼性のLinuxOSベース
- プラグインフリーモードをサポート
- カメラのセキュリティ保護用の質問のアクティブ化と設定をサポート
- ONVIFプロファイルG&Q&S&Tをサポート
- 柔軟な管理のための3つのユーザー特権レベル
- マイクロSD/SDHC/SDXCカードのローカルストレージサポート、エッジストレージの拡張

画像

- 0.001Lux超低照度
- スマートIR IIテクノロジー
- 4Kビデオ視聴体験
- P-アイリスコントロール
- Super WDR Pro
- HLCをサポート
- BLCをサポート
- 自動切り替え付きICRフィルターにより、高品質の昼夜監視を保証
- コリドーモード

ビデオ

- H. 265/H. 264/MJPEGビデオ圧縮機能
- 10レベルの調整可能なH. 265+ビデオ圧縮技術によって70%~80%の帯域幅が節約
- プライマリストリーム/セカンダリストリーム/ターシャリストリームをサポート
- スマートストリームをサポート
- リアルタイムビデオ信号増幅

オーディオ

- G. 711/AACオーディオ圧縮機能
- オーディオI/Oをサポート

通信網

- カメラの管理を容易にするUPnPプロトコル
- DDNSをサポート
- FTPアップロード、SMTPアップロード、SDカード録画

高度な機能

- モーション検出、プライバシーマスク、ネットワーク障害検出、ROI
- AIビデオコンテンツ分析をサポート
- 人数カウント機能のサポート
- 顔検出機能をサポート
- ヒートマップ機能をサポート

ハードウェア

- 電源用のPoEをサポート
- アラームI/Oをサポート
- 内蔵マイク
- IK10定格の耐衝撃保護等級、およびIP67定格の防水防塵保護等級

PTZ

- プロドームPTZは最大42倍ズーム、プロバレットPTZは12倍ズーム、ドーム型PTZは最大23倍ズーム
- プロドームPTZは、360度連続水平回転と-5度~90度（オートフリップ）垂直回転
- プロバレットPTZは、360度の連続水平回転と-45度~30度の垂直回転
- ドーム型PTZは、360度連続パンおよび-5度~90度（オートフリップ）垂直回転
- 300のプリセット、8つのパトロール、4つのパターン
- 自動追尾、3Dポジショニング、PTZモーション、PTZ制限、スケジュールされたタスク、および自動ホーム機能
- プロバレットPTZはホワイトLED付き

※ローリングシャッター方式の防犯カメラには、速く動く被写体を撮影した場合大きく歪み実際とは大きく異なる映像が出力される可能性があります。

1.3 システム要求

オペレーティングシステム : Windows XP/Vista/7/8/10/Server 2000/Server 2008

CPU : 1.66GHz以上

RAM : 1G以上

グラフィックメモリ : 128MB以上

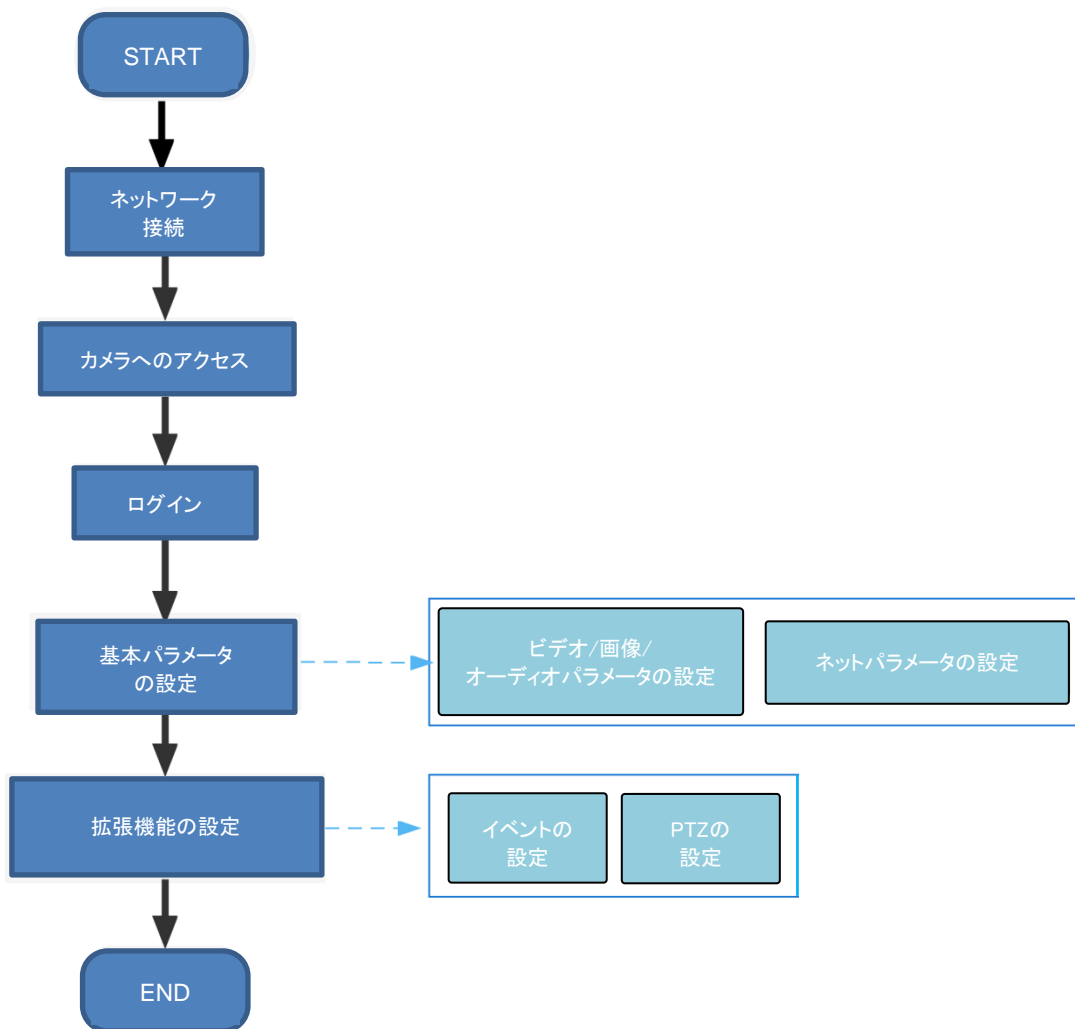
インターネットプロトコル : TCP/IP (IPv4/IPv6)

Webブラウザ : Internet Explorer 8.0以降のバージョン、Mozilla Firefox、Google Chrome、およびSafari

第2章 設定フロー

カメラの設定フローを次の図に示します。

注意：設定は、さまざまなモデルの実際の状況に基づく必要があります。



次の表に、設定の詳細を示します。

表1. フローの説明

設定	説明	参照
ネットワーク接続	ネットワークカメラを接続します。LANまたは動的IP接続を介してカメラを設定できます。	3.1 LAN経由でのカメラの設定
ネットワークカメラへのアクセス	IPアドレス、Webブラウザ、バックエンドソフトウェアからのアクセスが可能です。	4.1 IPアドレスの割り当て
基本パラメータの設定	カメラにログインした後、必要に応じてビデオ/画像/オーディオ/ネットワークのパラメータを調整できます。	7.1 メディア 7.2 ネットワーク
高度な機能の設定	VCAや人数カウントなどの高度な機能を設定します。	7.4 イベント

第3章 ネットワーク接続

3.1 LAN経由でのカメラの設定

カメラをスイッチまたはルーターに接続するのが最も一般的な接続方法です。カメラには、LANと互換性のあるIPアドレスを割り当てる必要があります。

3.1.1 カメラをPCに直接接続する

この方法では、カメラに接続されているPCのみがカメラを表示できます。カメラには、互換性のあるIPアドレスをPCに割り当てる必要があります。詳細を下図に示します。



3.1.2 スイッチまたはルーターを介して接続する

次の図を参照して、スイッチまたはルーターを介してLAN経由でネットワークカメラを設定します。



3.2 動的IP接続

ステップ1: ネットワークカメラをルーターに接続します。

ステップ2: カメラで、LAN IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを割り当てます。

- ステップ3： ルーターで、ポート転送を設定して下さい（例えば80、8000および554ポート）。
ポート転送の手順はルーターによって異なりますので、ポート転送の方法については、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ステップ4： ドメイン名のプロバイダーから提供されたドメイン名を使用してください。
- ステップ5： ルーターの設定インターフェースでDDNS設定を行います。
- ステップ6： ドメイン名でカメラにアクセスしてください。



※ 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等で経由し接続してください。

第4章 ネットワークカメラへのアクセス

4.1 IPアドレスの割り当て

ネットワークカメラにアクセスするには、IPアドレスを割り当てる必要があります。ネットワークカメラのデフォルトのIPアドレスは192.168.5.190です。

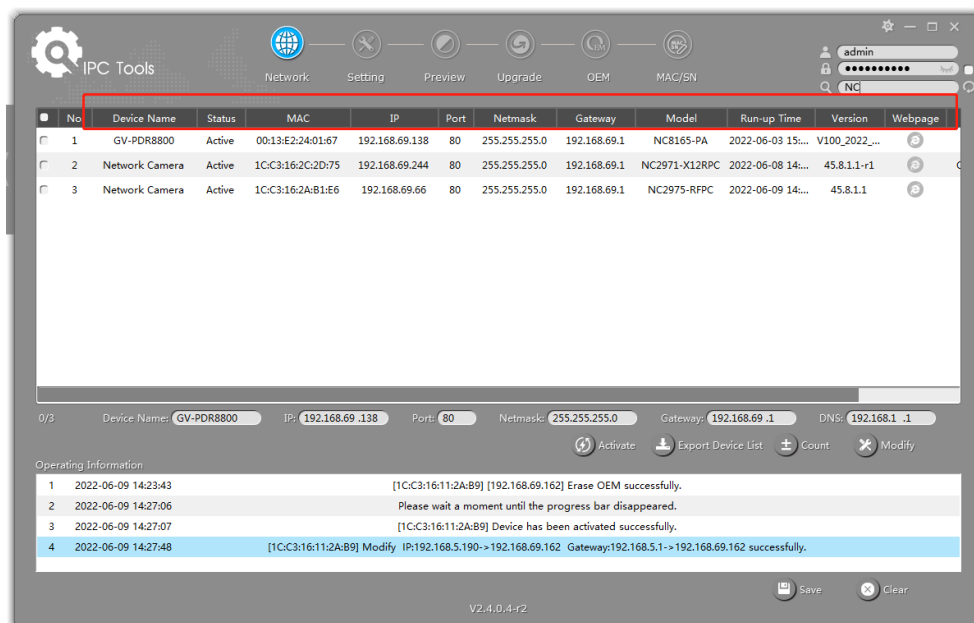
スマートツールまたはブラウザを使用して、カメラのIPアドレスを変更できます。お使いのパソコンと同じLANにカメラを接続してください。

4.1.1 スマートツールを使用したIPアドレスの割り当て

スマートツールは、LAN内の複数のオンラインネットワークカメラを自動的に検出し、IPアドレスを設定し、ファームウェアのアップグレードを管理できるソフトウェアツールです。複数のカメラにIPアドレスを割り当てる場合に使用することをお勧めします。

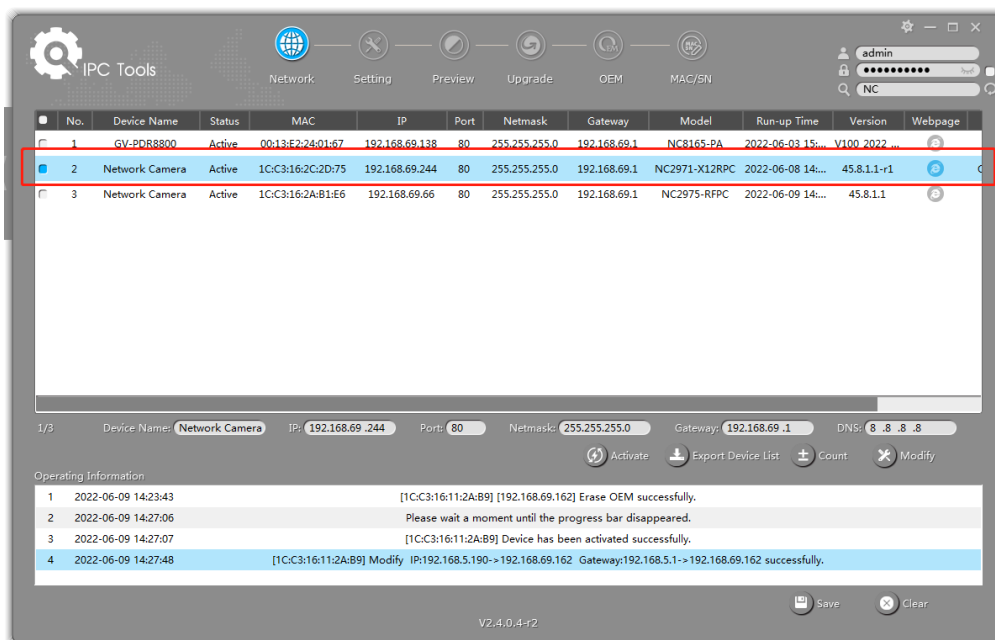
ステップ1: スマートツールをインストールします（ソフトウェアは当社のWebサイトからダウンロードできます）。

ステップ2: スマートツールを起動し、[IPCツール]ページのボタンをクリックして、IPアドレス、MACアドレス、ステータス、ポート番号、ネットマスク、ゲートウェイなどのデバイス情報を入力すると、同じネットワーク内の関連するすべてのネットワークカメラが表示されます。詳細は下図のようになります。

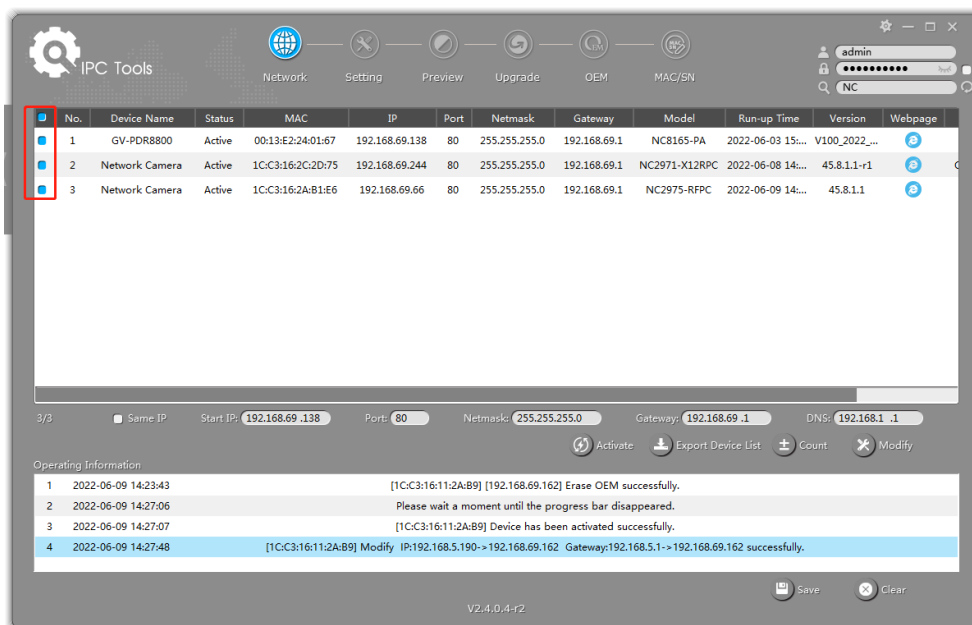


ステップ3: MACアドレスに従って1台または複数のカメラを選択します。

単一のカメラを選択:



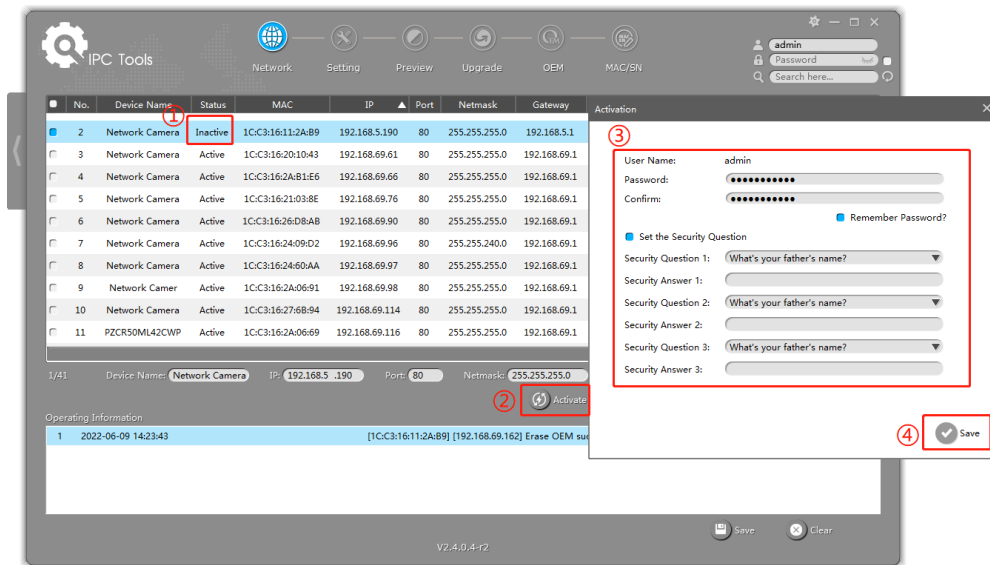
複数のカメラを選択:



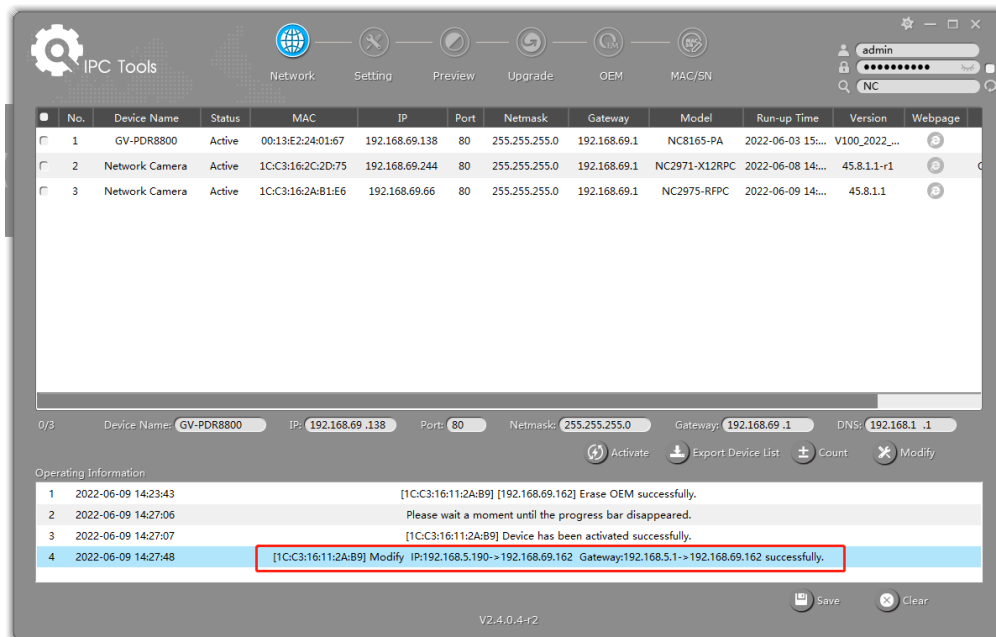
ステップ4: 選択したカメラのステータスバーに「無効」と表示されている場合は、「有効化」をクリックして、初めて使用するときにパスワードを設定します。パスワードを忘れた場合に備えて、カメラを有効化するときセキュリティの質問を設定することもできます（3つのセキュリティの質問に正しく答えることでパスワードをリセットできます）。[保存]をクリックすると、アクティベーションが成功したことが示されます。

注意:

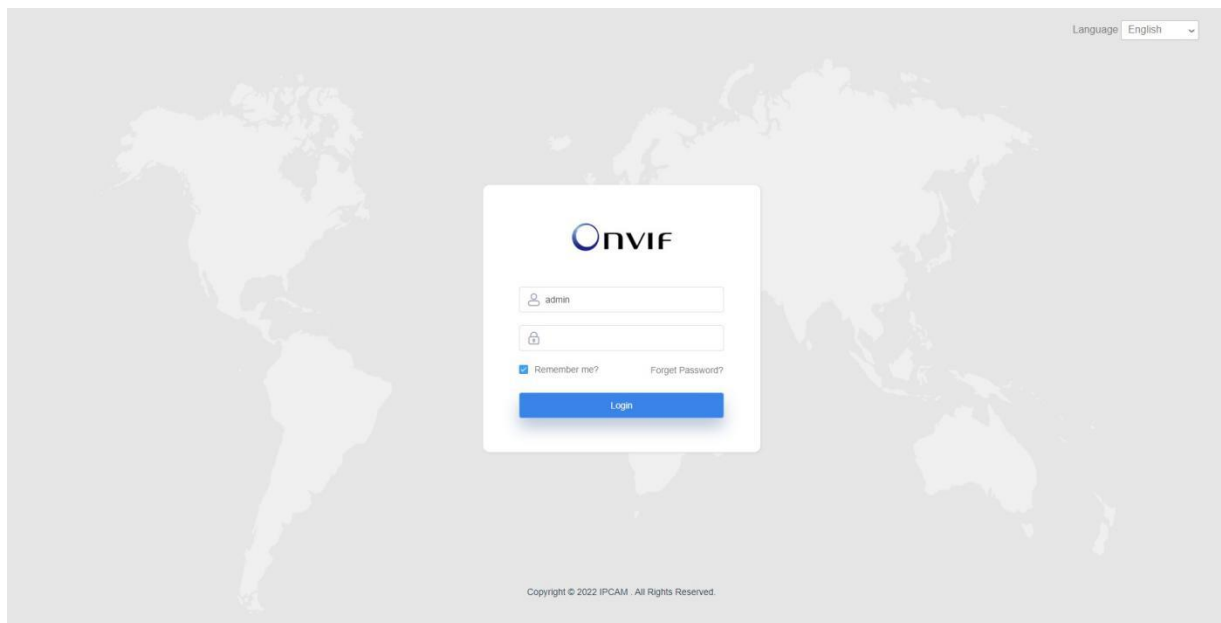
- パスワードは8~32文字で、少なくとも1つの数字と1つの文字を含む必要があります。
- カメラの有効化は、スマートツールのバージョンをV2.4.0.1以降にアップグレードする必要があります。



ステップ5：アクティベーション後、IPアドレスやその他のネットワーク値を変更し、「変更」ボタンをクリックすることができます。



ステップ6：選択したカメラまたは目的のカメラのブラウザをダブルクリックすると、Webブラウザから直接カメラにアクセスできます。Internet Explorerウィンドウがポップアップ表示されます。



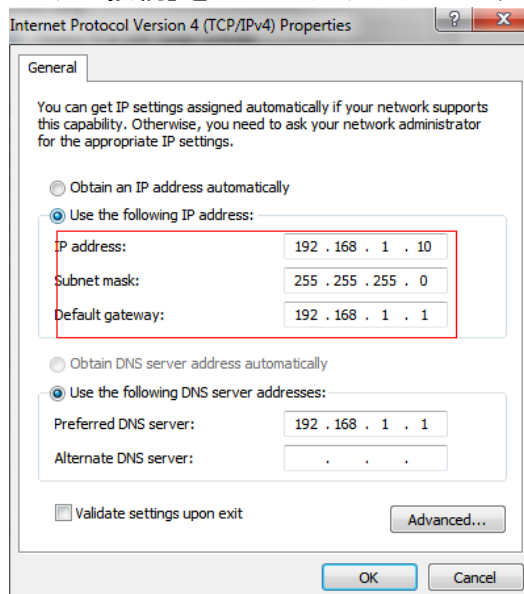
スマートツールのその他の使用法については、スマートツールのユーザーマニュアルを参照してください。

4.1.2 ブラウザを介してIPアドレスを割り当てる

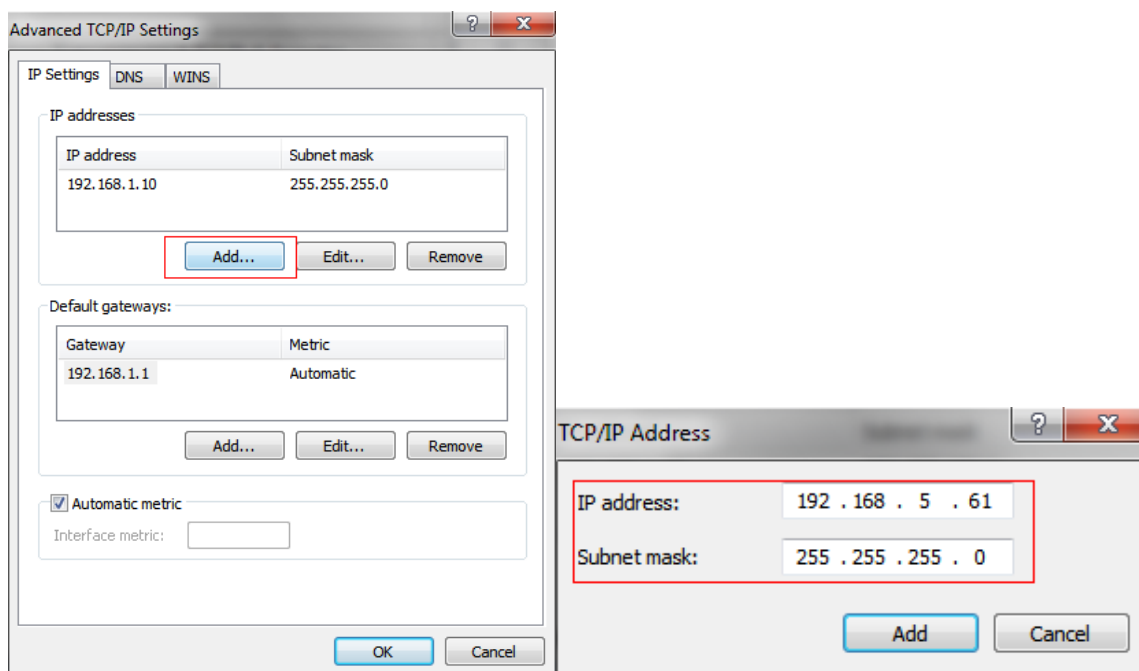
PCのネットワークセグメントとカメラのネットワークセグメントが異なる場合は、次の手順に従ってIPアドレスを変更してください。

ステップ1 : PCのIPアドレスを192.168.5.0セグメントに変更します。以下の2つの方法があります。

a. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。



「詳細」をクリックし、「IP設定」→「IPアドレス」→「追加」をクリックします。ポップアップウィンドウで、ネットワークカメラと同じセグメントにあるIPアドレスを入力します（例：192.168.5.61。ただし、このIPアドレスは既存のネットワークのIPアドレスと競合しないことに注意してください）。



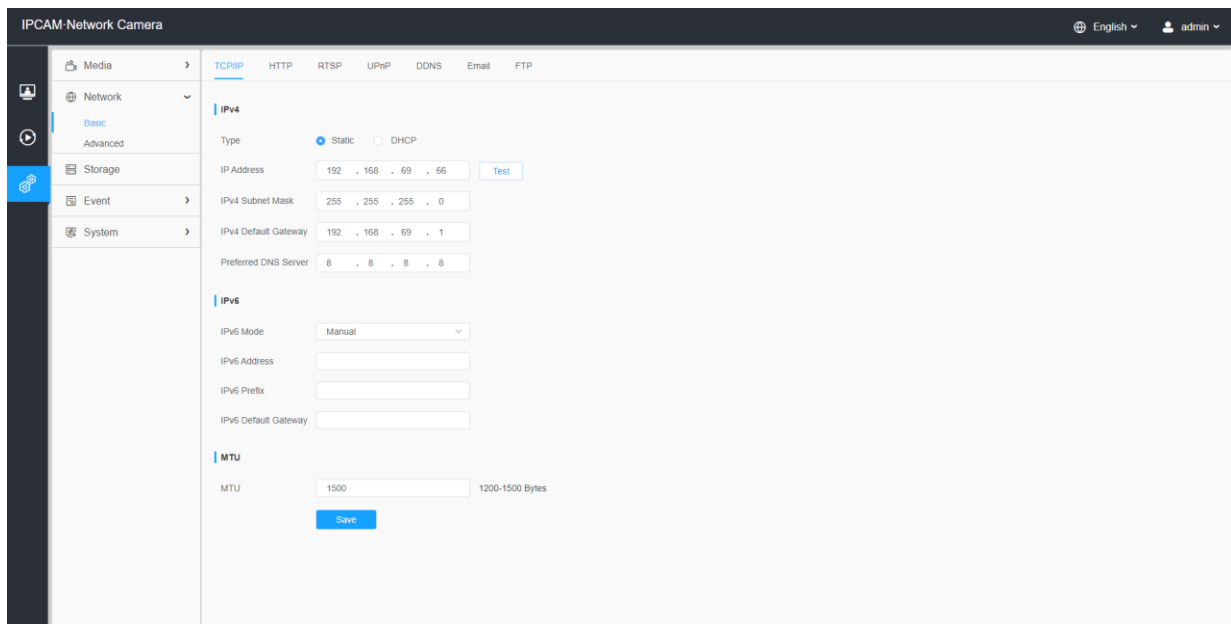
ステップ2: ブラウザを起動します。アドレスバーに、カメラのデフォルトのIPアドレスを入力します。 <http://192.168.5.190>;

ステップ3: 初めて使用する場合は、最初にパスワードを設定する必要があります。また、アクティベーション後にデバイスに3つのセキュリティの質問を設定することもできます。次に、ユーザー名（admin）とカスタムパスワードを使用してカメラにログインできます。

注意:

- パスワードは8～32文字で、少なくとも1つの数字と1つの文字が含まれている必要があります。
- 事前にセキュリティ保護用の質問を設定しておけば、ログインページの「パスワードを忘れた場合」をボタンをクリックして、パスワードを忘れたときに3つのセキュリティ保護用の質問に答えることでパスワードをリセットできます。

ステップ4: ログイン後、「設定」→「ネットワーク」→「基本」→「TCP/IP」を選択してください。[ネットワーク設定]ページが表示されます（下の図を参照）。



ステップ5：IPアドレスまたはその他のネットワーク値を変更します。次に、「保存」ボタンをクリックします。

ステップ6：デフォルトIPアドレスの変更が完了しました。

4.2 Webブラウザからのアクセス

このカメラは、最も標準的なオペレーティングシステムとブラウザで使用できます。そして、カメラはプラグインフリーモードをサポートするようにアップグレードされました。プラグインフリーモードでは、プラグインすることなくブラウザでビデオをプレビューできます。現在、プラグインフリーモードは、Windowsシステム、MACシステム、iOSシステム、AndroidシステムのFirefox、Google Chrome、Safari、Edgeブラウザでサポートされています。

H. 265とH. 264の両方のビデオコーデックは、カメラのプラグインフリーモードでサポートされており、デフォルトでセカンダリストリームを再生します。

注意：

- V4x. 7. 0. 74より前のファームウェアの場合は、ネットワークカメラをV4x. 7. 0. 74以降にアップグレードしてください（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。
- V4x. 7. 0. 74以降では、ブラウザを設定しなくてもプラグインフリーモードを利用できます（ブラウザを最新バージョンにアップグレードしてください）。

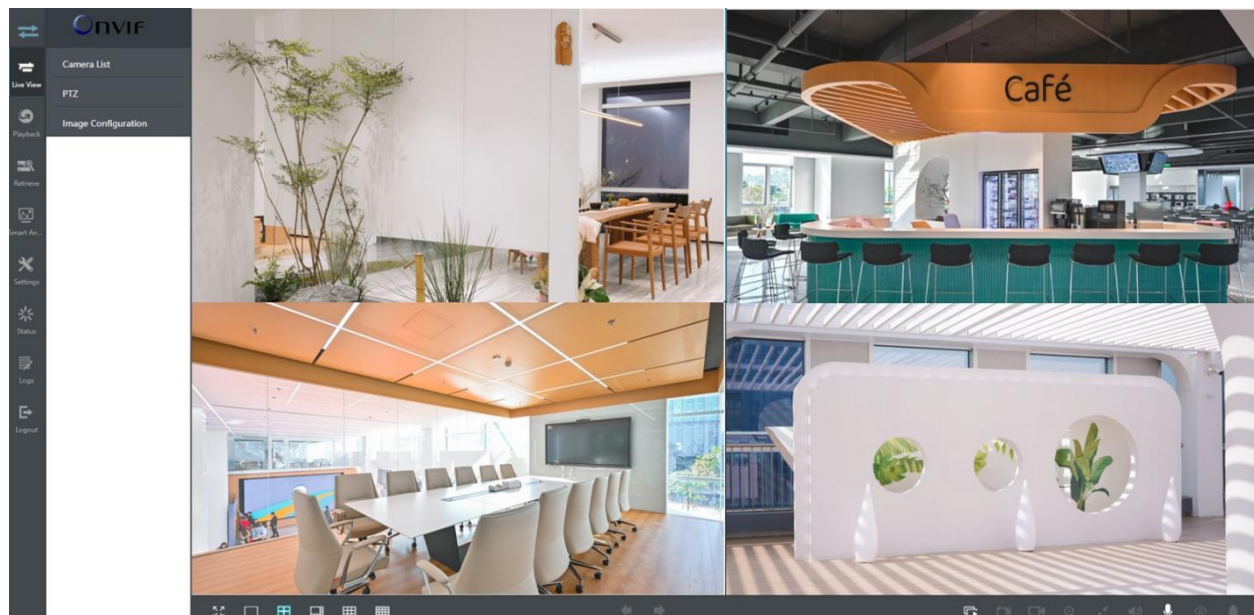
4.3 バックエンドソフトウェアからのアクセス

4.3.1 NVR（ネットワークビデオレコーダー）からのアクセス

NVRシリーズはネットワークカメラで動作します。組み込みLinuxオペレーティングシステムに基づいて、NVRシリーズはHDビデオデータを管理および保存します。マルチディスク管理システム、フロントエンドHDデバイス管理システム、HDビデオ分析システム、およびビデオ用の大容量システムを所有しています。

また、マルチチャンネルビデオデコーディングを備えた大流量データネットワーク送受信の技術を採用し、インテリジェントな管理、安全なストレージ、HDデコーディングなどの機能を実現します。

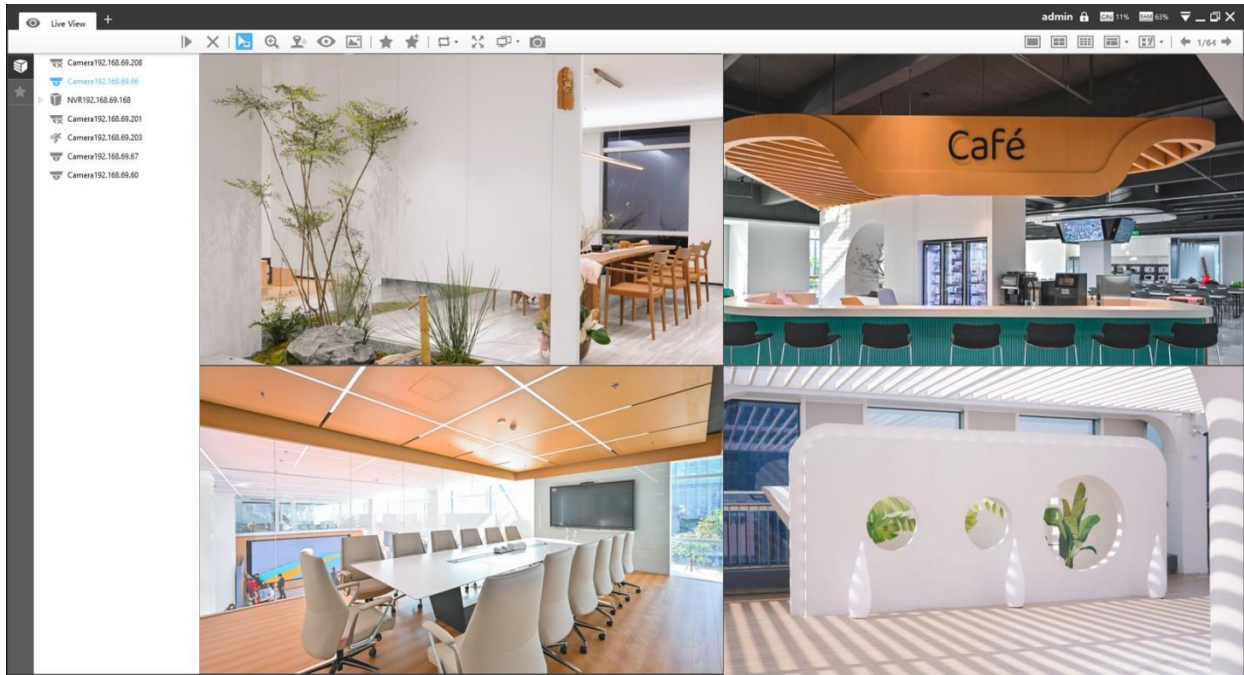
NVRシリーズの使用方法の詳細については、NVRユーザーマニュアルを参照してください。



4.3.2 CMS（中央管理システム）からのアクセス

中央管理システム（CMS）は、ネットワークカメラと NVR のための中央管理システムです。最大 256 台のデバイスを制御し、より便利にリモート・プレビューと再生を行うためのインテリジェントな監視ソリューションです。高い効率的な管理性能により、CMSソフトウェアは集中型システムで優れた管理体験をユーザーに提供します。フレンドリーなUIデザインで、インテリジェントなビデオ管理システムCMSは、すべてのレベルのユーザーが簡単にソリューションを設定し、展開することができます。さらに、E-map機能は、デバイスの空間分布を表示するためのスマートな方法をユーザーに提供します。

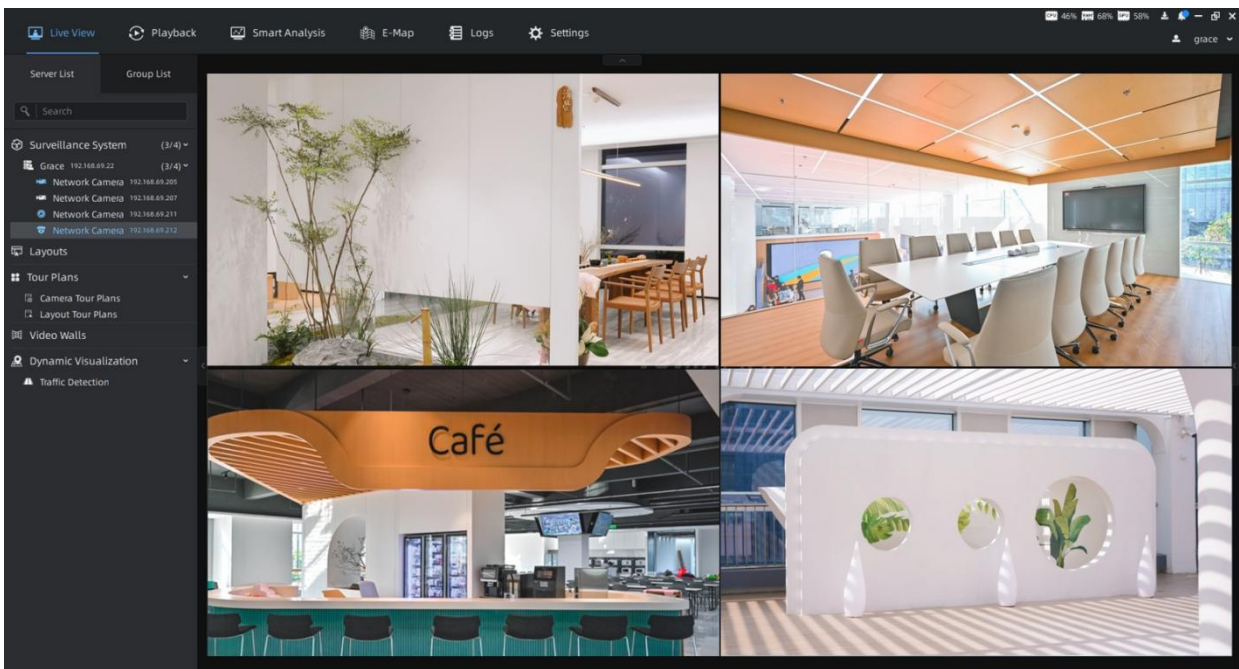
CMSをインストールし、プログラムを起動し、カメラをチャンネルリストに追加してください。詳しい使い方は、CMSのユーザーマニュアルをご覧ください。



4.3.3 VMS Enterpriseからのアクセス（ビデオ管理システム）

VMS Enterpriseは、企業向けのプロフェッショナルでインテリジェントなビデオ管理ソフトウェアです。私たちのカメラと一緒に、それはあなたのビデオ監視を簡素化してリフレッシュすることができます。高度なC/Sアーキテクチャにより、ライブビュー、録画、Eマップ、イベントアラーム、スマート分析などの豊富なコア機能により、お客様の要求と期待に応えます。

VMS Enterpriseをインストールしてください。次に、プログラムを起動してカメラをチャンネルリストに追加します。ソフトウェアの使用の詳細については、VMS Enterpriseユーザーマニュアルを参照してください。



第5章 ライブビュー

5.1 ライブビデオ

ネットワークカメラのWeb GUIに正常にログインすると、ユーザーは次のようにライブビデオを表示できます。

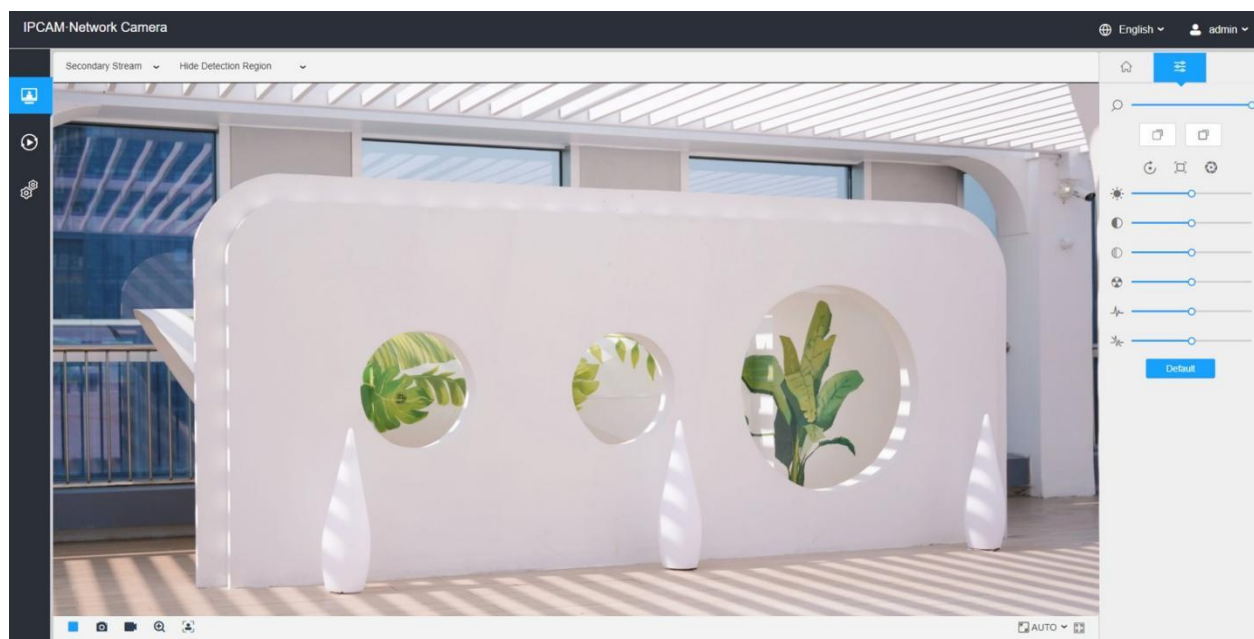

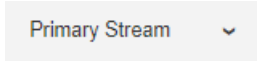
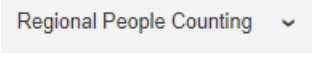
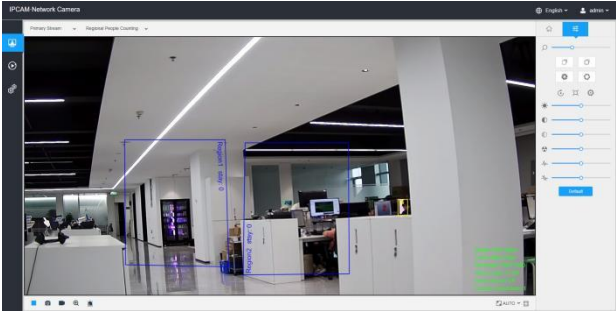









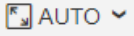
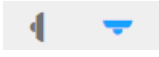






表2. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 ライブビデオ	ボタンをクリックしてライブビューページにアクセスします。
2	 再生	ボタンをクリックして再生ページにアクセスします。
3	 設定	ボタンをクリックして設定ページにアクセスします。
4	 English ▾	ボタンをクリックしてシステム言語を選択します。
5	 admin ▾	ユーザー名を表示し、ボタンをクリックしてログアウトします。

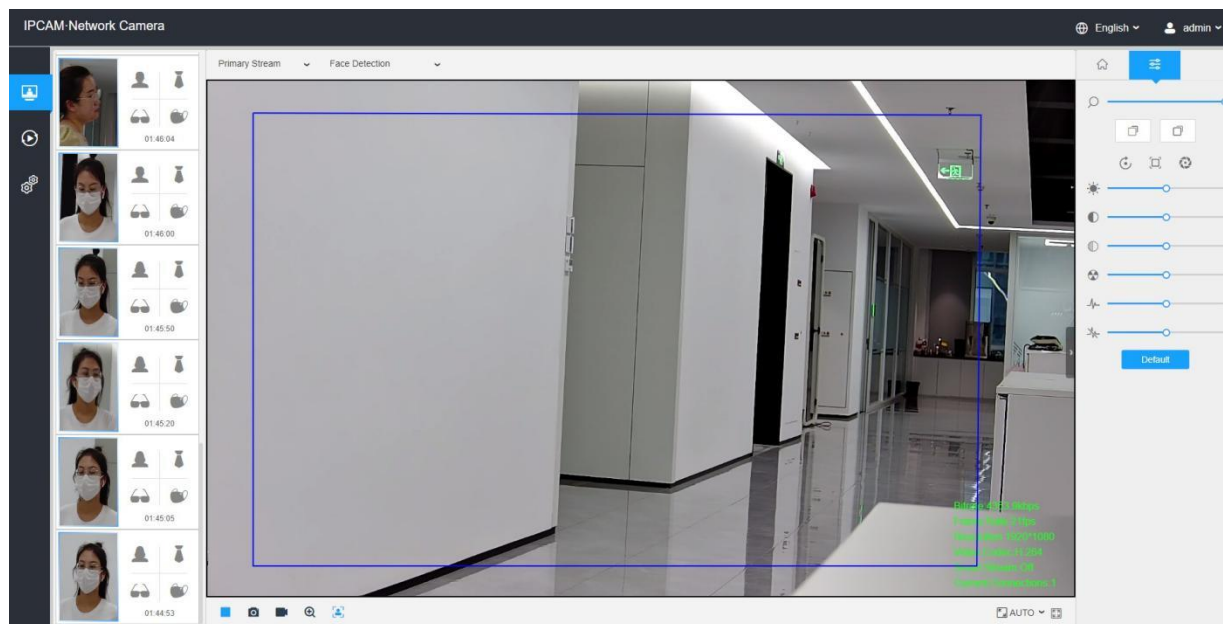
6		現在のビデオウィンドウに表示するストリーム（プライマリ/セカンダリ/ターシャリ）を選択します。
7		<p>オプション（検知エリアを非表示/侵入検知/退出検知/高度な動作検知/妨害検知/ラインクロス検知/滞留検知/人数カウント/オブジェクトの置き去り/持ち去り検知/リージョナル人数カウント）を選択して、現在のビデオウィンドウで検知エリアを非表示/表示します。</p>  <p>注意：人数カウント/リージョナル人数カウントは、NGxxxx-xPA およびNGxxxx-xPCではオプションです。</p>
8	 録画	録画中の場合、アイコンが表示されます。
9	 アラーム	VCAイベントのアラームが起きた場合、アイコンが表示されます。
10	 アラーム	人数カウントのアラームが起きた場合、アイコンが表示されます。
11	 アラーム	モーション検知のアラームが起きた場合、アイコンが表示されます。
12	 アラーム	上記の3種類のアラームを除き、他のアラームが起きるとアイコンが表示されます。
13	 停止/再生	ライブビューを 停止/再生 します。
14	 スナップショット	ボタンをクリックして現在の画像をキャプチャし、設定されたパスに保存します。デフォルトのパスは、C:\VMS\+-1\ IMAGE-MANUAL.です。
15	 録画の開始/停止	ボタンをクリックしてビデオの録画を開始し、設定されたパスに保存します。もう一度ボタンをクリックして録画を停止します。


16	 デジタルズーム	有効にすると、マウスホイールを使用してビデオ画像の特定のエリアを拡大できます。
17	 手動出力	カメラアラーム出力を手動で操作します。
18	 ウィンドウサイズ	クリックすると、画像がウィンドウサイズで表示されます。
19	 全画面表示	クリックすると、画像が全画面で表示されます。
20	 顔検出	ボタンをクリックして顔検出モードを有効にします。 注意： カメラがNCxxxx-xPCの場合にのみ表示されます。
	 壁/天井	ボタンをクリックしてインストールにアクセスします。また、AIアルゴリズムは、インストールに応じて変更されます（壁アルゴリズム/天井アルゴリズム）。
		ズーム： レンズのズーム長を調整します。 注意： カメラに電動レンズが装備されている場合にのみ機能します。
		フォーカス-/フォーカス+： レンズの焦点を調整します。 注意： カメラに電動レンズが装備されている場合にのみ機能します。
		アイリス-/アイリス+： レンズのアイリスを調整します。 注意： カメラに電動レンズが装備されている場合にのみ機能します。
		フォーカススピード： フォーカスの速度を調整します。 注意： カメラにオートフォーカスレンズが装備されている場合にのみ機能します。
		ズーム-/ズーム+： ボタンをクリックしてズームインおよびズームアウトします。 注意： カメラにオートフォーカスレンズが装備されている場合にのみ機能します。
		フォーカス-/フォーカス+： ボタンをクリックして、レンズの近くまたは遠くに焦点を合わせます。 注意： カメラにオートフォーカスレンズが装備されている場合にのみ機能します。

		<p>レンズの初期化、補助フォーカス、オートアイリス。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラにオートフォーカスレンズが装備されている場合、オートアイリスはデフォルトでオンになっています。 オートアイリスサポートは、カメラにP-アイリスが装備されている場合にオン/オフを切り替えます。
		<p>輝度：シーンの明るさを調整します。</p> <p>対比：色と光のコントラストを調整します。</p> <p>彩度：画像の彩度を調整します。彩度が高いほど、色はより「純粹」に見え、低い彩度は、より「ウォッシュアウト」に見えます。</p> <p>シャープネス：画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセル境界がシャープになり、画像が「より鮮明」に見えます。</p> <p>2D DNR/3D DNR：ノイズリダクションレベルを調整します。</p> <p>デフォルト：明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。</p>

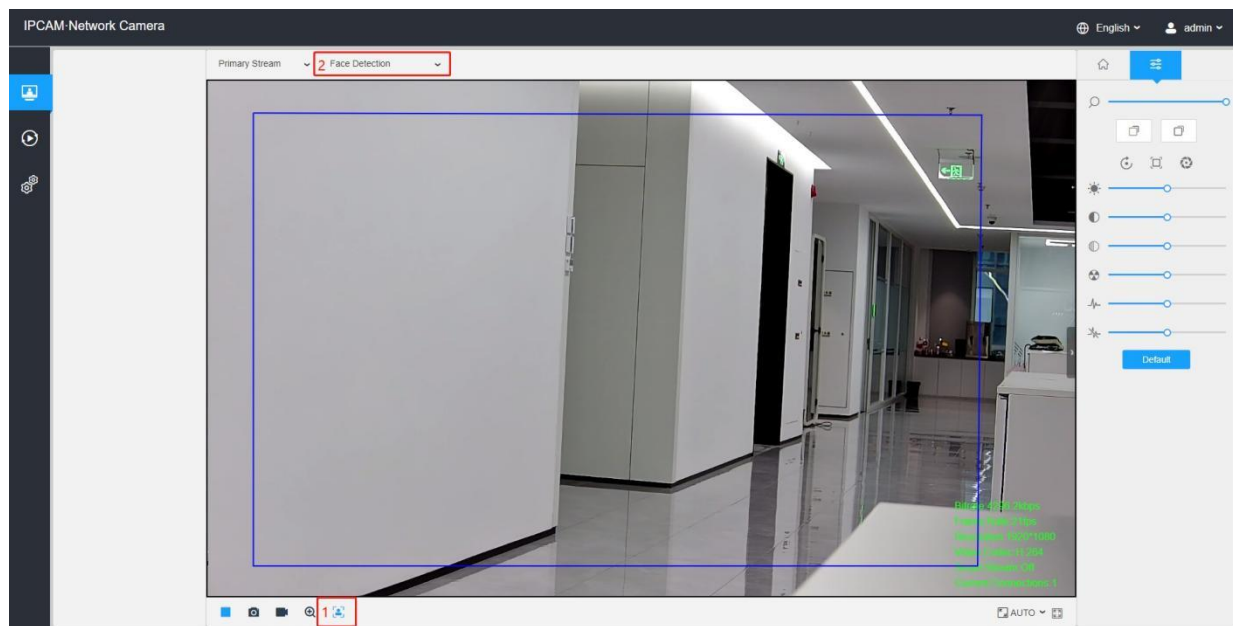
5.2 顔検出モード

顔検出機能は、監視画面で人間の顔を検出し、スナップショットをキャプチャします。これにより、監視の効率が大幅に向上し、警察、アクセス制御、ビジネス管理などの大規模な人口に関する活用シーンにご利用できます。

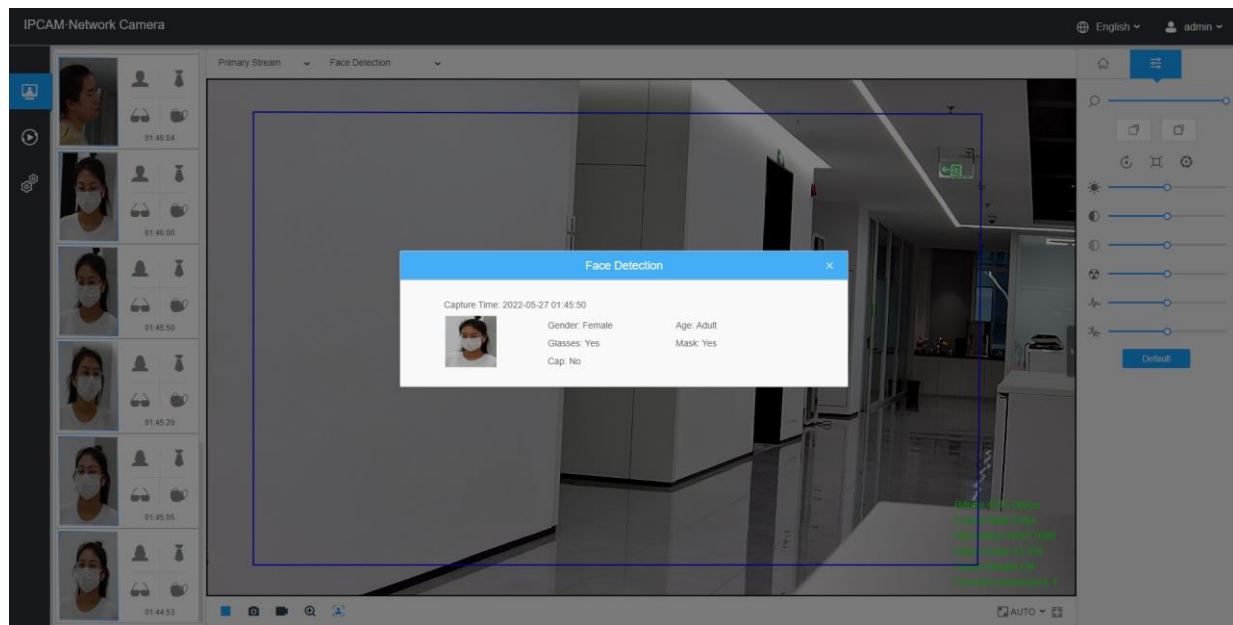


ステップ1：  をクリックして顔検出モードを有効にします。また、カメラは、設定したエリアと条件に従って、ライブビューで顔を検出します。

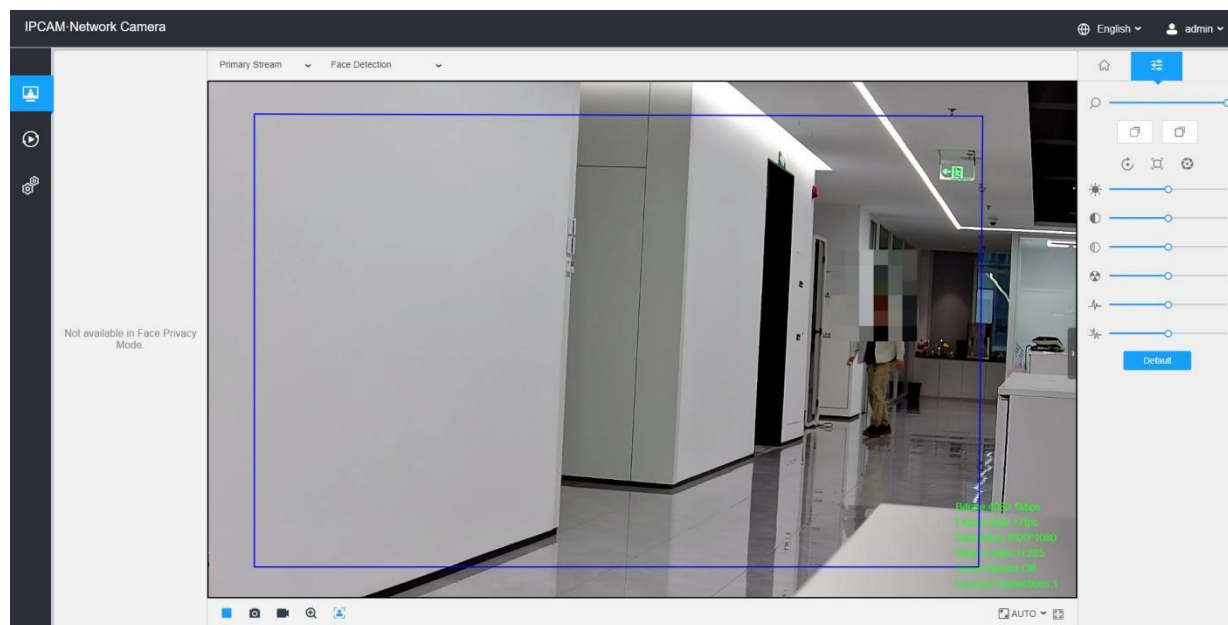
注意：顔検出モードを有効にする前に、顔検出機能が有効になって設定されていることを確認してください。



ステップ2：属性認識を有効にすると、検出された顔の属性がライブビューインターフェースの左側に表示されます。



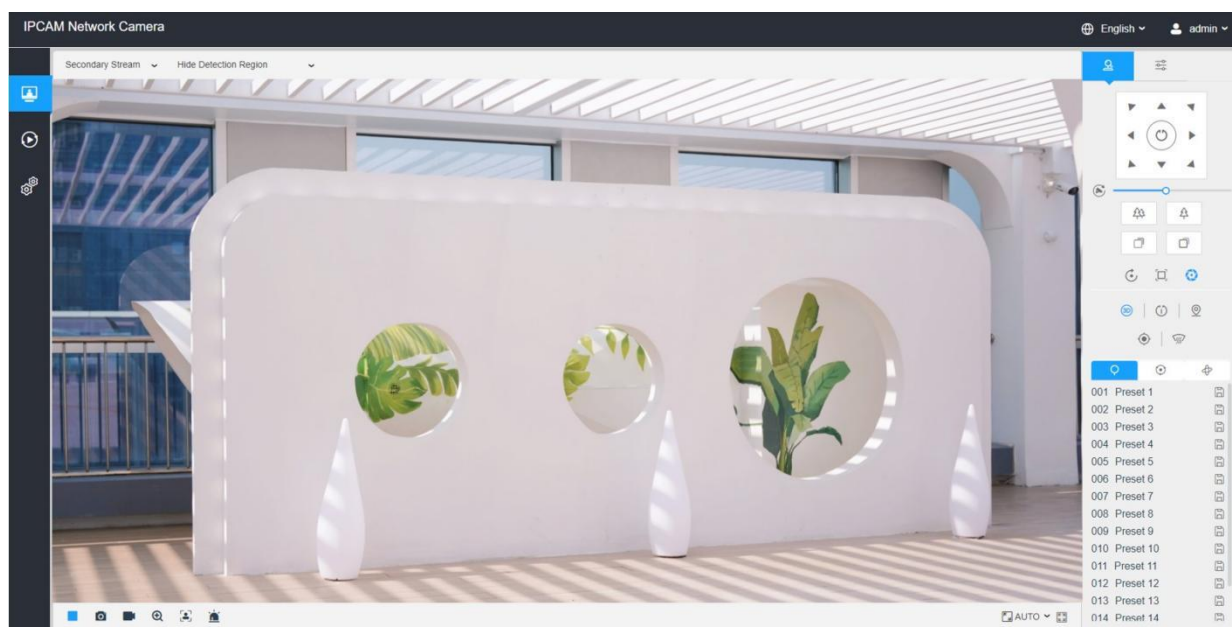
ステップ3：顔のプライバシー設定を有効にすると、顔検出エリアで検出された顔が自動的にモザイクになります。モザイクのサイズは検出された顔のサイズに関連しており、ユーザーは必要に応じて検出された顔のサイズをカスタマイズできます。フェイスプライバシー機能は、いくつかの特別なシナリオでユーザーのニーズを満たし、人々の肖像権を大幅に保護します。



注意：顔キャプチャ/顔検出メッセージポスト/属性認識という機能は、顔プライバシーモードでは使用できません。

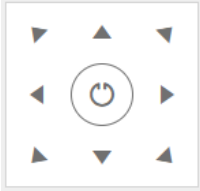



5.3 PTZモード








PTZネットワークカメラのWeb GUIに正常にログインすると、ユーザーは次のようにライブビデオを表示できます。



5.3.1 ライブビューページでの操作

表3. ボタンの説明


No.	パラメータ	説明
	 <p>PTZコントロール</p>	ナビゲーションキーは方向を制御するために使用されます。回転キーは自動回転に使用されます。
	 <p>PTZスピード</p>	パン/チルトの動きの速度を1から10に調整します。
	 <p>ズーム-/ズーム+</p>	ボタンをクリックしてズームインおよびズームアウトします。
	 <p>フォーカス-/フォーカス+</p>	ボタンをクリックして、レンズの近くまたは遠くに焦点を合わせます。

	<p>レンズの初期化、補助フォーカス、オートアイリス</p> <p> 注意：オートアイリスはデフォルトでオンになっています。</p>
	<p>30秒の照明： ボタンをクリックして、30秒の照明用のホワイトLEDを開閉します。</p> <p> 注意： PTZバレットのみ。</p> <p>3Dポジショニング： ボタンをクリックして3Dポジショニングを有効/無効にします。</p> <p>ワンタッチパトロール： ボタンをクリックしてパトロールを実行します。</p> <p>オートホーム： ボタンをクリックしてオートホームを有効にします。</p> <p>手動追尾： ボタンをクリックして、移動するオブジェクトを追尾します。</p> <p>除湿： ボタンをクリックしてファンの動作モードを有効にします。</p>
	<p>リージョナルのビューチャンネルごとに300個のプリセット位置を設定できます。</p>
	<p>リージョナルのビューチャンネルごとに8つのパトロールパスを設定できます。</p>
	<p>パターンを表示します。</p>

5.3.2 3Dポジショニング

3Dポジショニングを使用すると、ユーザーはマウスのクリックとドラッグを使用してPTZを制御できます。

ステップ：

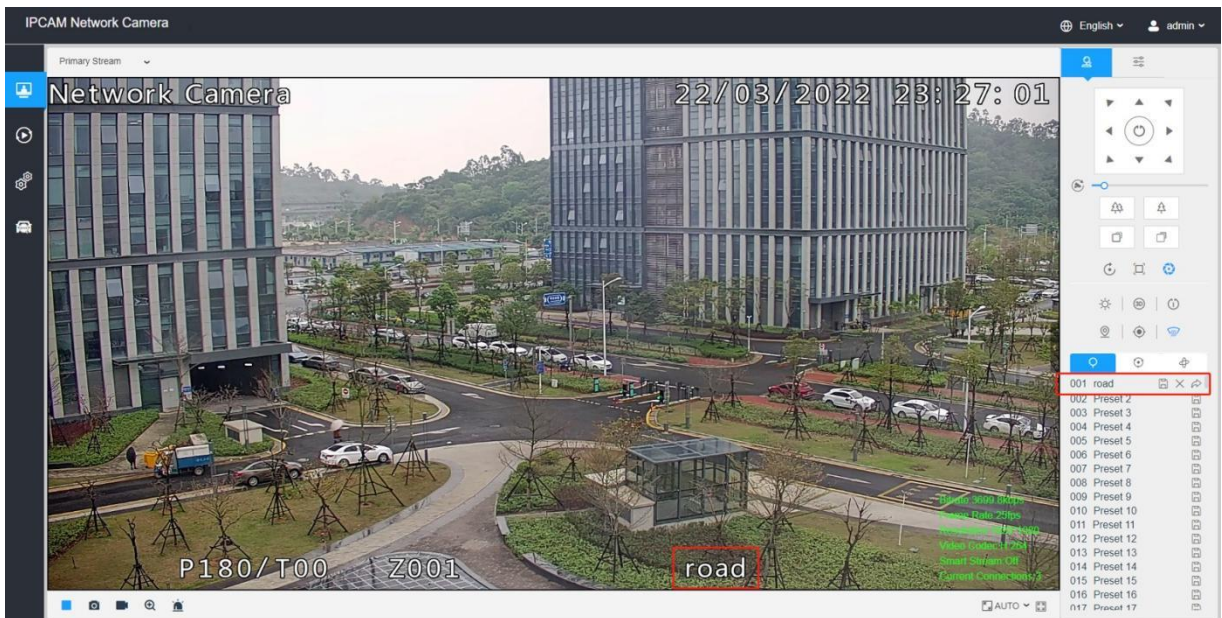
1. ライブビューインターフェイスのツールバーにあります  をクリックします。
2. 3Dポジショニング機能を行います。
 - ライブビューの位置を左クリックすると、対応する位置がライブビューの中央に移動します。
 - マウスの左ボタンを押したまま、ライブビューの右下または右上にマウスをドラッグすると、青い長方形が表示されます。対応する位置がライブビューの中央に移動し、ズームインします。
 - マウスの左ボタンを押したまま、ライブビューの左下または左上にマウスをドラッグすると、青い長方形が表示されます。対応する位置がライブビューの中央に移動し、ズームアウトします。
 - 長方形が大きいほど、ズームイン/ズームアウトが小さくなります。

5.3.3 プリセットの設定/呼び出し/パトロール/パターン

プリセットは、事前定義された画像位置です。プリセットリストからコールボタンをクリックすると、目的の画像位置にすばやく移動できます。

プリセットの設定：

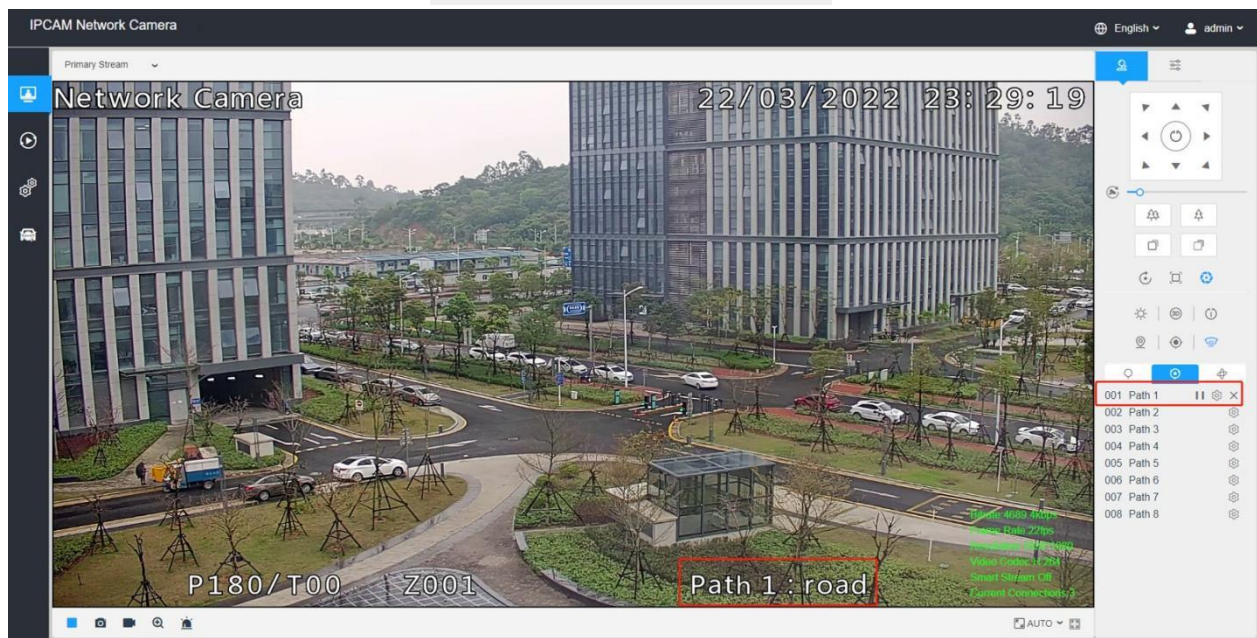
ステップ1：PTZコントロールパネルで、プリセットリストからプリセット番号を選択します。また、画面に表示されるプリセット名をカスタマイズすることもできます。以下のようにプリセット名をカスタマイズしてパトロールを設定すると、画面に表示されるパトロール名もカスタマイズされます。




Path 1 + × ↑ ↓


	Preset	Speed	Time
01	1 ▾	30 ▾	15
02	2 ▾	30 ▾	15
03	3 ▾	30 ▾	15


Save Cancel




ステップ2 : PTZコントロールボタンを使用して、レンズを目的の位置に移動します。

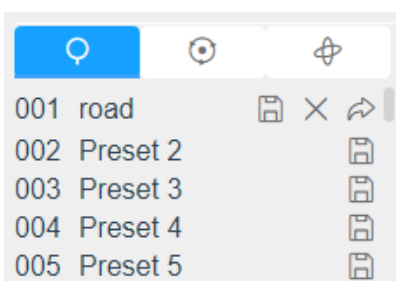
ステップ3 :  をクリックして現在のプリセットの設定を保存します。

ステップ4 :  をクリックして選択したプリセットを削除します。

 **注意** : 最大300個のプリセットを設定できます（18個のプリセットは変更できません）。最大300個のプリセットを設定できます（リージョナルのビューチャンネルごとに）。

プリセットの呼び出し :

プリセットリストから定義済みのプリセットを選択し、 をクリックしてプリセットを呼び出します。




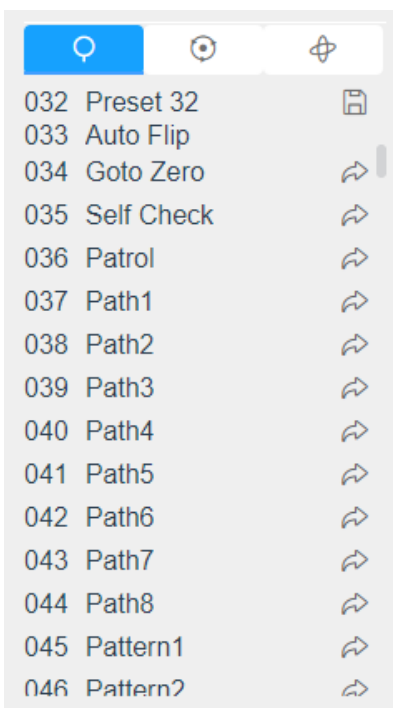
 **注意：**次のプリセットは、特別なコマンドで事前定義されています。それら呼び出すことはできますが、設定することはできません。たとえば、プリセット037は「セルフチェック」です。プリセット番号037を呼び出すと、PTZカメラはすぐにセルフチェック機能を開始します。

表4. 特別なプリセット


特別なプリセット	パラメータ	特別なプリセット	パラメータ
33	オートフリップ (スピードドームのみ)	42	パス6
34	0地点	43	パス7
35	セルフチェック	44	パス8
36	パトロール	45	パターン1
37	パス1	46	パターン2
38	パス2	47	パターン3
39	パス3	48	パターン4
40	パス4	49	スキャンを 停止します
41	パス5	50	自動スキャン





設定/パトロールの呼び出し：

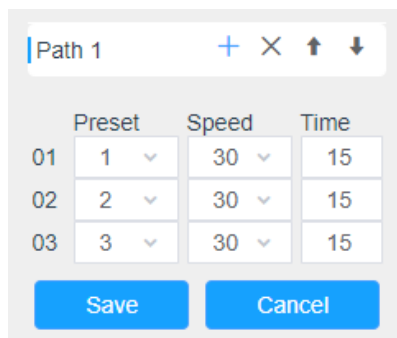
パトロールは、記憶された一連のプリセット機能です。パトロール設定リストで設定して呼び出すことができます。最大8つのパトロールをカスタマイズでき、48個のプリセットで設定できます。パトロールを設定する前に、パトロールに追加するプリセットが定義されていることを確認する必要があります。

パトロールの設定：

ステップ1：PTZコントロールパネルで、をクリックしてパトロール設定インターフェースに入ります。

ステップ2：パトロール番号を選択すると、設定アイコン が表示されます。ボタンをクリックします。

ステップ3：+をクリックして、に示すように、このパトロールにプリセットを追加します。



	Preset	Speed	Time
01	1	30	15
02	2	30	15
03	3	30	15

ステップ4：プリセット数、パトロール速度、パトロール時間を設定します。

表5. パトロール設定の説明


名前	説明
パトロール速度	あるプリセットから別のプリセットに移動する速度
パトロール時間	1つのパトロールポイントに滞在する期間 PTZカメラは、設定されたパトロール時間後に別のパトロールポイントに移動します。

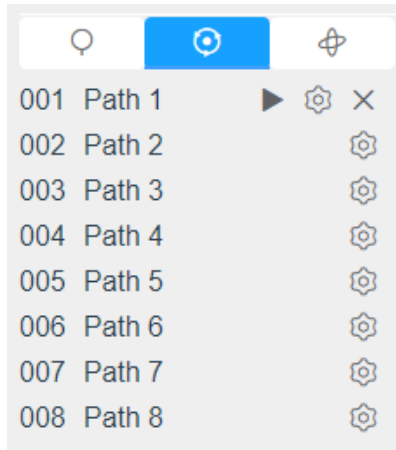
ステップ5：  をクリックして、パトロール設定を保存します。

注意：

- パトロール速度はパトロールモードでのみ機能します。
- パトロール時間は、PTZバレットの場合は15～120秒、スピードドームの場合は0～120秒にする必要があります。

パトロールの呼び出し：

PTZコントロールパネルで、パトロールリストから定義済みのパトロールを選択し、 をクリックして、パトロールを以下に示すように呼び出すことができます。




注意：パトロールリストの後ろにある3つのボタンは、再生、設定、削除を意味します。

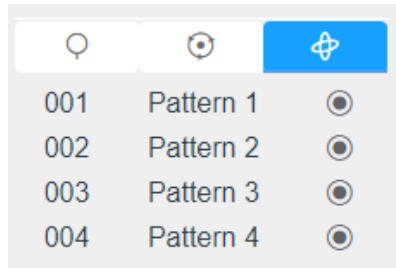
パターンの設定/呼び出し：


パターンは、記憶された一連のパン、チルト、ズーム、およびプリセット機能です。パターン設定インターフェースで呼び出すことができます。最大4つのパターンを設定できます。

パターンの設定：


ステップ1：PTZコントロールパネルで、をクリックし、パターン設定インターフェースに入ります。

ステップ2：次の図に示すように、パターンリストからパターン番号を選択します。




ステップ3：をクリックして、パン、チルト、ズームのアクションの録画をアクティブにします。

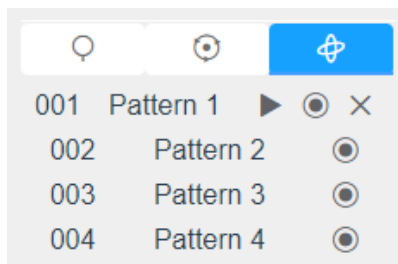
ステップ4：PTZコントローラボタンを使用して、レンズを目的の位置に移動します。

ステップ5：をクリックして、すべてのパターン設定を保存します。

注意：OSDの数字のパーセンテージは、パターンの残りのスペースです。100%から始めて、0%を使い果たします。

パターンの呼び出し：

PTZコントロールパネルで、パターンリストから定義済みのパターンを選択し、をクリックして、パトロールを以下に示すように呼び出すことができます。




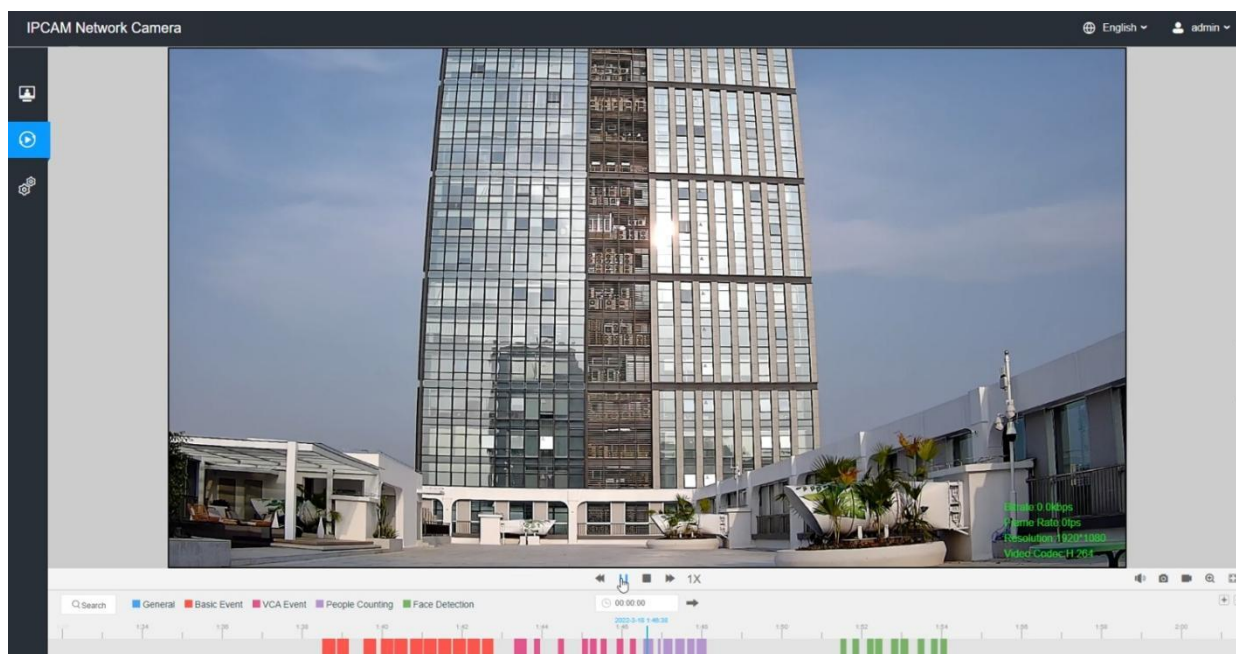
注意：パターンリストの後ろにある3つのボタンは、再生、録画、削除を意味します。パターンを設定する場合、パンとチルトは有効ですが、制限が停止し、自動フリップは無効になります。また、3Dポジショニング操作はサポートされていません。

パターンリストの後ろにある3つのボタンは、再生、録画、削除を意味します。

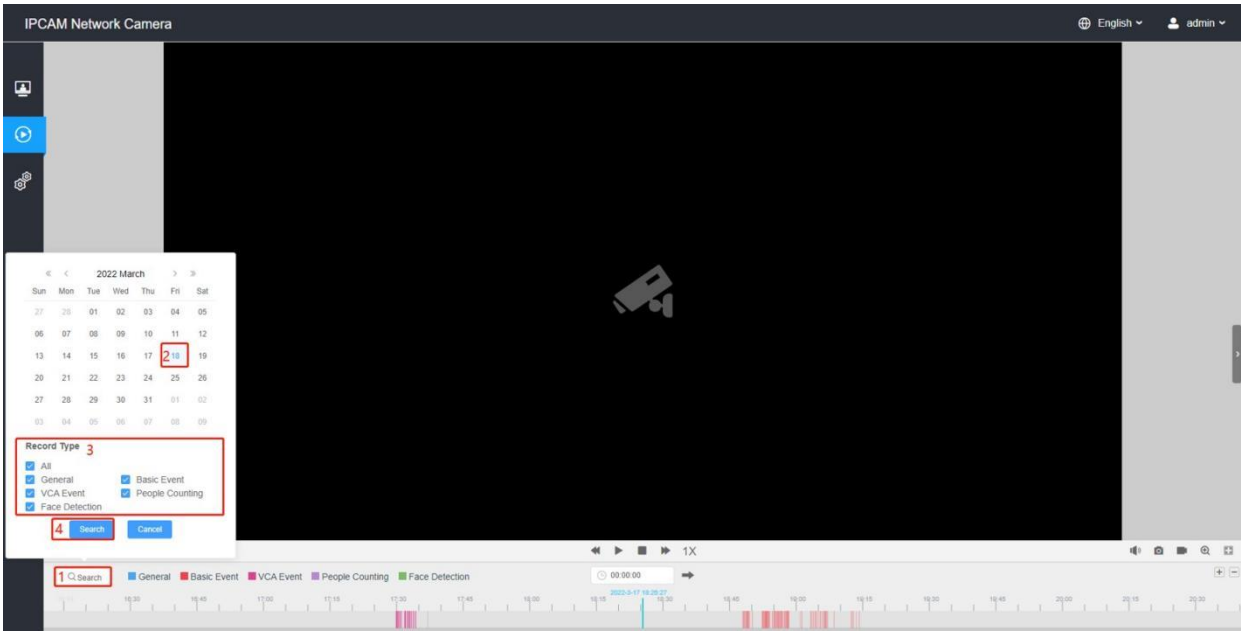
パターンを設定する場合、パンとチルトは有効ですが、制限が停止し、自動フリップは無効になります。また、3Dポジショニング操作はサポートされていません。

第6章 再生




 をクリックして、再生インターフェースに入ります。この部分では、SDカードまたはNASに保存されている録画ビデオファイルを検索して再生できます。再生インターフェースは次のとおりです。

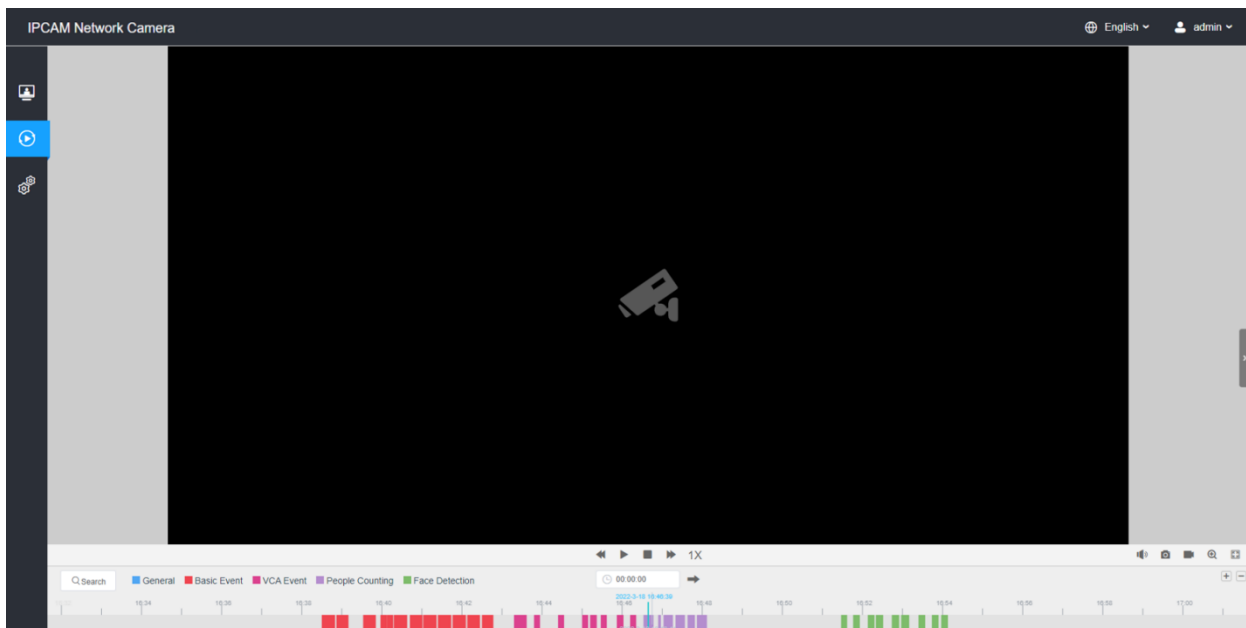


ステップ1：「検索」ボタンをクリックし、ウィンドウがポップアップしたときにデータと録画の種類を選択します。



ステップ2: タイムラインにはその日のビデオファイルが表示され、選択したレコードタイプに応じてさまざまな色が表示されます。必要に応じて、プログレスバーをマウスでドラッグして、正確な再生ポイントを見つけます。

注意: 再生ポイントを見つけるために、フィールド内  00:00:00 に、時間を入力して、 をクリックすることもできます。また、 をクリックして、プログレスバーをズームアウト/ズームインすることもできます。



ステップ3: ▶ をクリックして、この日に見つかったビデオファイルを再生します。再生インターフェイスのボタンのツールバーを使用して、再生の進行状況を制御できます。

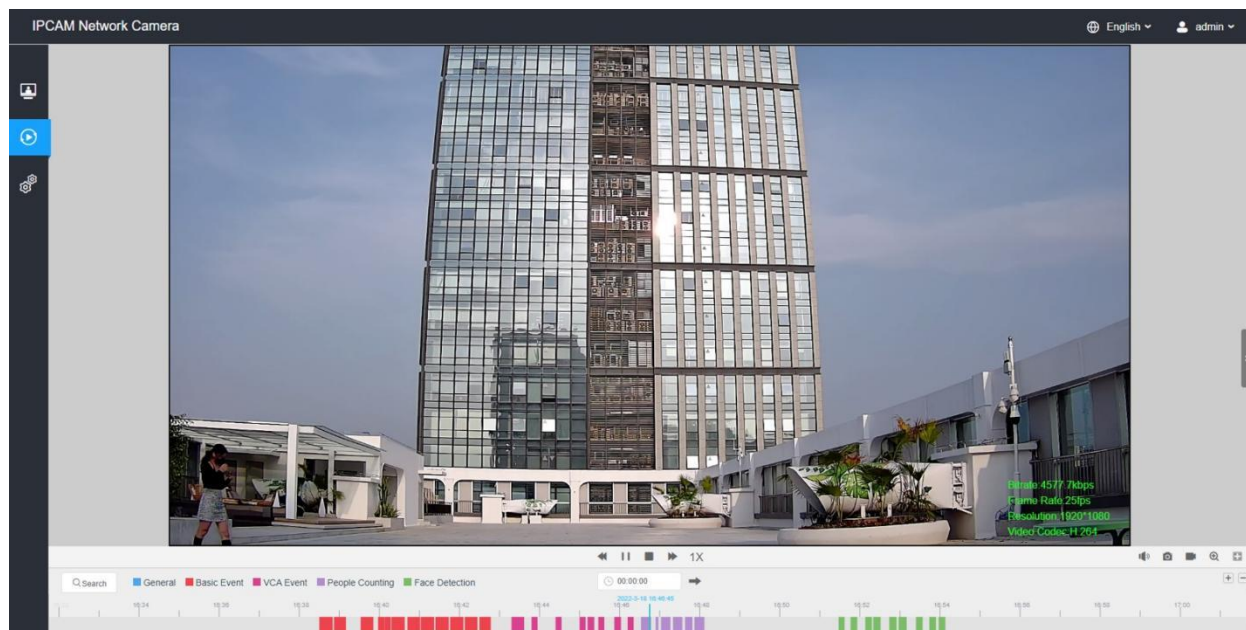


表6. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
		<p>録画したビデオを検索する日付を選択します。</p> <p>録画されたビデオを録画タイプ（すべて/一般/基本イベント/VCAイベント/人のカウント/顔検出）で検索します。タイムラインは、以下のように、選択した録画タイプに応じて異なる色で表示されます。</p> <p></p> <p>注意：顔検出は、カメラがNCxxxx-xPGの場合にのみ表示されます。</p> <p>LPRカメラの場合、録画タイプには全部/一般 / 基本イベント/LPR車番認識が含まれます。タイムラインは、以下のように、選択したレコードタイプに応じて異なる色で表示されます。</p> <p></p>








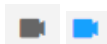



1	 スピードダウン/スピードアップ/スピード	ビデオ再生の速度を調整します。 スピードダウン ：再生用の0.5Xと0.25Xが含まれています。 スピードアップ ：再生用の2Xと4Xが含まれています。 スピード ：デフォルトの再生速度は1Xです
2	 再生/一時停止	ビデオを再生/一時停止します。
3	 止まる	ビデオを停止します。
4	 検索時間	探したい時間を選択します。
5	 ジャンプ	次に移動します。

表7. ボタンの説明

No.	パラメータ	説明
1	 ミュート	ボタンをクリックしてオーディオを有効にします。
2	 スナップショット	ボタンをクリックしてスナップショットを撮ります。
3	 録画の開始/停止	ボタンをクリックして録画を開始/停止します。
4	 デジタルズーム	ボタンをクリックしてズームオン/オフします。
5	 全画面表示	全画面で表示します。
6	 時間の拡大/縮小	時間の拡大/縮小します。

第7章 設定

7.1 メディア

7.1.1 ビデオ

この部分では、さまざまなネットワーク環境や要求に合わせてストリームパラメータを設定できます。

メインストリーム設定

The screenshot displays the 'IPCAM Network Camera' web interface. The top navigation bar includes 'English' and 'admin'. The left sidebar contains menu items: Media (Video, Image, Audio), Network, Storage, Event, and System. The main content area is titled 'Primary Stream' and is divided into 'General' and 'Event' tabs. The 'General' tab is active, showing the following settings:

Record Stream Type	General	Event
Enable	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Video Codec	H.264	H.264
Frame Size	1920*1080	1920*1080
Maximum Frame Rate	25	25 fps
Bit Rate	4096	4096 kbps
Smart Stream	Off	Off
Bit Rate Control	CBR	CBR
Profile	Main	Main
I-frame Interval	50	50 frame(1-180)

A 'Save' button is located at the bottom of the configuration area.

セカンドストリーム設定

サードストリーム設定

表8. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
録画ストリームタイプ	<p>一般的&イベントはメインストリームのみ利用できます。一般は連続録画ビデオを指し、イベントにはモーション、例外、LPR車番認識などのアラームをトリガーできるイベントが含まれます。</p> <p>この項目は、異なるレコーディングストリームタイプに対して異なるビットレートとフレームレートを個別に設定できます。ユーザーが[イベント]を選択すると、イベントが発生したときにビデオストリームタイプの設定に従ってビデオが録画されるため、録画ストレージスペースが大幅に削減されます。</p>
イベントストリームを有効にする	<p>この項目は、イベントを選択した場合のオプションです。</p>

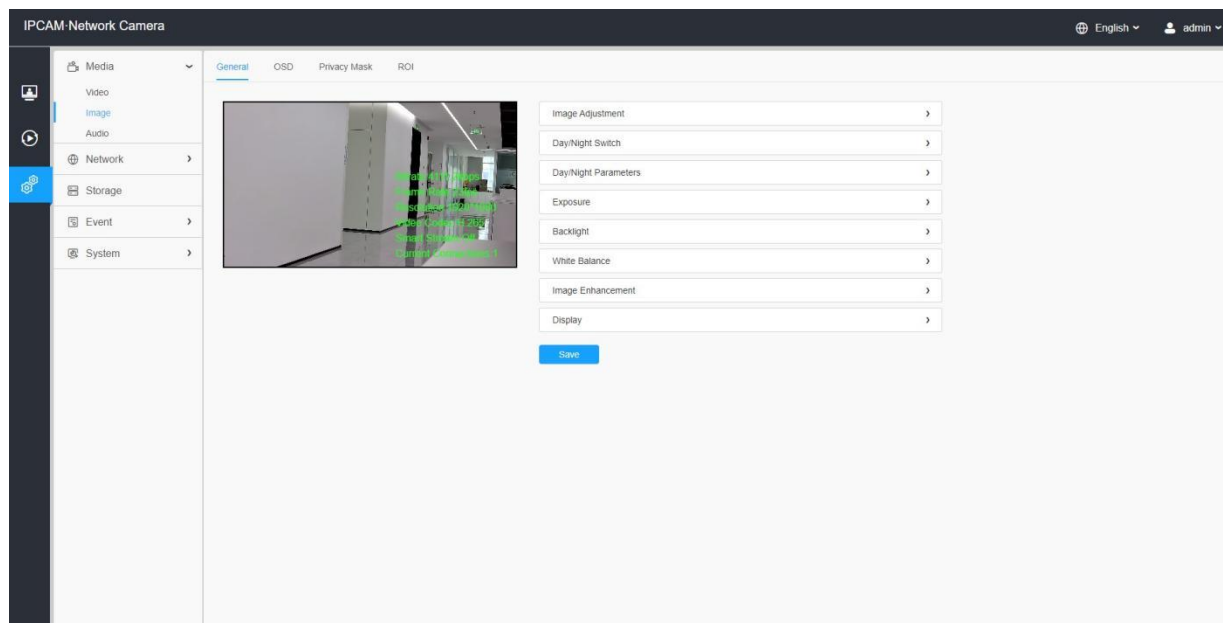
ビデオコーデック	H. 265/H. 264/MJPEGが利用可能です。
フレームサイズ	<p>オプションには、8M (3840×2160)、6M (3072×2048)、5M (2592×1944)、5M (2560×1920)、5M (2560×1440)、4M (2592* 1520)、3M (2304×1296) が含まれます。、3M (2048×1536)、1080P (1920×1080)、2M (1600×1200)、1.3M (1280×960)、720P (1280×720)、D1 (704×576)。</p> <p>セカンドストリームの場合、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320*176が含まれます。</p> <p>サードストリームの場合、1920×1080、1280×720、704×576、640×480、640×360、352×288、320×240、320×192、320*176が含まれます。</p> <p>注意：フレームサイズのオプションは、モデルによって異なります。</p>
最大フレームレート	1秒あたりの最大リフレッシュフレームレートであり、モードによって異なります。
ビットレート	<p>1秒あたりのデータ送信ビット数。この項目は、H. 265/H. 264を選択した場合にのみオプションです。</p> <p>ビットレートを32~16384Kbpsに設定します。値が高いほどビデオ品質が高くなり、必要な帯域幅も高くなります。</p>
スマートストリーム	<p>スマートストリームモードをオン/オフにするオプション。スマートストリームモードは、高品質の画像を確保しながら、ネットワークカメラの帯域幅とデータストレージ要件を大幅に削減します。これは、10レベルの調整可能なコーデックです。</p> <p>レベル：レベル1~10は必要に応じて利用できます。</p>
ビットレート制御	CBR： 固定ビットレート。CBR出力のレートは一定です。
ビットレート制御	VBR： 可変ビットレート。VBRファイルは、タイムセグメントごとの出力データの量を変化させます。
画質	低/中/高が利用可能です。この項目は、VBRを選択した場合にのみオプションです。
プロフィール	オプションはH. 264用で、必要に応じてメイン/ハイ/ベースを選択できます。
Iフレーム間隔	Iフレーム間隔を1~120、デフォルトでは50に設定します。この項目は、H. 265/H. 264を選択した場合にのみオプションです。数はフレーム数の倍数でなければなりません。

7.1.2 画像

この部分では、画像調整、昼/夜設定、画像強化などの画像の一般設定を行うことができます。OSD（オンスクリーンディスプレイ）コンテンツ、プライバシーマスク、ビデオ時間を表示して、画像情報を充実させることができます。

7.1.2.1 一般

この部分では、画像調整、昼/夜スイッチ、昼/夜パラメータ、露出、逆光、ホワイトバランス、画像強化、表示などの画像の一般設定を設定できます。



[画像調整]

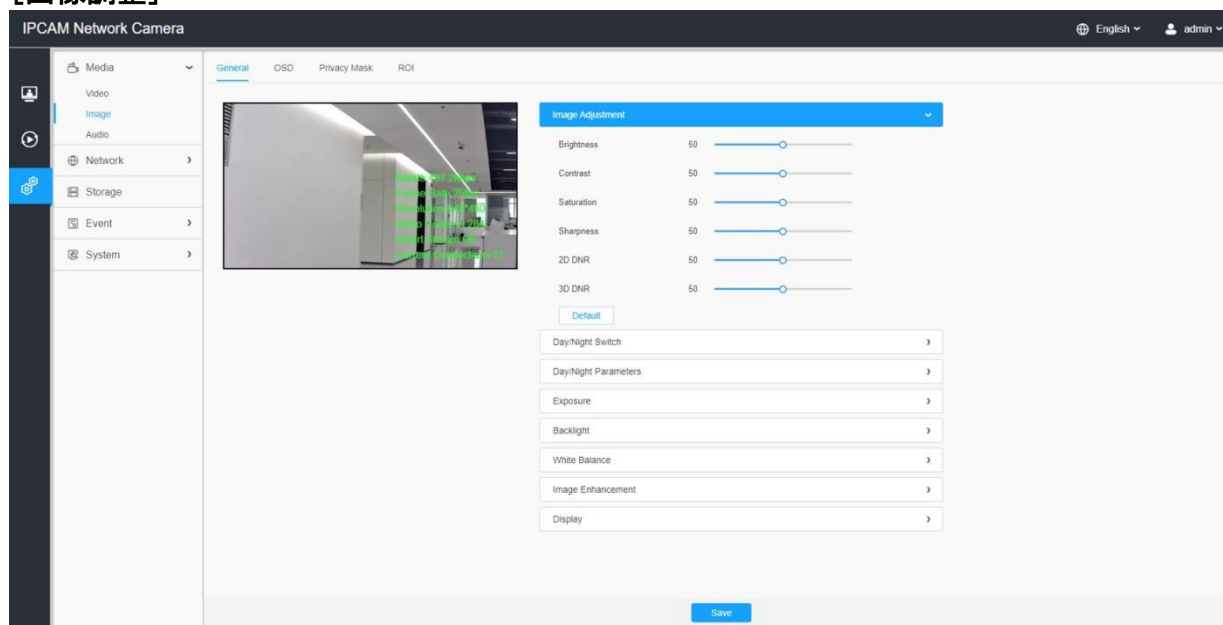


表9. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
輝度	シーンの明るさを調整します。
対比	色と光のコントラストを調整します。
彩度	画像の彩度を調整します。彩度が高いほど、色はより「純粋」に見え、低い彩度は、より「ウォッシュアウト」に見えます。
シャープネス	画像のシャープネスを調整します。シャープネスを高くすると、ピクセル境界がシャープになり、画像が「より鮮明」に見えます。

2D DNR / 3D DNR	ノイズリダクションレベルを調整します。
Default	明るさ、コントラスト、彩度をデフォルト設定に戻します。

[デイ/ナイトスイッチ]

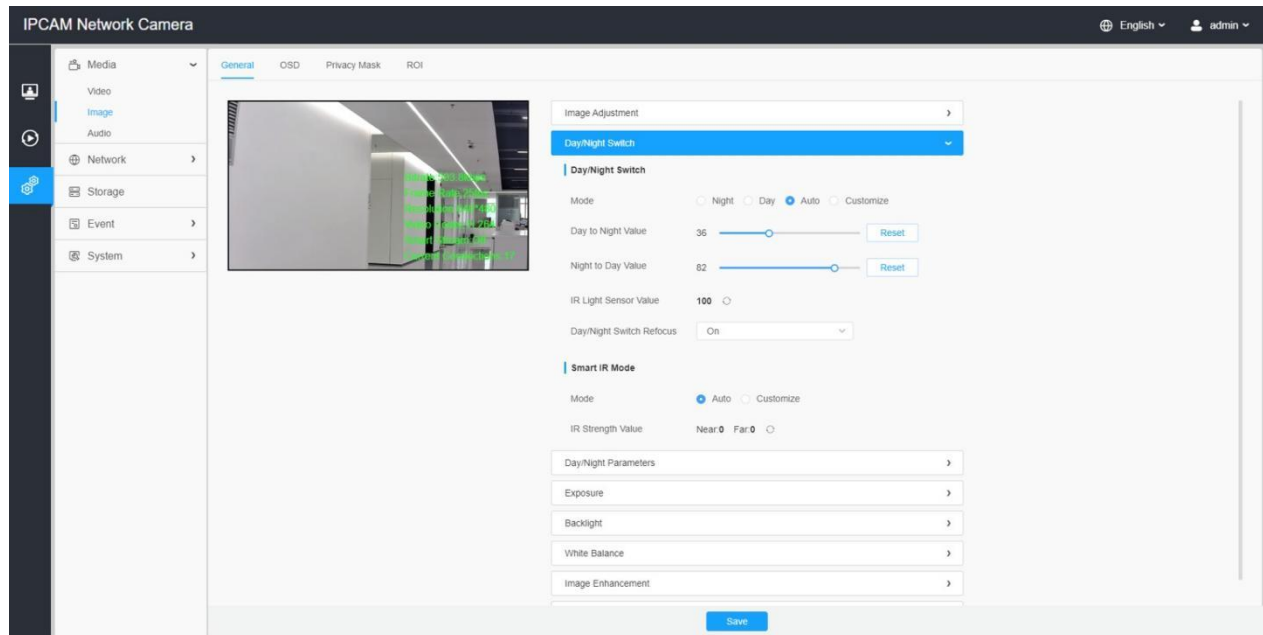





表10. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
デイ/ナイトスイッチ	<p>ナイトモード：ナイトモード設定に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>デイモード：デイモード設定に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>自動モード：環境に基づいてライブビューで表示され、デイモードをナイトモードに、またはナイトモードをデイモードに切り替える感度を設定します。</p> <p>カスタマイズ：ナイトモードを開始/終了するための独自の設定の時間に基づいてライブビューで表示されます。</p> <p>注意：モードに関連する露出レベル、最大露出時間、IR-CUT間隔などのいくつかのパラメータがあります。</p>
デイ/ナイトスイッチ 再生フォーカス	<p>デイ/ナイトスイッチリフォーカス：このオプションを有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替えるときにカメラが再フォーカスします。</p>
デイ/ナイトスイッチ	<p>昼から夜への値：デイモードからナイトモードに切り替える感度を設定できます。IRライトセンサーの現在の値がこの値よりも低い場合、デイモードからナイトモードに切り替わります。  をクリックして、値を36にリセットできます。</p> <p>夜間の値：これは、ナイトモードをデイモードに切り替えるための感度です。IRライトセンサーの現在の値がこの値よりも高い場合、ナイトモードからデイモードに切り替わります。  をクリックして、値を82にリセットできます。</p> <p>IR光センサー値：IR光センサーの現在の値です。</p> <p>注意：3つのボタンは、自動モードを選択した場合にのみオプションです。</p>

<p>デイ/ナイトスイッチ</p>	<p>夜の開始時間：ナイトモードを開始する時間を設定できます。</p> <p>夜の終了時間：日モードを開始する時間を設定できます。</p> <p>注意：夜の開始/終了時間は、カスタマイズモードを選択した場合にのみオプションです。</p>
<p>スマートIRモード</p>	<p>最高の効果を達成するために、IRの強度を自動モードまたはカスタマイズに設定するためのサポートです。</p> <p>ハイビームとロービームの組み合わせにより、IR LEDテクノロジーがアップグレードされ、物体距離に関係なく、より優れた画像の鮮明度と品質が提供されます。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整できます。また、IR反射防止パネルにより、赤外光の透過率が大幅に向上します。</p> <p>近ビューIRレベル：低ビームLEDの光レベルの光強度を0~100に調整します。</p> <p>遠ビューIRレベル：ハイビームLEDの光レベルの光強度を0~100に調整します。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> 近ビュー/遠ビューIRレベルは、NC9674-PAでのみ使用できます。 近/遠ビューIRレベルは、スマートIRのカスタマイズモードを選択した場合にのみオプションです。  をクリックして、光の強さを50にリセットできます。 <p>IR強度値：近ビームLEDと遠ビームLEDのライト値の現在の値です。</p>

[昼/夜のパラメータ]

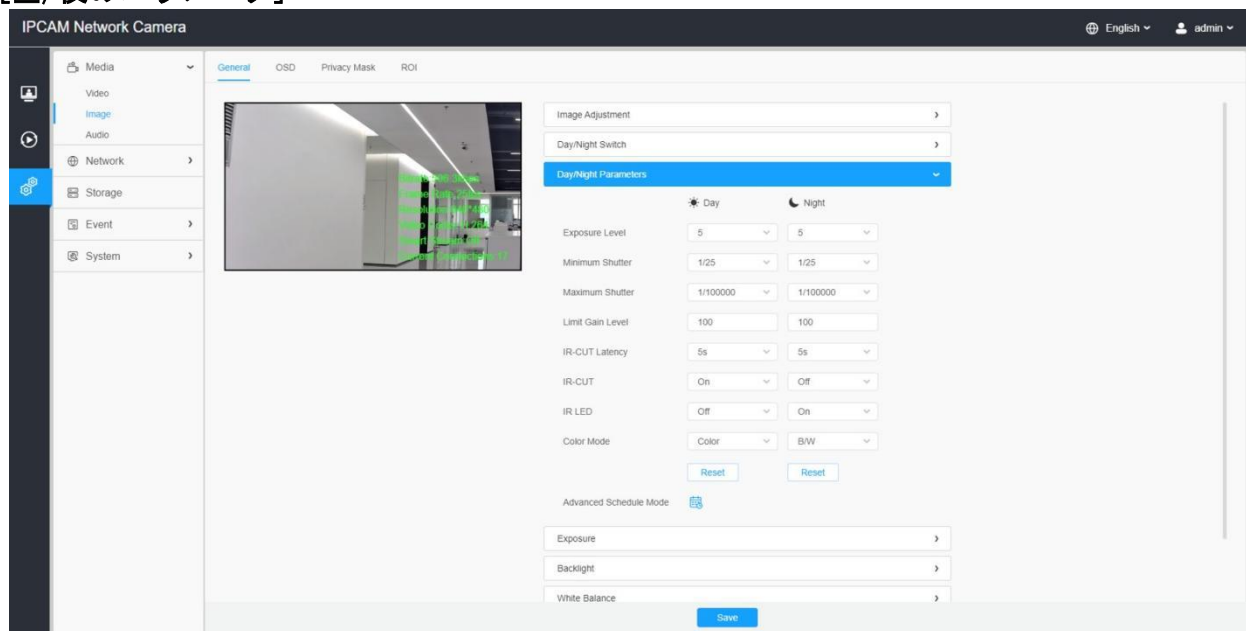


表11. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
露出レベル	レベル0~10はあなたのニーズを満たすために利用可能です。
最小シャッター	最小シャッターは最大露出時間と同じです。最小シャッターを1~1/100000秒に設定します。
最大シャッター	最大シャッターは最小露光時間と同じです。最大シャッターを1~1/100000秒に設定します。
IR-CUTレイテンシー	あるモードから別のモードに切り替える間隔時間。
限界ゲインレベル	リミットゲインレベルを1~100に設定します。
IR-CUT	IR-CUTのオン/オフを切り替えます。
IR LED	IR-LEDのオン/オフを切り替えます。
カラーモード	B/Wまたはカラーモードを選択します。

ここでは、さまざまな時間に合わせて特別な要求をカスタマイズできます。その後、設定に応じてデイモードとナイトモードが自動的に切り替わります。



アドバンススケジュールモード

Edit ✕

Schedule Settings
Template Settings



Select All
Clear All

Save
Cancel

- Day/Night
- Template1
- Template2
- Template3
- Template4
- Template5

[露出]

IPCAM Network Camera
English ▼ admin ▼

- Media ▼
- Video
- Image
- Audio
- Network ▶
- Storage ▶
- Event ▶
- System ▶

General
OSD
Privacy Mask
ROI




Image Adjustment ▶

Day/Night Switch ▶

Day/Night Parameters ▶

Exposure ▼

Mode Auto Manual Schedule

Backlight ▶

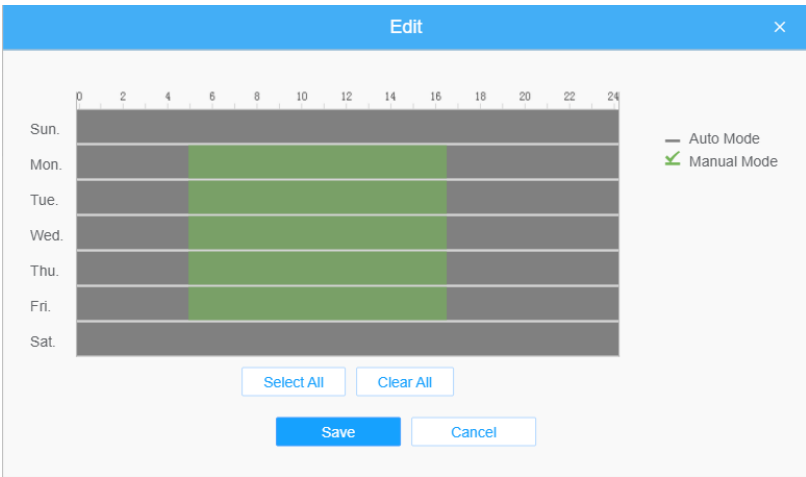
White Balance ▶

Image Enhancement ▶

Display ▶

Save

表12. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
露出モード	<p>自動モード、手動モード、スケジュールモードが利用できます。</p> <p>自動モード：カメラは、光の環境に応じて明るさを自動的に調整します。</p> <p>手動モード：カメラは設定した値に応じて明るさを調整します。露光時間は1~1/100000秒の範囲で設定できます。値が大きいほど、画像は明るくなります。</p> <p>スケジュールモード：スケジュールをカスタマイズして、自動モードと手動モードを有効/無効にすることができます。</p> 

[バックライト]

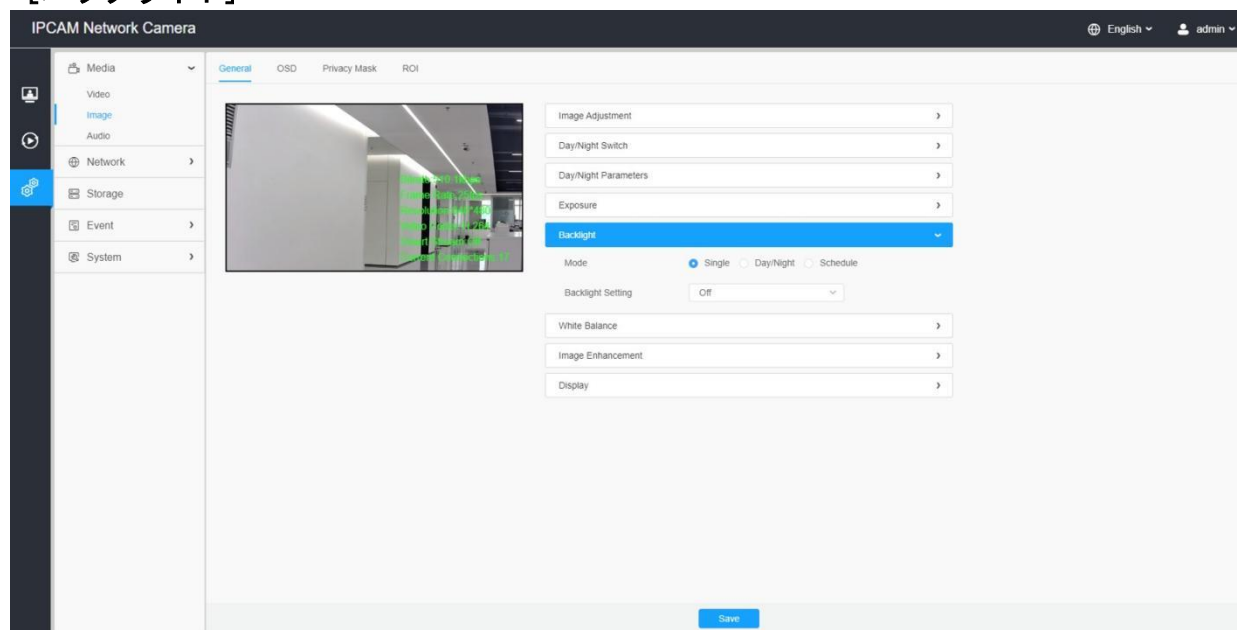
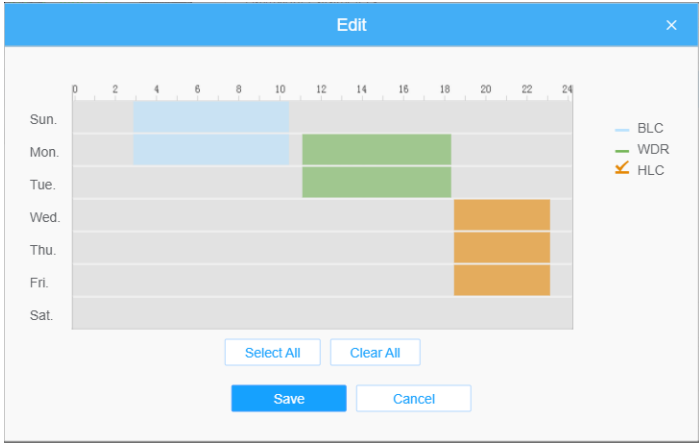


表13. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
バックライトモード	<p>シングルモード：BLC/WDR/HLCのシングルモードを設定します。</p> <p>注意：高フレームレートが有効になっている間は、WDRおよび一般的なHLCが利用できません。</p> <p>デイ/ナイトモード：デイエンハンスメントモード/ナイトエンハンスメントモードでBLC/WDR/HLCを個別にサポートします。</p> <p>スケジュールモード：BLC/WDR/HLCのスケジュールモードを設定します。スケジュールをカスタマイズして、BLC/WDR/HLCモードを有効/無効にすることができます。</p> 

[ホワイトバランス]

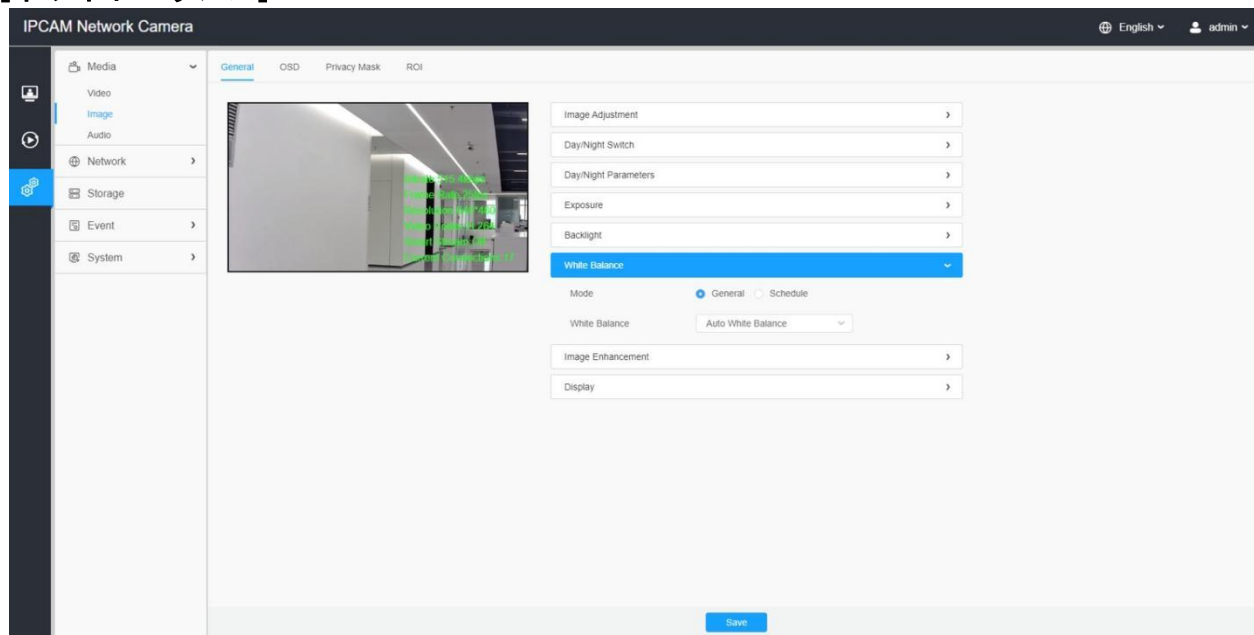
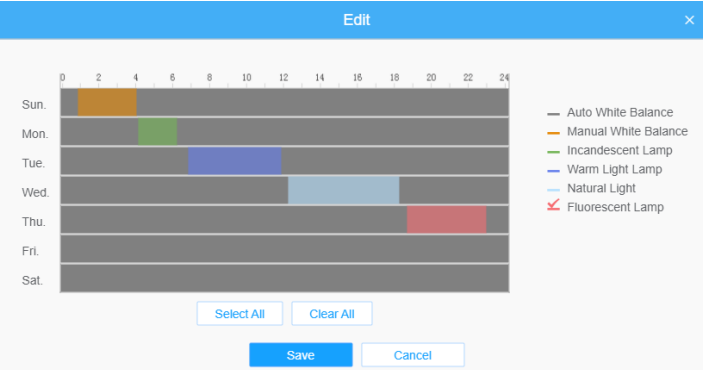


表14. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
ホワイトバランス	<p>白いオブジェクトを復元するには、環境の光によって引き起こされる色の歪みを取り除きます。</p> <p>オートホワイトバランス：このオプションは、ホワイトバランス機能を自動的に有効にします。</p> <p>手動ホワイトバランス：赤ゲインレベルと青ゲインレベルを手動で設定します。</p> <p>白熱電球：光が白熱灯と似ている場合は、このオプションを選択します。</p> <p>ウォームライトランプ：光がウォームライトランプと類似している場合は、このオプションを選択します。</p> <p>自然光：自然光以外に光がない場合は、このオプションを選択します。</p> <p>蛍光灯：光が蛍光灯と似ている場合は、このオプションを選択します。</p> <p>スケジュールモード：上記のモードを有効/無効にするようにスケジュールをカスタマイズできるこのオプションを選択します。</p> 

[画像強化]

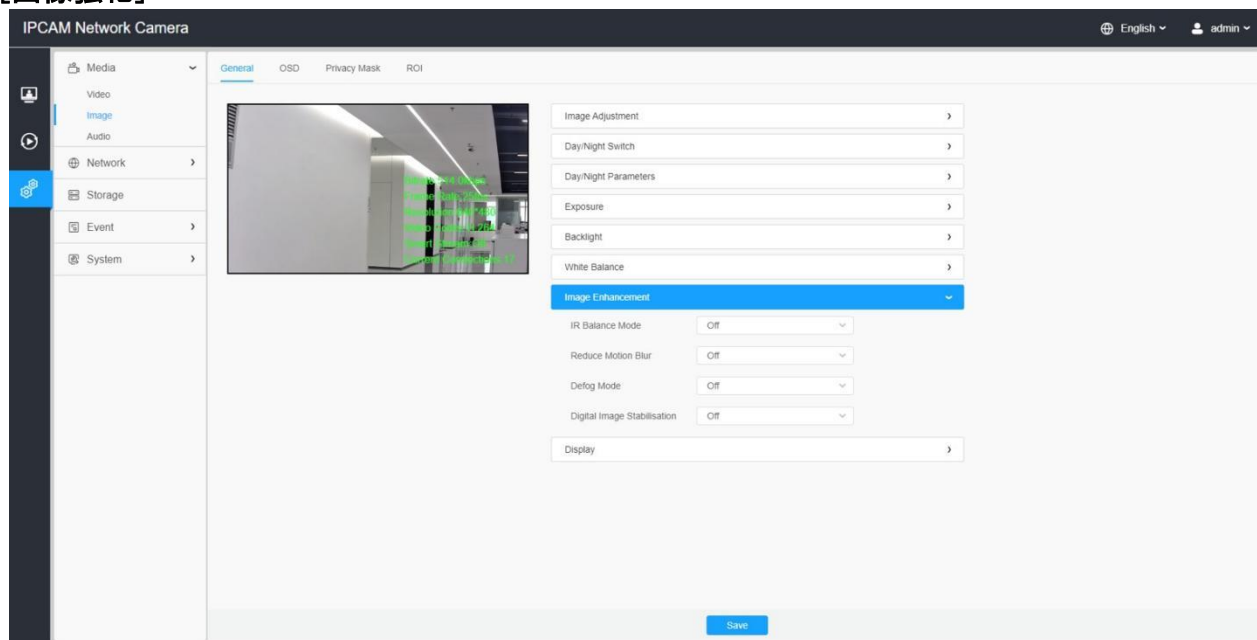


表15. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
IRバランスモード	IRLEDをオン/オフするオプションがあります。 IRバランスモードは、露出オーバーや暗闇の問題を回避し、IRLEDは実際の照明に応じて変化します。
モーションブラーを減らす	この機能を有効にすると、オブジェクトのモーションブラーを効果的に減らすことができます。デブラーレベルは1から100まで調整できます。
曇り止めモード	霧深い天候でより良い画像効果を発揮します。 注意： ・デフォグモードはNCxxx-xPAではサポートされていません。
デジタル画像の安定化	画像のにじみや揺れを軽減します。

[ディスプレイ]

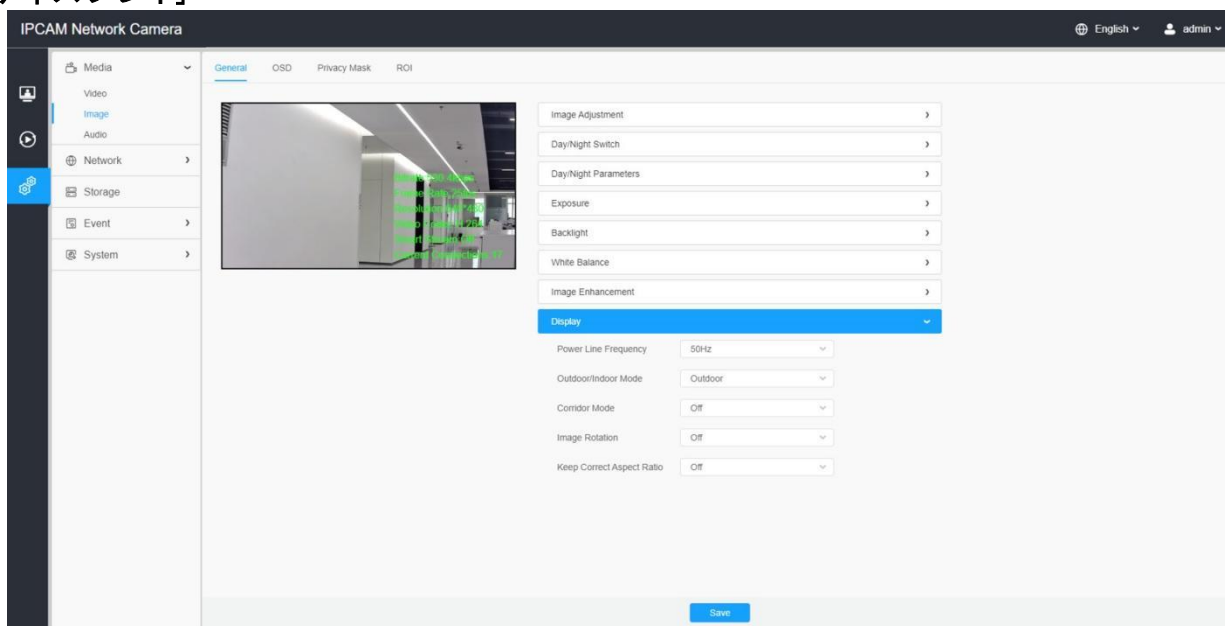


表16. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
電力線周波数	60Hzと50Hzが利用可能です。
屋外/屋内モード	ニーズに合わせて屋内モードまたは屋外モードを選択してください。
コリドーモード	利用可能なオプションは3つあり、ニーズに合わせて1つを選択できます。 オフ ：画像を法線方向に保ちます。 時計回りに90度 ：画像を時計回りに90度回転させます。 反時計回り90度 ：画像を反時計回りに90度回転させます。

<p align="center">画像の回転</p>	<p>利用可能なオプションは4つあり、ニーズに合わせて1つを選択できます。</p> <p>オフ：画像を法線方向に保ちます。</p> <p>180度回転：画像を上下逆にします。</p> <p>水平方向に反転：画像を水平方向に反転します。</p> <p>垂直方向に反転：画像を垂直方向に反転します。</p>
<p align="center">正しいアスペクト比を維持する</p>	<p>このオプションを有効にすると、解像度比が変更されたときにカメラが画像の歪みを防ぎます。</p>
<p align="center">ズーム制限</p>	<p>ズーム制限を設定します。</p> <p>注意：20倍以上の光学ズームを備えたPTZネットワークカメラの場合のみです。</p>
<p align="center">ホワイトLEDレベル</p>	<p align="center">ホワイトLEDレベルを1~100に設定します。</p> <p>注意：PTZバレットのみ。</p>
<p align="center">スモークドームカバー</p>	<p>この機能はプロドーム専用です。プロドームにスモークドームカバーが装備されている場合は、この機能を有効にして通常の画像を表示します。</p> <p>注意：プロドームのみ。</p>

7.1.2.2 OSD

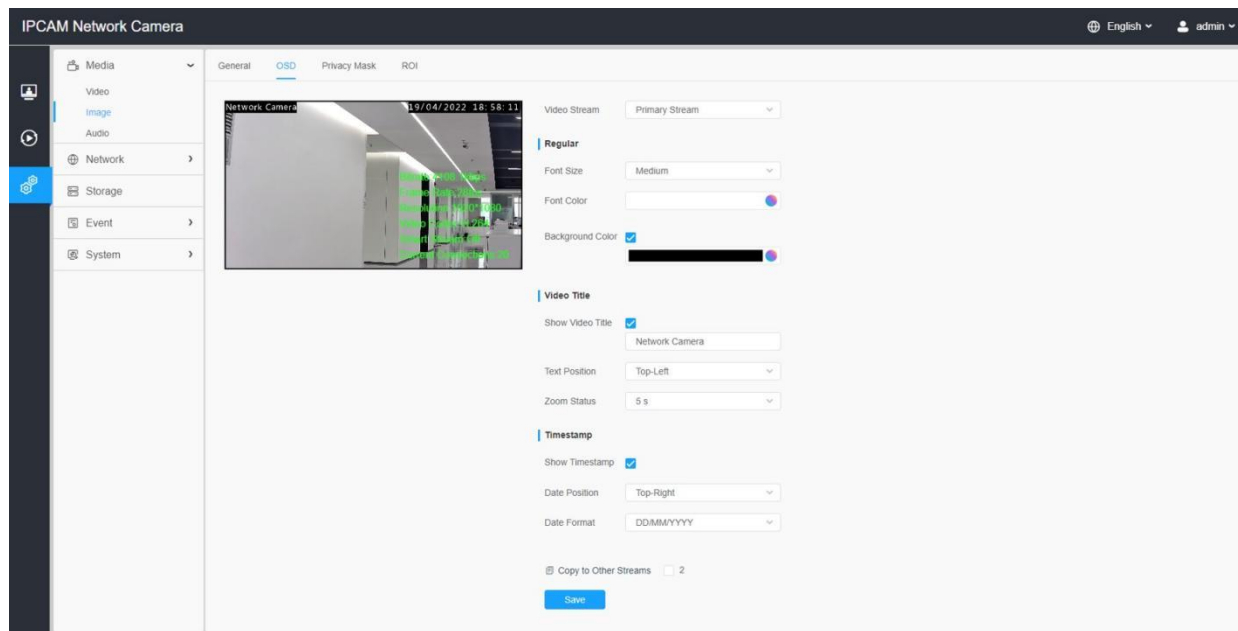
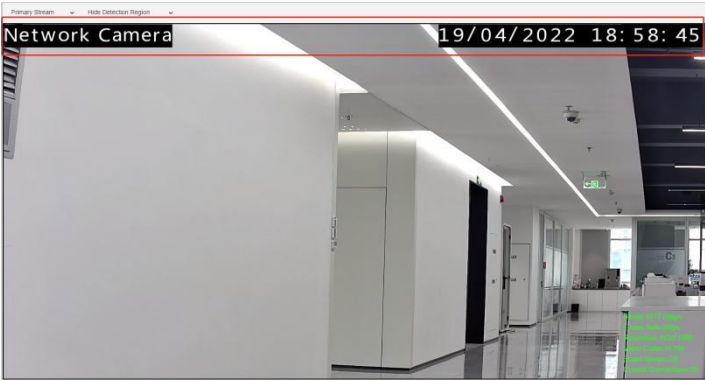


表17. ボタンの説明

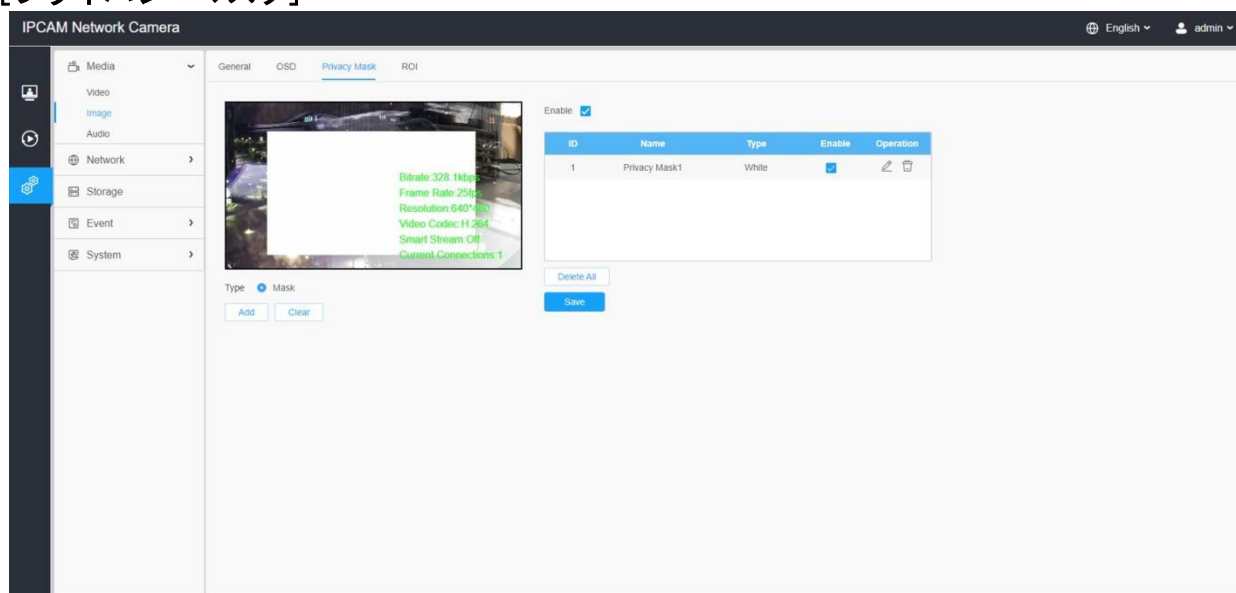
パラメータ	機能紹介
ビデオストリーム	メインストリームとセカンドストリームのOSDを設定できるようにします。
フォントサイズ	最小/小/中/大/最大/自動は、タイトルと日付で利用できます。
フォントの色	タイトルと日付に異なる色を設定できるようにします。

<p style="text-align: center;">背景色</p>	<p>画面に情報の背景を表示するために異なる色を設定できるようにします。</p> <p>画像のフォントと背景に異なる色を設定すると、画像のOSDは次のように表示されます。</p> 
<p>ビデオタイトルを表示</p>	<p>チェックボックスをオンにすると、ビデオタイトルが表示されます。</p>
<p>ビデオタイトル</p>	<p>OSDコンテンツをカスタマイズします。</p>
<p>テキストの位置</p>	<p>画像上のOSD表示位置です。</p>
<p>タイムスタンプを表示</p>	<p>チェックボックスをオンにすると、画像に日付が表示されます。</p>
<p>日付位置</p>	<p>画像上の日付表示位置です。</p>
<p>日付形式</p>	<p>日付の形式です。</p>
<p>他のストリームにコピー</p>	<p>設定を他のストリームにコピーします</p>

7.1.2.3 プライバシーマスク

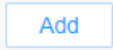
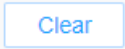
プライバシーマスクを使用すると、ライブビデオの特定のエリアをカバーして、監視エリアの特定の場所が表示および録画されないようにすることができます。

[プライバシーマスク]



ライブビデオの特定のエリアをカバーするために使用する色を選択できます。

表18. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、プライバシーマスク機能を有効にします。
タイプ	プライバシーエリアに使用する色を選択してください。白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫の8色を使用できます。
	必要に応じて、ライブビデオにプライバシーエリアを描画しました。
	ライブビデオで描いたエリアをクリアします。
すべて削除	以前に描いたすべてのエリアをクリアします。

【モザイクタイプのプライバシーマスク】

ライブビデオの特定のエリアをカバーするために使用するカラータイプとモザイクタイプを選択できます。モザイクタイプは、画像の連続性を維持し、視覚効果を向上させることができます。24個のマスクエリアと4個のモザイクエリアを含む、最大28個のマスクエリアがサポートされます。

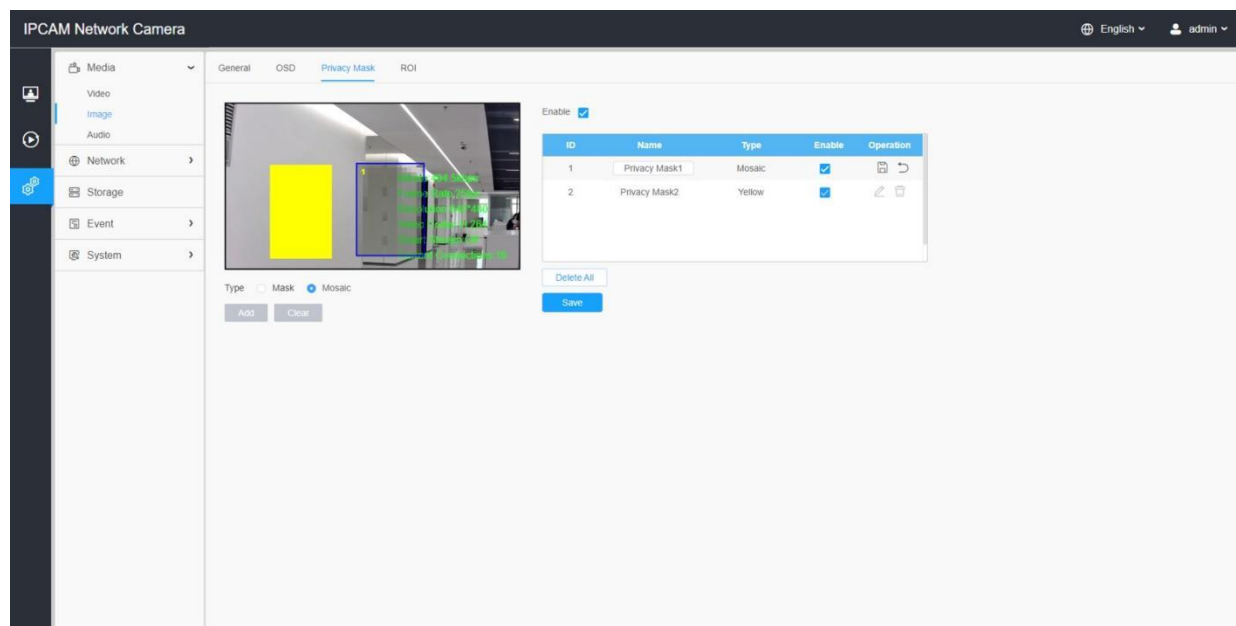
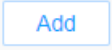
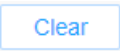





表19. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、プライバシーマスク機能を有効にします。
タイプ	プライバシーエリアに使用するタイプを選択します。マスクとモザイクの2つのタイプを使用できます。
	必要に応じて、ライブビデオにプライバシーエリアを描画します。

		ライブビデオで描いたエリアをクリアします。
操作		選択したROIエリアを有効/無効にします。
		マスクエリアの色を変更してください。白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫の8色があります。
		プライバシーマスクエリアを削除します。

7.1.2.4 ROI

関心エリア（ROIと略される）は、特定の目的のために識別されたデータセット内のサンプルの選択されたサブセットです。ユーザーは、シーンの最大8つの主要なエリアを選択して、ターゲットを絞ったプレビューと録画のために別々のストリームを介して送信できます。

ROIテクノロジーを使用することで、ビットレートを50%以上節約できるため、必要な帯域幅が少なくなり、ストレージの使用量が削減されます。したがって、これに従って、高解像度の小さなビットレートを設定できます。

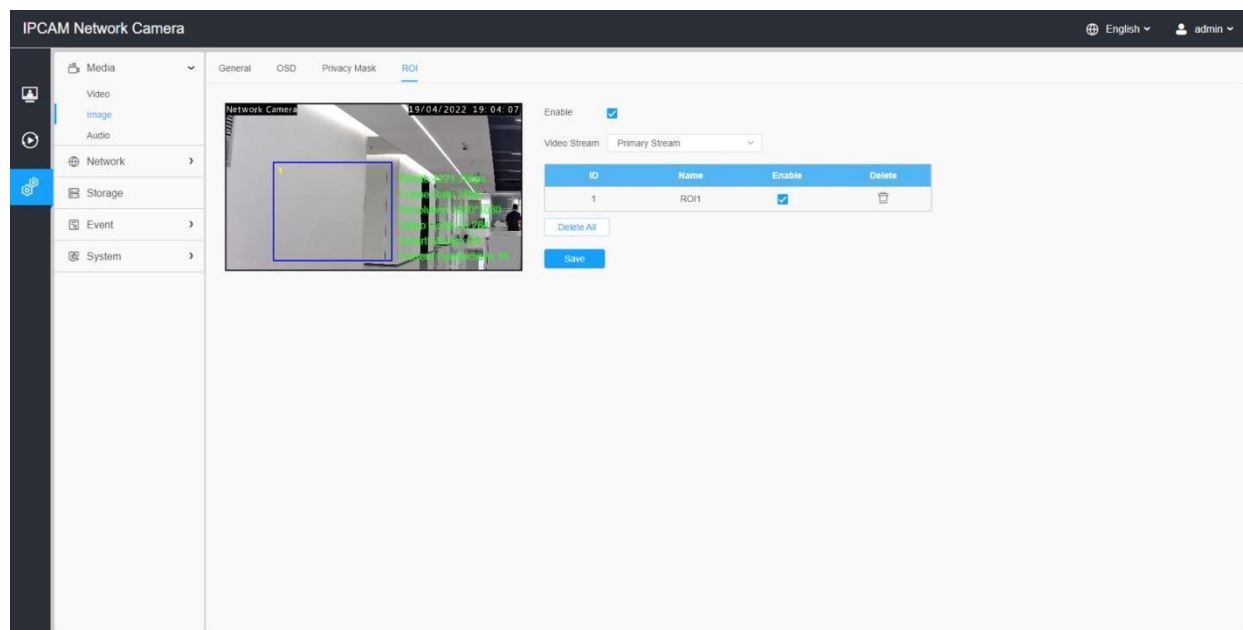


表20. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、ROI機能を有効にします。
ビデオストリーム	ビデオストリームを選択します。

ROI	<input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/>	選択したROIエリアを有効/無効にします。
		選択したROIエリアを削除します。
すべて削除	以前に描いたすべてのエリアをクリアします。	

注意：

- 低ビットレートを設定できます。たとえば、ビットレートを512Kbpsに設定し、解像度を1080Pに設定すると、ROIの画質が他のエリアよりも明確で流暢であることがわかります。

7.1.3 オーディオ

7.1.3.1 オーディオ

このオーディオ機能を使用すると、カメラから音を聞いたり、カメラ側に音を送信したりできます。この機能により、双方向通信も可能です。音声入力が設定した特定のアラームレベルを超えたときにアラームが作動し、アラームが発生したときに設定済みの音声を再生できます。

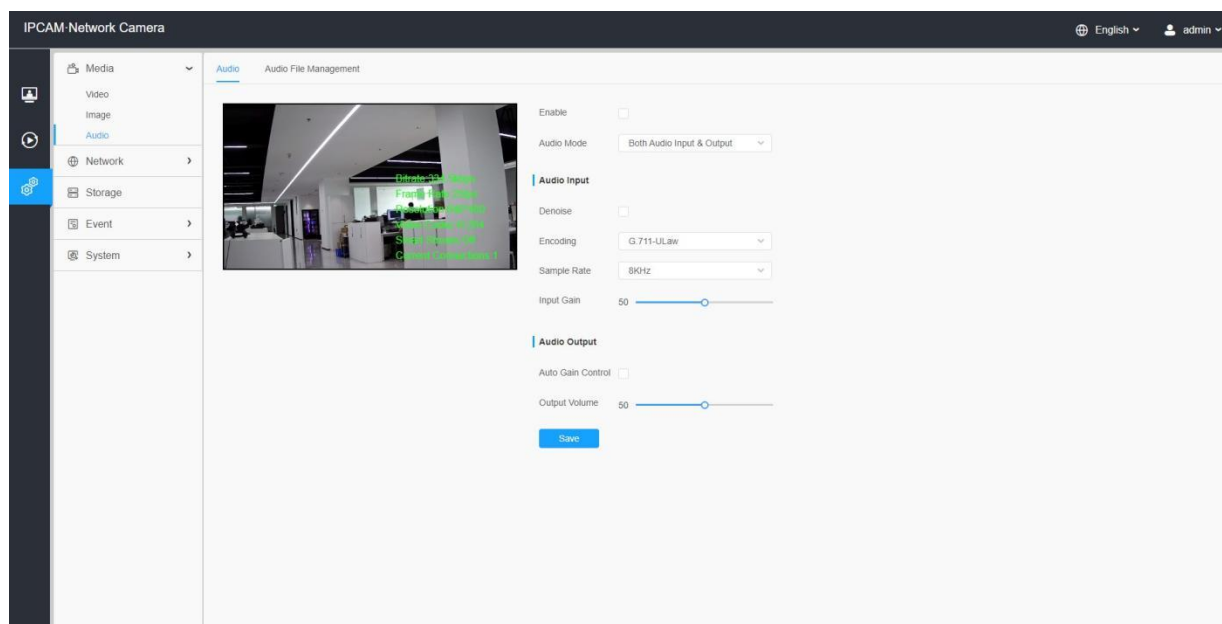


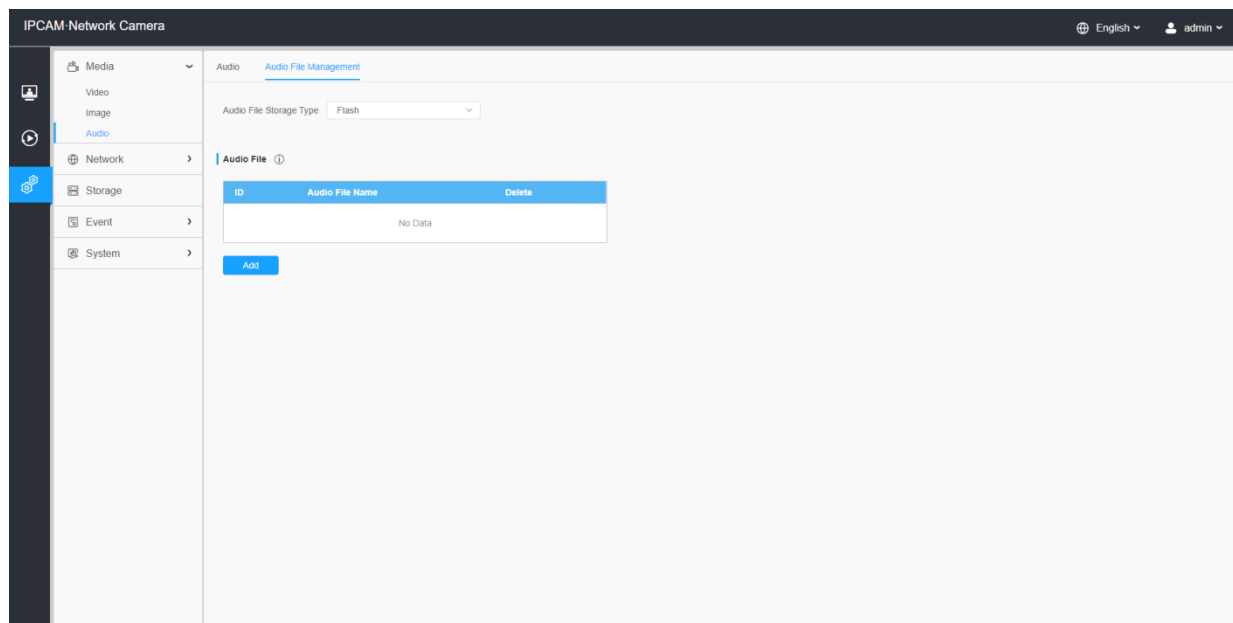
表21. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、オーディオ機能を有効にします。
オーディオモード	オーディオ入力/オーディオ出力/オーディオ入力と出力の両方オプションです。

<p style="text-align: center;">オーディオ入力</p>	<p>ノイズ除去：オン/オフに設定します。この機能をオンにすると、検出されたノイズをフィルタリングできます。</p> <p>エンコーディング：G. 711-ULaw、G. 711-ALaw、AAC LC、G. 722、G. 726が利用可能です</p> <p>オーディオビットレート：この機能はAACLCでのみ使用可能で、最大256kbpsをサポートします。</p> <p>サンプルレート：8KHz、16KHz、32KHz、44.1KHz、および48KHzが利用可能です。</p> <p>入力ゲイン：入力オーディオゲインレベル、0~100。</p> <p>アラームレベル：音声アラームが有効で、入力獲得音量がアラームレベルの1~100より大きい場合、アラームがトリガーされます。</p>
<p style="text-align: center;">音声出力</p>	<p>自動利得制御：この機能はH. 265シリーズ専用で、音声品質を向上させます。</p> <p>出力音量：出力の音量を調整します。</p>

7.1.3.2 自動ファイル管理

最大5つのオーディオファイルをオーディオWebページのFlashまたはSDカードに手動でアップロードできます。また、アップロード時にオーディオファイルの名前を編集することもできます。



注意：

- オーディオモードとオーディオ出力は、特定のモジュール専用です。
- コーデックタイプがPCM/PCMU/PCMA、ビットレートが64kbpsまたは128kbps、500k以下の「.wav」オーディオファイルのみをサポートします。

7.2 ネットワーク

7.2.1 基本

7.2.1.1 TCP/IP

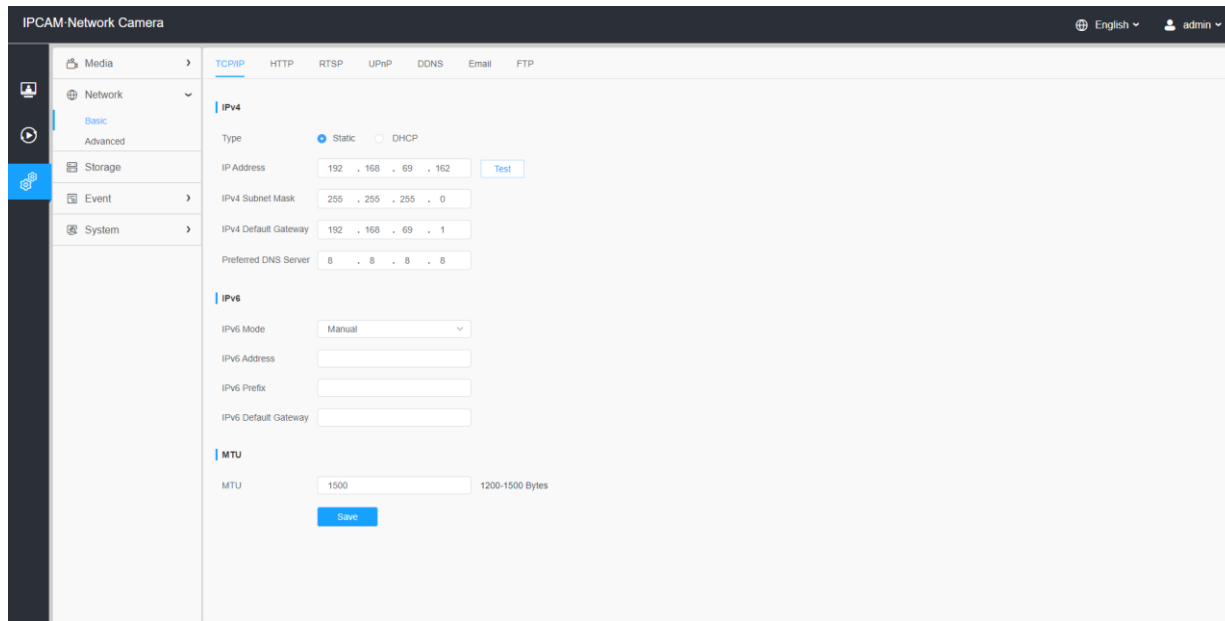


表22. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
IPv4	<p>タイプ：静的タイプとDHCPタイプは、ユーザーがIPv4アドレスを自動的に取得する、または固定IPアドレスを使用したりするためのオプションです。</p> <p>IPv4アドレス：ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されたアドレスです。</p> <p>注意：[テスト]ボタンは、IPが競合しているかどうかをテストするために使用されます。</p> <p>IPv4サブネットマスク：これは、ネットワークカメラが配置されているサブネットを識別するために使用されます。</p> <p>IPv4デフォルトゲートウェイ：デフォルトルーターアドレス。</p> <p>優先DNSサーバー：DNSサーバーはドメイン名をIPアドレスに変換します。</p>
IPv6	<p>IPv6モード：IPv6のさまざまなモードを選択します：手動/ルートアドバタイズメント/DHCPv6</p> <p>IPv6アドレス：ネットワーク上のネットワークカメラを識別するために使用されるIPv6アドレス</p> <p>IPv6プレフィックス：IPv6アドレスのプレフィックス長を定義します</p> <p>IPv6デフォルトゲートウェイ：デフォルトのルーターIPv6アドレス</p>
MTU	<p>最大伝送ユニット。デフォルト値は1500です。必要に応じて値を1200から1500までカスタマイズできます。</p>
Save	<p>設定を保存します。</p>

7.2.1.2 HTTP

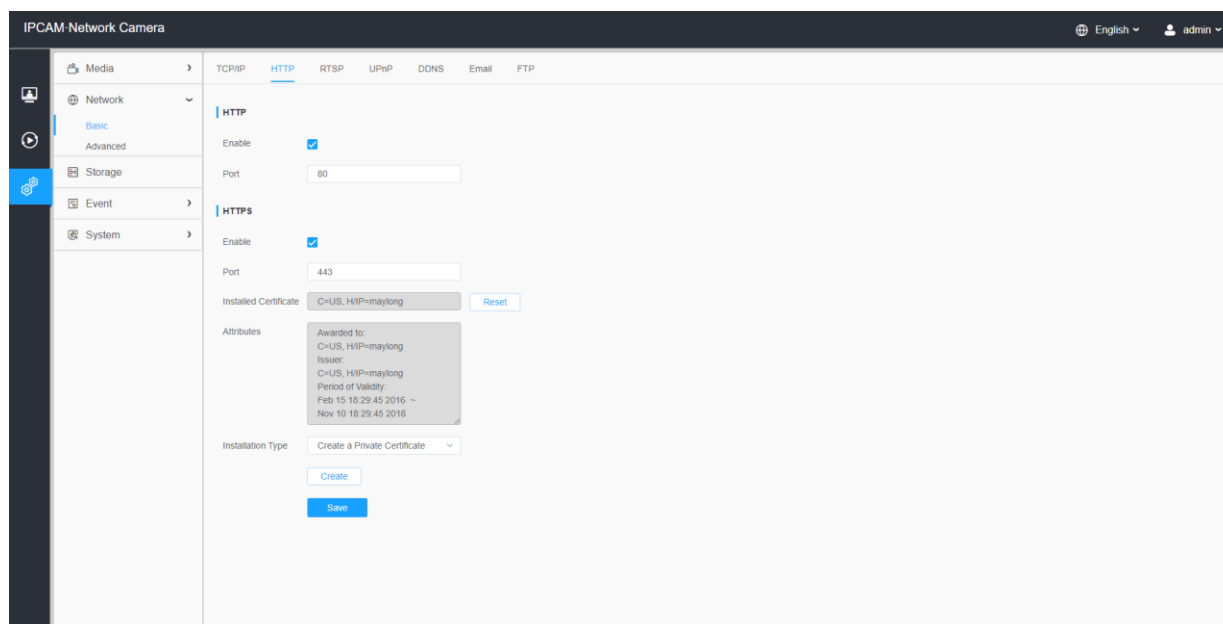



表23. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
HTTP	有効：HTTPの使用を開始または停止します。 ポート：Web GUIログインポート。デフォルトは80で、ONVIFポートと同じです。
HTTPS	有効：HTTPSの使用を開始または停止します。 ポート：HTTPS経由のWeb GUIログインポート。デフォルトは443です。
インストールされた証明書	SSL証明書をアップロードして設定します。
属性	
インストールタイプ	
Save	設定を保存します。

表24. HTTP URLは次のとおりです。

ストリーム	URL
メインストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpeg.cgi
セカンダリストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegcif.cgi
ターシャリストリーム	http://username:password@IP:port/ipcam/mjpegthird.cgi

 **注意**：ストリームのコーデックタイプをMJPEGに変更する必要があります。

7.2.1.3 RTSP

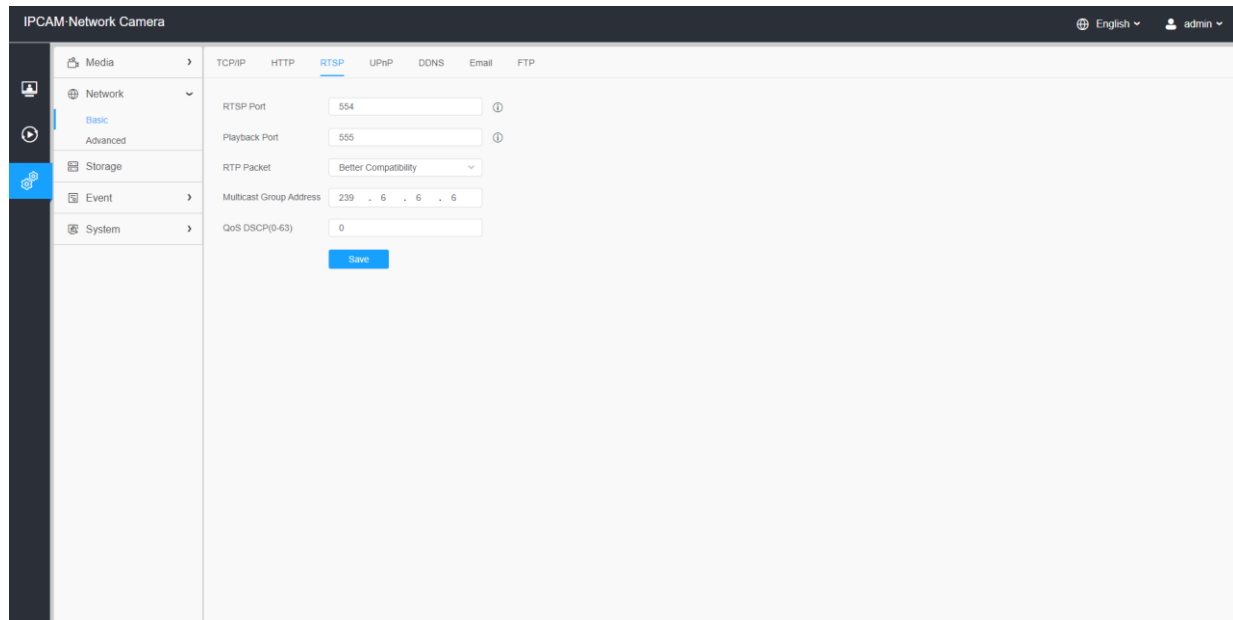


表25. ボタンの説明



パラメータ	機能紹介
RTSPポート	RTSPのポート。デフォルトは554です。
再生ポート	再生ポート再生ポート。デフォルトは555です。  注意 ：ポート0は、再生機能を閉じることを意味します。
RTPパケット	互換性の向上とパフォーマンスの向上の2つのオプションがあります。カメラの画像が乱れる場合は、このオプションを切り替えてください。
マルチキャストグループアドレス	マルチキャスト機能をサポートします。
QoS DSCP	DSCPの有効な値の範囲は0~63です。
	設定を保存します。

表26. RTSP URLは次のとおりです。

ストリーム	URL
プライマリストリーム	rtsp://IP:RTSP Port/main
セカンダリストリーム	rtsp://IP:RTSP Port/sub
ターシャリストリーム	rtsp://IP:RTSP Port/third

注意：

- DSCPは、Differentiated Service Code Pointを指します。DSCP値は、データの優先度を示すためにIPヘッダーで使用されます。
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。

7.2.1.4 UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) は、ネットワーク機器、ソフトウェア、その他のハードウェアデバイスの間で互換性を提供するネットワークアーキテクチャです。UPnPプロトコルにより、デバイスはシームレスに接続され、家庭や企業環境におけるネットワークの実装を簡素化することができます。この機能を有効にすると、各ポートのポートマッピングを設定する必要がなくなり、カメラはルーターを経由してワイドエリアネットワークに接続されます。

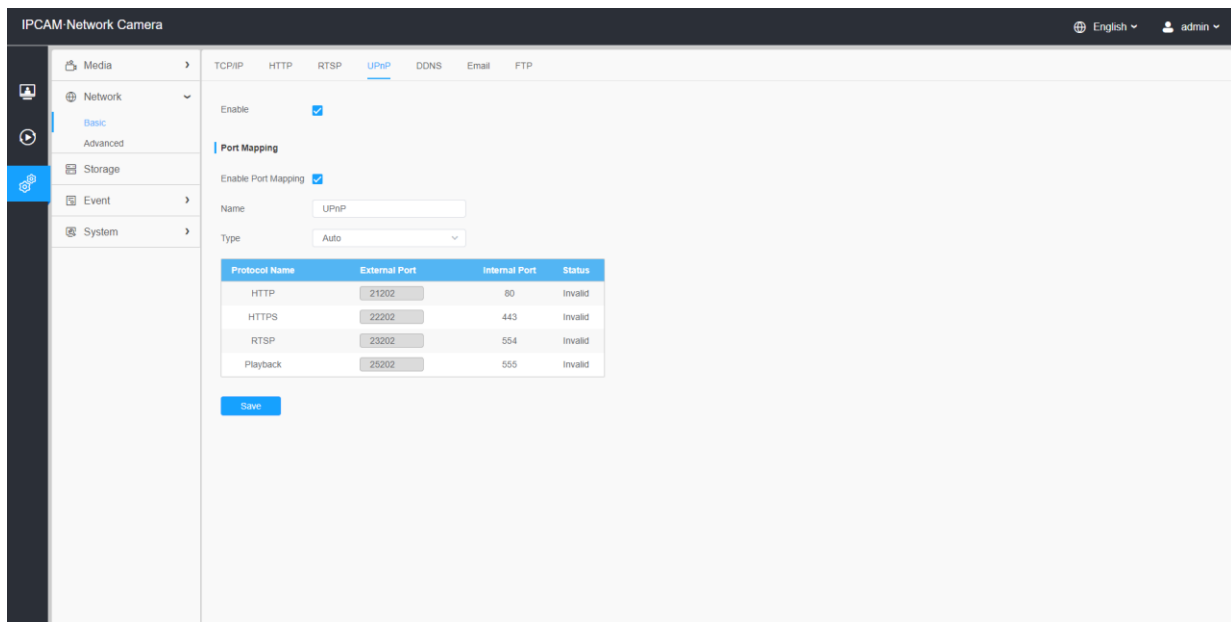


表27. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	チェックボックスをオンにして、UPnP機能を有効にします。
ポートマッピングを有効にする	チェックボックスをオンにして、ポートマッピングを有効にします。
名前	オンラインで検出されたデバイスの名前を編集できます。
タイプ	自動： 設定なしで、対応するHTTPおよびRTSPポートを自動的に取得します。 マニュアル： 適切なHTTPポートとRTSPポートを手動で設定する必要があります。手動を選択すると、ポート番号の値を自分でカスタマイズできます。
Save	設定を保存します。

7.2.1.5 DDNS

DDNSを使用すると、IPアドレスの代わりにドメイン名を介してカメラにアクセスできます。IPアドレスを変更し、ドメイン情報を動的に更新することができます。プロバイダーからアカウントを登録する必要があります。

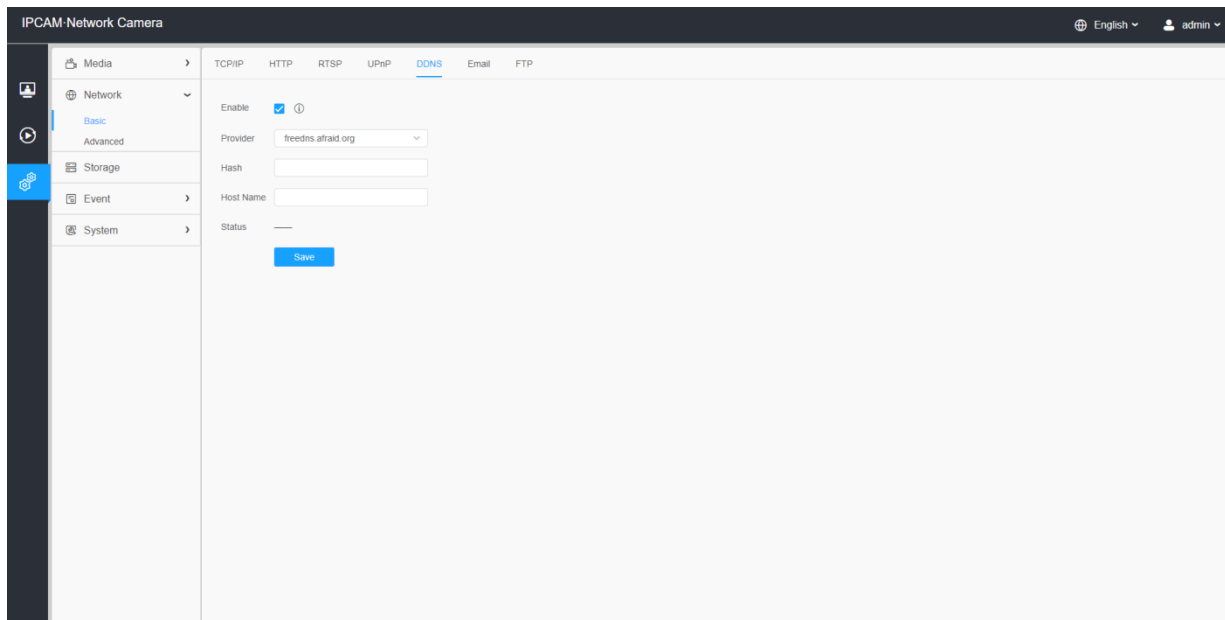



表28. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
DDNSを有効にする	<p>チェックボックスをオンにして、DDNSサービスを有効にします。</p> <p> 注意：DDNSで直接使用できるUPnPポートを有効にして設定することをお勧めします。</p>
プロバイダー	<p>DDNSプロバイダーからサポートを受ける：reedns.afraid.org, dyndns.org, www.no-ip.com, www.zoneedit.com.</p> <p>DDNSのプロバイダーをカスタマイズすることもできます。</p>
ハッシュ	「freedns.afraid.org」のみの検証に使用される文字列。
ユーザー名	DDNSプロバイダーからのアカウント名。「freedns.afraid.org」では使用できません。
パスワード	アカウントのパスワード。「freedns.afraid.org」では使用できません。
ホスト名	アカウントで有効になっているDDNS名です。
状態	DDNSの実行ステータスを表示します。
	設定を保存します。

注意：

- DDNSを使用する前に、HTTPポートとRTSPポートのポートフォワーディングを実行してください。
- RTSPの内部ポート番号と外部ポート番号が同じであることを確認してください。

7.2.1.6 Eメール

アラームビデオファイルは、SMTPサーバーを介して特定のメールアカウントに送信できます。使用する前に、電子メール設定を正しく設定する必要があります。

The screenshot shows the 'Email' configuration page in the IPCAM Network Camera web interface. The 'Enable' checkbox is checked. The 'User Name' field contains 'hdipnc', 'Sender Email Address' contains 'hdipnc@sina.com', 'Password' is masked with dots, 'Email Server' contains 'smtp.sina.com', 'Email Port' contains '25', 'Recipient Email Address1' contains 'user@domain.com', and 'Recipient Email Address2' is empty. The 'Encryption' section has 'None' selected. Under 'Snapshot Settings', 'Alarm Snapshot File Name' and 'Timing Snapshot File Name' are both set to 'YYYY-MM-DD'. 'Save' and 'Test' buttons are at the bottom.

表29. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	メール機能を有効にするには、チェックボックスをオンにします。
ユーザー名	送信者の名前。通常、アカウント名と同じです。
送信者のメールアドレス	ビデオファイルに添付された電子メールを送信するための電子メールアドレスです。
パスワード	送信者のパスワードです。
メールサーバー	メールサーバーのIPアドレスまたはホスト名（例：smtp.gmail.com）。
メールポート	SMTPのデフォルトのTCP/IPポートは25（保護されていません）です。SSL / TLSポートの場合、使用するメールによって異なります。
受信者の電子メールアドレス1	ビデオファイルを受信するための電子メールアドレスです。
受信者の電子メールアドレス2	ビデオファイルを受信するための電子メールアドレスです。

暗号化	SMTPサーバーでSSLまたはTLSが必要な場合は、チェックボックスをオンにしてSSLまたはTLSを有効にします。
スナップショット設定	<p>アラームスナップショットファイル名：デフォルト (YYYY-MM-DD) / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書き/カスタマイズが可能です。</p> <p>タイミングスナップショットファイル名：デフォルト (YYYY-MM-DD) / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書き/カスタマイズが可能です。</p>
Save	設定を保存します。
Test	設定が成功したかどうかをテストします。

 **注意**：次のファイル名のヒントを参照して、ファイル名をカスタマイズできます。

File Name Tip
 &Device - Device Name
 &Y - Year
 &M - Month
 &D - Day
 &h - hour
 &m - minute
 &s - second
 &ms - millisecond
 && - &

7.2.1.6 FTP

アラームビデオファイルは、特定のFTPサーバーに送信できます。FTP設定を使用する前に、正しく設定する必要があります。

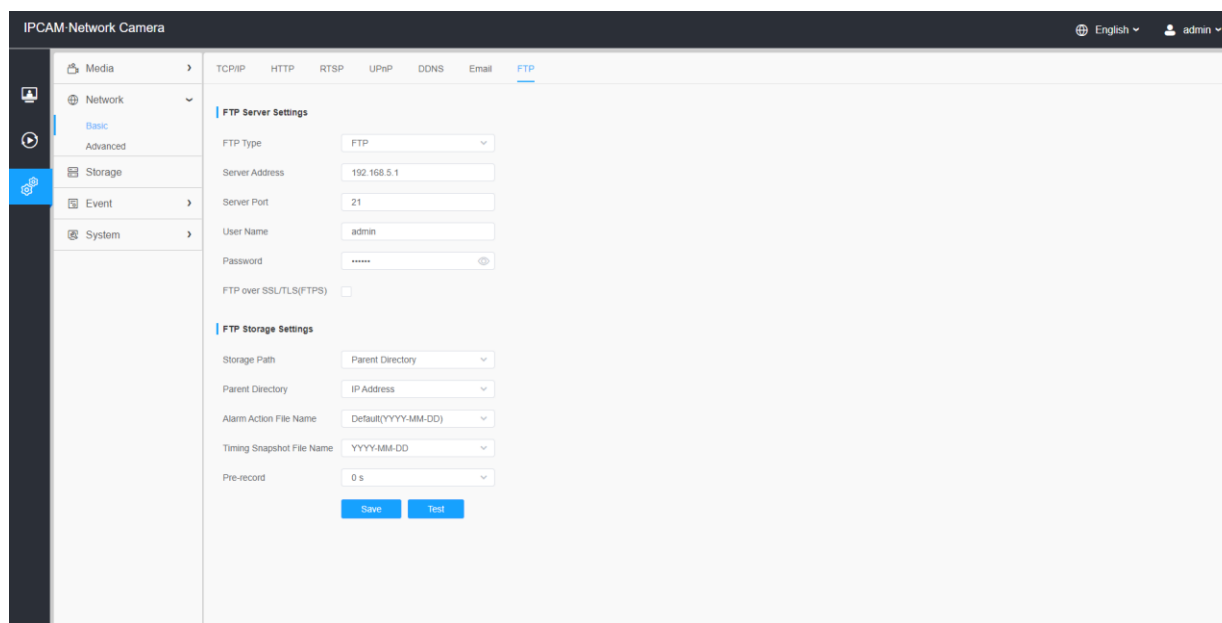


表30. ボタンの説明

パラメータ		機能紹介
FTPサーバー設定	FTPタイプ	FTPとSFTPはオプションです。
	サーバーアドレス	FTP/SFTPサーバーアドレスです。
	サーバポート	FTPサーバーのポート。通常は21です。SFTPサーバーのポートです。一般的には22です。
	ユーザー名	FTP/SFTPサーバーへのログインに使用されるユーザー名です。
	パスワード	利用者パスワードです。
FTPストレージ設定	ストレージパス	ビデオと画像がFTPサーバーにアップロードされるストレージパス。 ルートディレクトリ、親ディレクトリ、子ディレクトリ、カスタマイズなど、4つのFTPストレージパスタイプを使用できます。
	親ディレクトリ	親ディレクトリのフォルダ名としてIPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
	子ディレクトリ	子ディレクトリのフォルダ名としてIPアドレス/デバイス名/日付を選択するか、フォルダ名をカスタマイズします。
FTPストレージ設定	マルチレベルフォルダ名	ストレージパスが3レベルを超える場合は、ここにマルチレベルFTPストレージパスを手動で入力します。
	アラームアクションファイル名	デフォルト (YYYY-MM-DD) を選択するか、アラームアクションファイル名をカスタマイズします。
	ビデオファイル名	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合は、YYYY-MM-DD / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加が可能です。
	画像ファイル名	アラームアクションファイル名をカスタマイズする場合は、YYYY-MM-DD / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加が可能です。
	タイミングスナップショットファイル名	デフォルト (YYYY-MM-DD) / MM-DD-YYYY / DD-MM-YYYY/プレフィックスの追加/ベースファイル名による上書きが可能です。
	プレセカンド	アラーム前の録画時間、0~10秒を予約します。
	Save	設定を保存します。0から10はオプションです。
	Test	設定が成功したかどうかをテストします。

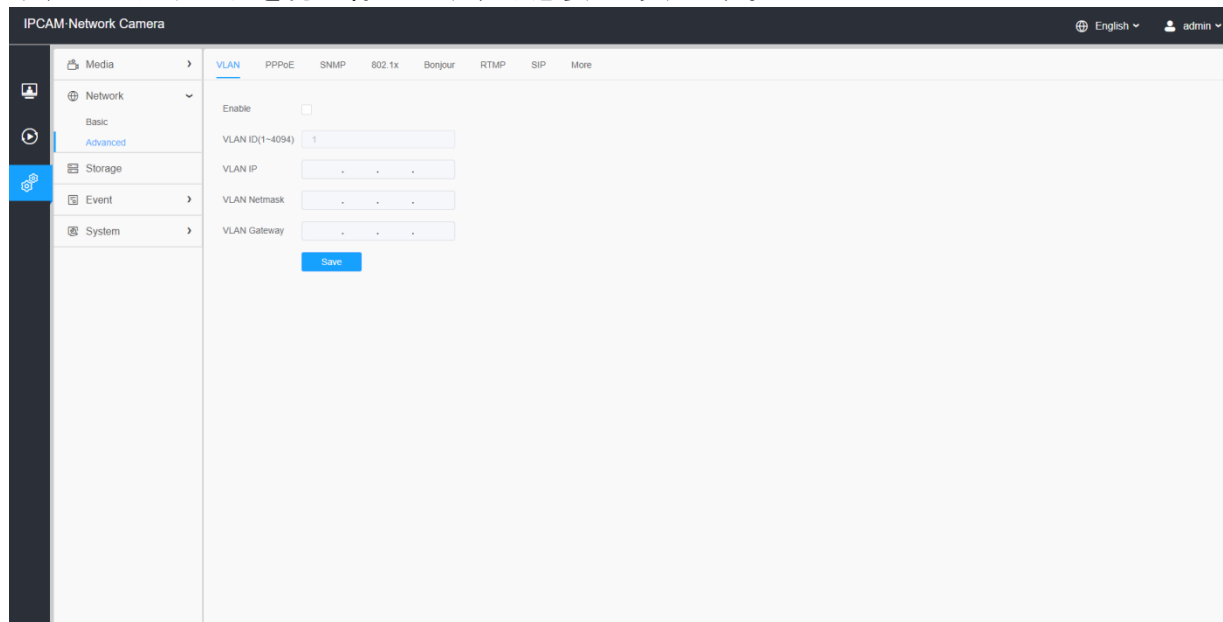
注意：

- 親ディレクトリはルートディレクトリの下にあり、子ディレクトリは親ディレクトリの下にあります。
- 次のファイル名のヒントを参照して、ファイル名をカスタマイズできます。

7.2.2 アドバンス

7.2.2.1 VLAN

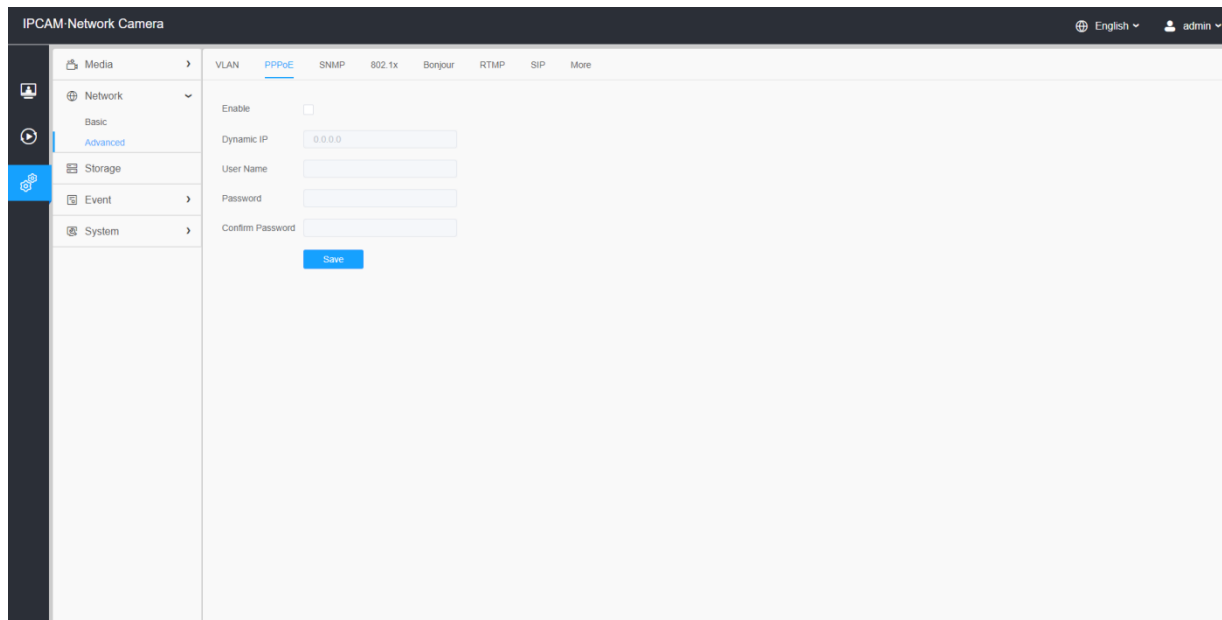
VLANは、データリンク層（OSI層2）でコンピューターネットワークに分割および分離されたブロードキャストドメインです。LANは、ローカルエリアネットワークの略語です。VLANを使用すると、ホストが同じネットワークスイッチ上にない場合でも、ネットワーク管理者はホストをグループ化できます。これにより、VLANメンバーシップをソフトウェアで設定できるため、ネットワークの設計と展開を大幅に簡素化できます。VLANがない場合、リソースのニーズに応じてホストをグループ化するには、ノードを再配置したり、データリンクを再配線したりする必要があります。



注意：スイッチにVLANを設定する方法については、スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

7.2.2.2 PPPoE

このカメラはPPPoE自動ダイヤルアップ機能をサポートしています。カメラがモデムに接続された後、カメラはADSLダイヤルアップによってパブリックIPアドレスを取得します。ネットワークカメラのPPPoEパラメータを設定する必要があります。



注意：

- 取得したIPアドレスはPPPoEを介して動的に割り当てられるため、カメラを再起動するとIPアドレスは常に変更されます。ダイナミックIPの不便さを解決するには、DDNSプロバイダー（DynDns.comなど）からドメイン名を取得する必要があります。
- ユーザー名とパスワードは、ISPを割り当てる必要があります。

7.2.2.3 SNMP

SNMP機能を設定して、カメラのステータス、パラメータ、アラーム関連情報を取得し、ネットワークに接続されているときにカメラをリモートで管理できます。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポートを介してカメラ情報を受信できるようにしてください。トラップアドレスを設定することにより、カメラはアラームイベントと例外メッセージを監視センターに送信できます。

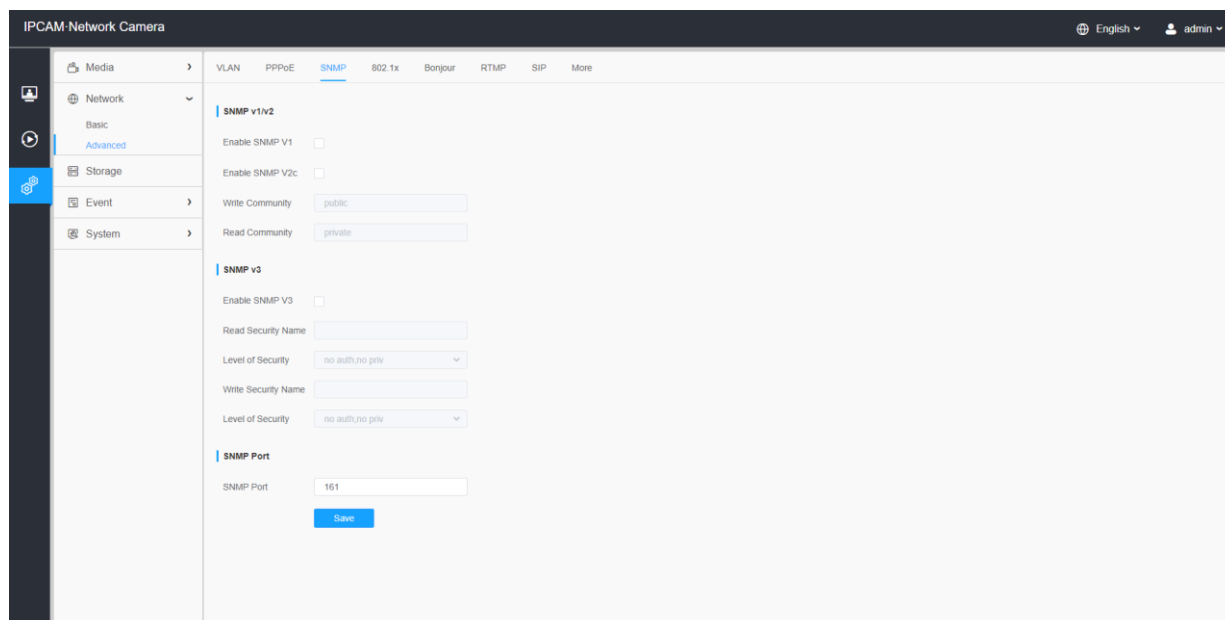


表33. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
SNMP v1 / v2	<p>SNMPのバージョン。SNMPソフトウェアのバージョンを選択してください。</p> <p>SNMP v1を有効にします：セキュリティを提供しません。</p> <p>SNMPv2を有効にします。アクセスにはパスワードが必要です。</p> <p>コミュニティを書く：書き込みコミュニティの名前を入力します。</p> <p>コミュニティを読む：コミュニティの読み取りの名前を入力します。</p>
SNMP v3	<p>SNMPv3を有効にします。暗号化を提供し、HTTPSプロトコルを有効にする必要があります。</p> <p>セキュリティ名を読む：ReadSecurityCommunityの名前を入力します。</p> <p>セキュリティのレベル：使用可能なレベルは、(auth、priv)、(auth、no priv)、および(no auth、no priv)の3つです。</p> <p>セキュリティ名を書く：WriteSecurityCommunityの名前を入力します。</p> <p>セキュリティのレベル：使用可能なレベルは、(auth、priv)、(auth、no priv)、および(no auth、no priv)の3つです。</p>
SNMPポート	SNMPのポート。デフォルトは161です。
Save	設定を保存します。

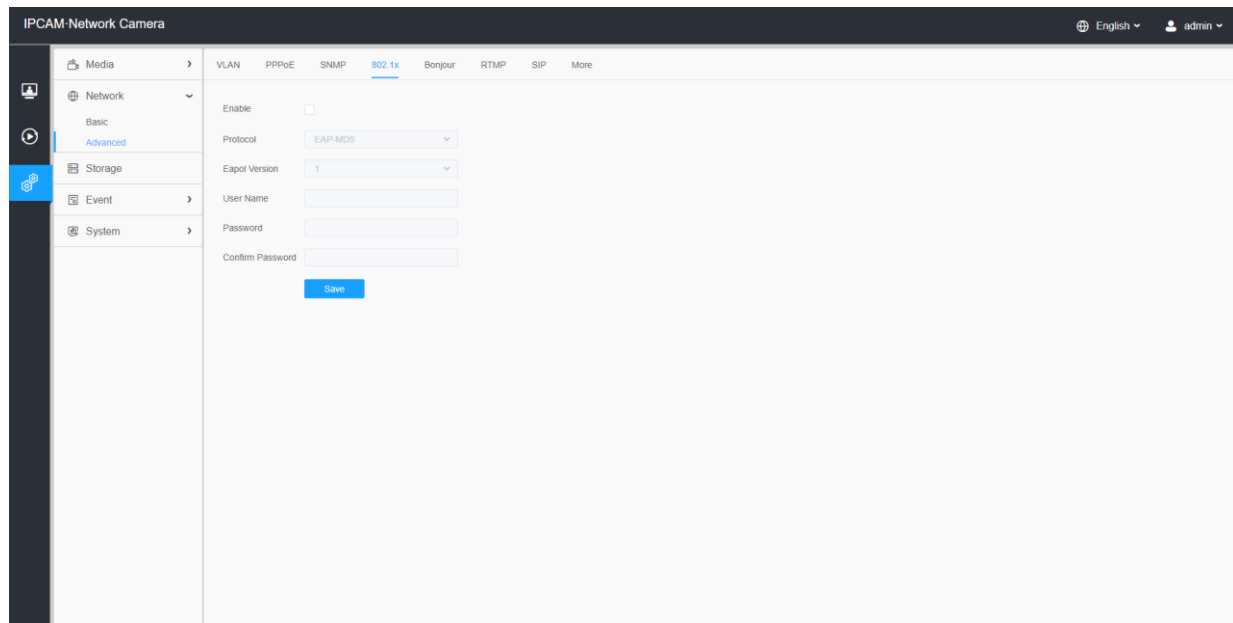


注意：

- SNMPソフトウェアの設定は、ここで設定する設定と同じである必要があります。
- 設定を有効にするには、再起動が必要です。

7.2.2.4 802.1x

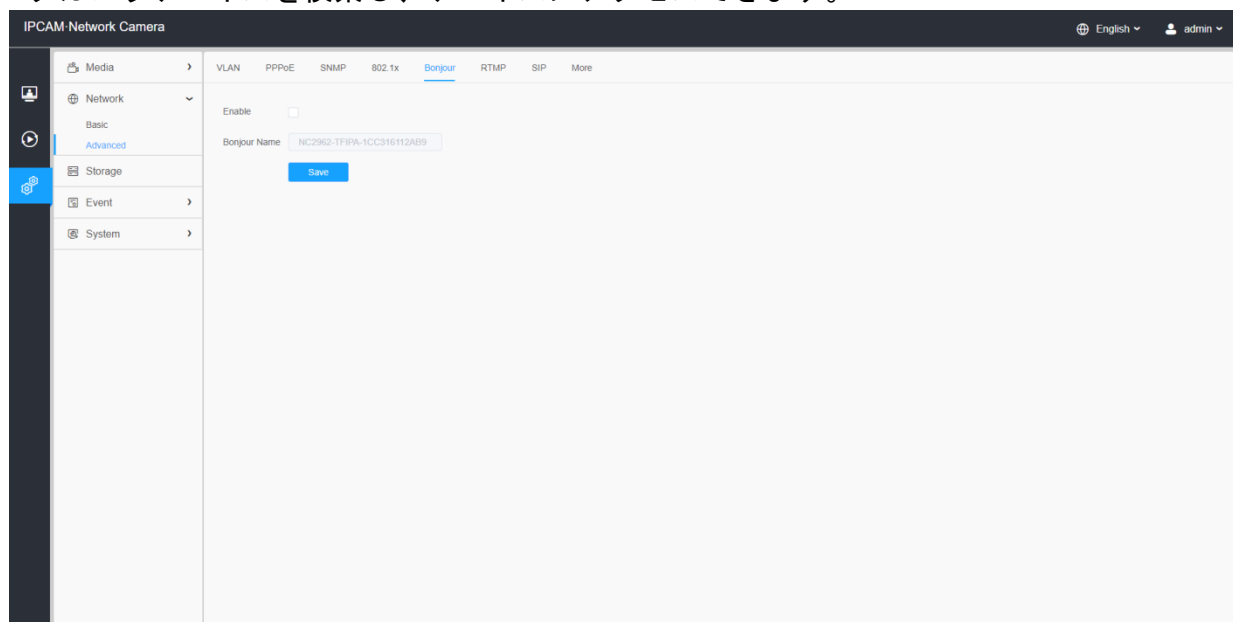
IEEE 802.1X標準はネットワークカメラでサポートされており、この機能を有効にすると、カメラデータが保護され、IEEE802.1Xで保護されているネットワークにカメラを接続するときにユーザー認証が必要になります。



7.2.2.5 ボンジュール (Bonjour)

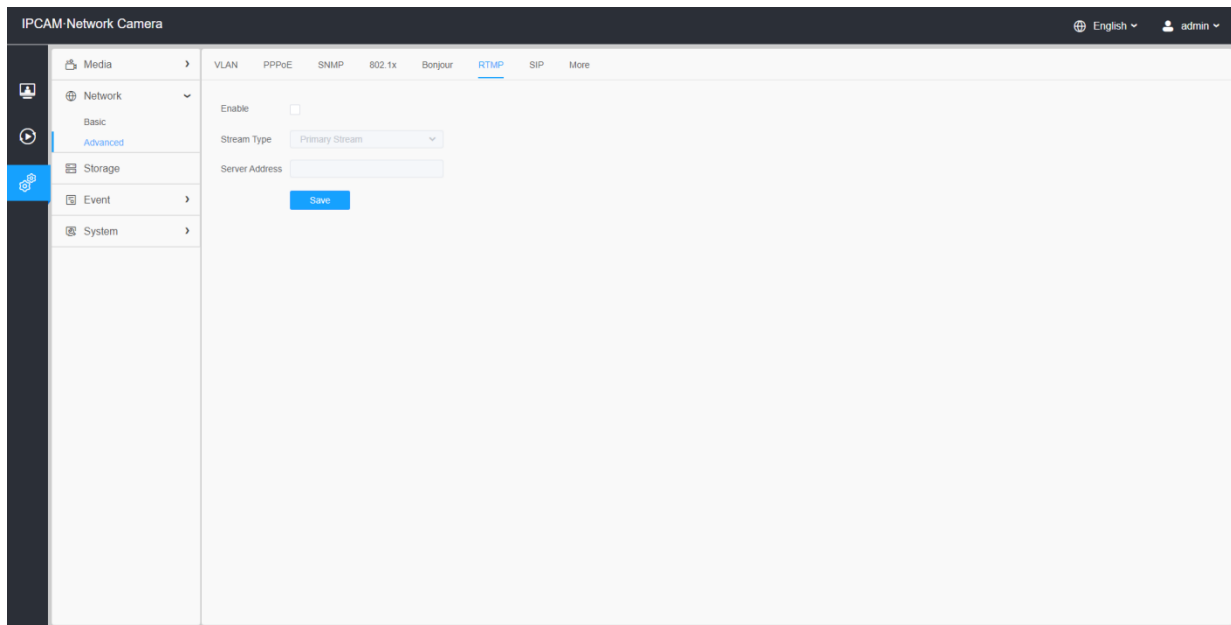
Bonjourは、AppleのマルチキャストDNSサービスに基づいています。Bonjourデバイスは、サービス情報を自動的にブロードキャストし、他のデバイスのサービス情報を聞くことができます。

カメラ情報がわからない場合は、同じLAN上のBonjourサービスを使用して、ネットワークカメラデバイスを検索し、デバイスにアクセスできます。



7.2.2.6 RTMP

RTMPはTCPベースのプロトコルであり、永続的な接続を維持し、低遅延の通信を可能にします。ライブ放送の機能を実現し、ネットワークがあればどこからでもカメラにログインできます。



注意：

- YouTubeライブ放送の際、新しく作成したアカウントを使用してライブ放送を行う場合、ライブ機能を使用するためのアカウントをアクティブ化するには、24時間待つ必要があります。
- RTMPの場合、G. 711はYouTubeで利用できないため、YouTubeではH. 264ビデオコーディングとAACオーディオコーディングを使用してネットワークカメラからのビデオのみを再生できます。
- ネットワークカメラRTMPインターフェースのサーバーアドレスは、`rtmp://<サーバーURL>/<ストリームキー>`の形式で入力する必要があります。<サーバーURL>と<ストリームキー>を接続するには、「/」が必要です。

7.2.2.7 その他

ここでは、プッシュメッセージ設定やONVIF設定などのその他の機能を設定できます。

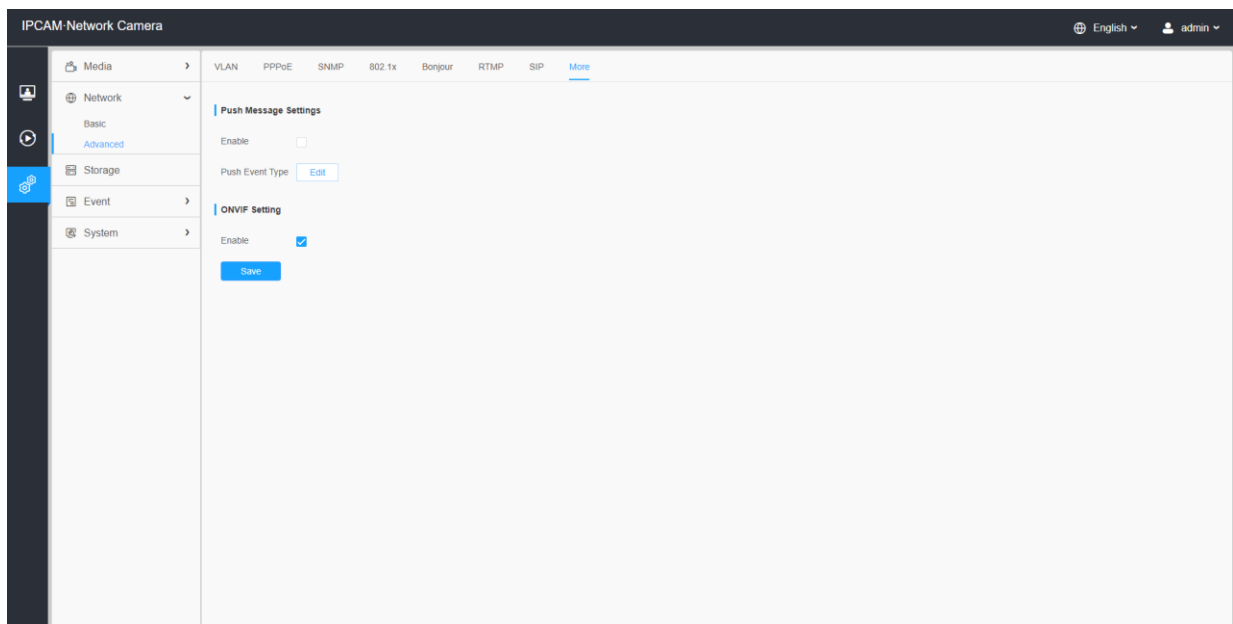


表34. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>プッシュメッセージ設定</p>	<p>有効：プッシュメッセージ機能の有効化/無効化</p> <p>プッシュイベントタイプ： をクリックして、イベントのメッセージのタイプを選択することができます。i-Sightアプリにプッシュされる「イベントの種類」を以下のように示します。</p> 
<p>ONVIF設定</p>	<p>カメラのONVIF機能を有効/無効を選択できます。カメラのONVIF機能が有効になっている場合は、ONVIFプロトコルを介してサードパーティのソフトウェアで検索、追加、接続できます。通常、ONVIF機能のデフォルトステータスは有効になっています。</p>

7.3 ストレージ

7.3.1 ストレージ管理

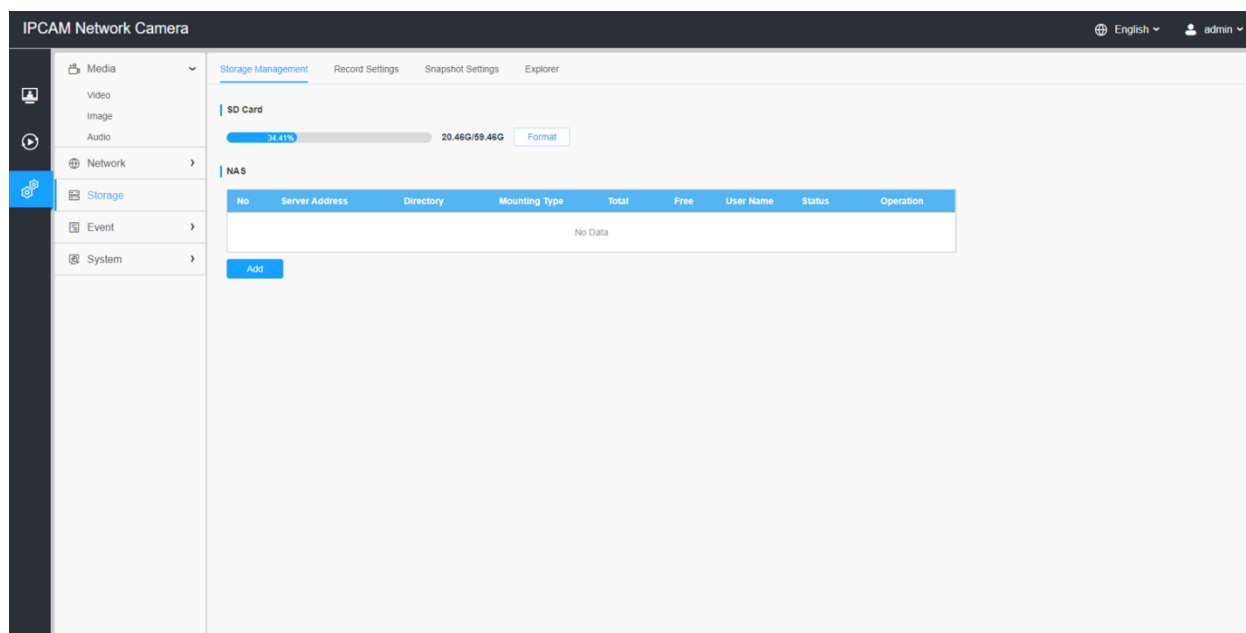


表35. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
SDカード	<p>フォーマット：SDカードをフォーマットすると、SDカード内のファイルが削除されます。</p> <p>マウント/アンマウント：SDカードのマウント/マウント解除 です。</p> <p>消去：サイクリックストレージを有効にします。空きディスク容量が特定の値に達すると、設定に従って特定の割合でファイルが自動的に削除されます。</p>

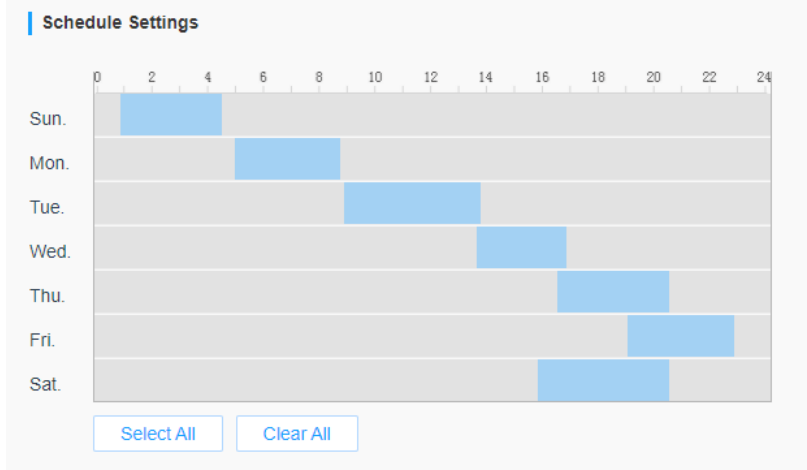
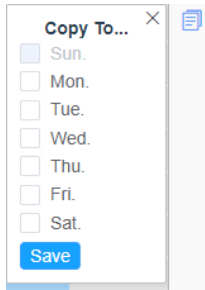
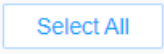
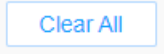

NAS	<p>ネットワークディスクはネットワーク内で利用可能であり、録画されたファイルなどを保存するように適切に設定されている必要があります。</p> <p>NAS (Network-Attached Storage) は、ストレージデバイスを既存のネットワークに接続し、データおよびファイルサービスを提供します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 5px;">Add ×</div> <div style="padding: 10px;"> <p>Server Address* <input type="text"/></p> <p>Directory* <input type="text"/></p> <p>Mounting Type NFS ▼</p> <p style="text-align: center;"> Save Cancel </p> </div> </div> <p>サーバーアドレス : NASサーバーのIPアドレス。</p> <p>ディレクトリ : NASディレクトリを入力します (例 : 「\path」) 。</p> <p>取り付けタイプ : NFSとSMB/CIFSが利用可能です。また、SMB/CIFSが選択されている場合は、セキュリティを保証するためにユーザー名とパスワードを設定できます。</p> <p> 注意 :</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大5台のNASディスクをカメラに接続できます。
-----	--


7.3.2 録画設定

The screenshot shows the 'Record Settings' page in the IPCAM Network Camera web interface. The left sidebar has 'Storage' selected. The main content area is divided into two sections:

- Storage Settings:**
 - Enable Recycle Storage:
 - Pre Second: 0 seconds
- Schedule Settings:**
 - A Gantt chart showing recording schedules for each day of the week (Sun. to Sat.).
 - Buttons: Select All, Clear All
 - Save button

表36. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介	
リサイクルストレージを有効にする	リサイクルストレージを有効/無効にします。このオプションを有効にすると、空きディスク容量が特定の値に達したときにファイルが削除されます。	
プレセカンド	アラーム前の録画時間、0~10秒を予約します。	
スケジュール設定	<p>必要に応じてレコードスケジュールを編集します。タイムバーを直接描画することによる直感的なスケジューリングが行うことができます。</p> 	
		スケジュールエリアを別の日付にコピーします。
		すべてのスケジュールを選択します。
		すべてのスケジュールをクリアします。
	設定を保存します。	

 **注意**：SDカードまたはNASが利用可能です。

7.3.3 スナップショット設定

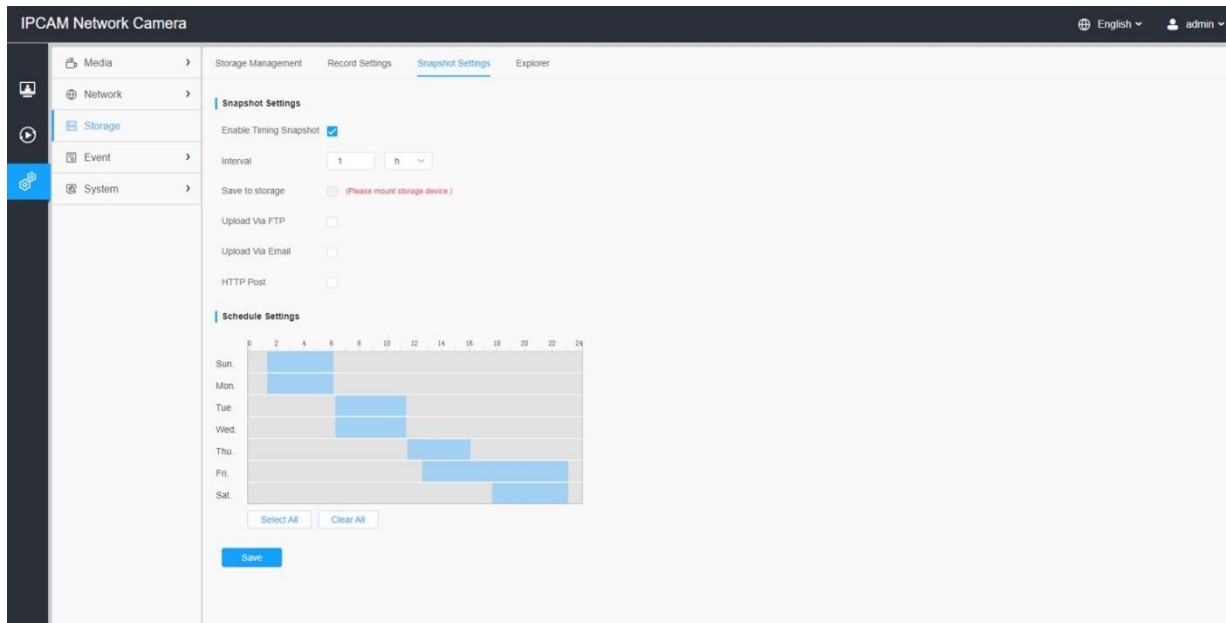


表37. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
スナップショット設定	<p>タイミングスナップショットを有効にする：チェックボックスをオンにして、タイミングスナップショット機能を有効にします</p> <p>間隔：スナップショットの間隔を設定し、数値を入力して、単位（ミリ秒、秒、分、時間、日）を選択します。</p> <p>ストレージに保存：スナップショットをSDカードまたはNASに保存し、ファイル名を選択して時間を追加する、またはベースファイル名を上書きします。</p> <p>NASに保存：スナップショットをNASに保存し、ファイル名を選択して時間を追加するか、ベースファイル名を上書きします。</p> <p>FTP経由でアップロード：FTP経由でスナップショットをアップロードします。</p> <p>メールでアップロード：メールでスナップショットをアップロードします。</p> <p>注意：時間を追加することを選択した場合、すべてのスナップショット画像が保存されますが、ベースファイル名を上書きすることを選択した場合、最新の画像が1つだけ保存されません。ベースファイル名をSDカードまたはNASに追加上書きを選択すると、スナップショットを配置するための「スナップショット」という名前のファイルが作成されます。</p> <p>HTTPポスト：HTTP Postを介してスナップショットをアップロードします。指定されたHTTPURLへのスナップショットのアップロードをサポートします。</p>

スケジュール設定	<p>必要に応じてレコードスケジュールを編集します。タイムバーを直接描画することによる直感的なスケジュールリングが行うことができます。</p> 	
		<p>スケジュールエリアを別の日付にコピーします。</p>
		<p>すべてのスケジュールを選択します。</p>
	<p>設定を保存します。</p>	

7.3.4 エクスプローラ

SDカードやNASに保存するように設定すると、このページにファイルが表示されます。毎日録画する時間帯を設定し、動画ファイルを任意の場所に保存することができます。

注意：ファイルはSDカードが挿入されると表示されます。電源投入時にSDカードを抜き差ししないでください。

ビデオファイルを日付順に並べることができます。ファイルの種類と開始・終了時刻を設定して、ファイルを検索します。毎日、対応する日付の下にファイルが表示され、ここからファイルのコピーや削除などを行うことができます。SDカード内のファイルは、例えば ftp://username:password@192.168.5.190 (ユーザー名とパスワードはカメラのアカウントと同じで、IPはお使いの端末のIPです)。

IPCAM Network Camera

Storage Management Record Settings Snapshot Settings Explorer

Main Type: Record Sub Type: All Start Time: 2022/03/25 00:00:00 End Time: 2022/03/25 23:59:59 Search

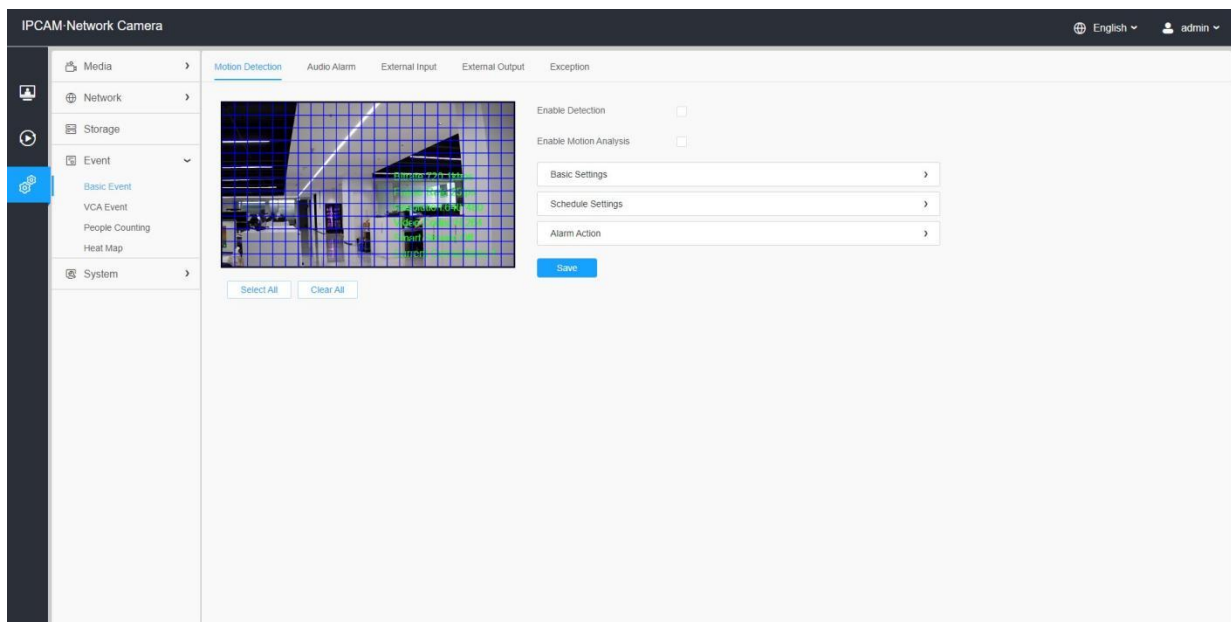
File Name	Start Time	End Time	Type	Size
120220325192231	2022-03-25 19:22:31	2022-03-25 19:27:35	Timing	250.64M
120220325192735	2022-03-25 19:27:35	2022-03-25 19:32:40	Timing	251.61M
120220325193240	2022-03-25 19:32:40	2022-03-25 19:37:44	Timing	250.92M
120220325193744	2022-03-25 19:37:44	2022-03-25 19:42:49	Timing	251.36M
120220325194249	2022-03-25 19:42:49	2022-03-25 19:47:54	Timing	251.44M
120220325194754	2022-03-25 19:47:54	2022-03-25 19:52:58	Timing	250.89M
120220325195258	2022-03-25 19:52:58	2022-03-25 19:58:02	Timing	250.69M
120220325195802	2022-03-25 19:58:02	2022-03-25 20:03:08	Timing	251.65M
120220325200308	2022-03-25 20:03:08	2022-03-25 20:07:37	Timing	221.72M

Total 9 30/page < 1 > Go to 1 Download

7.4 イベント

7.4.1 基本イベント

7.4.1.1 モーション検知



設定手順を以下に示します。


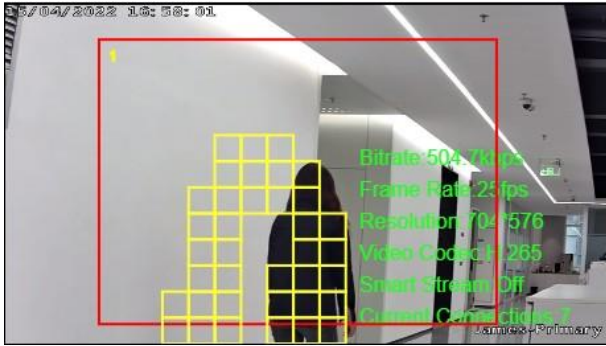

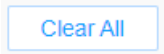
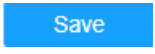
ステップ1：チェックボックスをオンにすると、モーション検知機能が有効になります。

ステップ2：モーション解析を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

ステップ3：検出モードを選択します。

ステップ4：モーションエリアを設定します。

表38. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
検出を有効にする	チェックボックスをオンにして、モーション検知機能を有効にします。
モーション解析の有効化	<p>モーション解析を有効にすると、動いているエリアが黄色く表示され、どこに動きがあったかを正確に把握することができます。</p> <p> 注意：ライブビューでHTTPを選択した場合のみ対応します。</p> 
	ボタンをクリックすると、そのエリアの動きが検出されます。
	ボタンをクリックすると、それまで描かれていたエリアが削除されます。
	設定を保存します。

[基本設定]

Enable Detection

Enable Motion Analysis

Basic Settings ▼

Mode Normal Mode Advanced Mode

Sensitivity 9

Onvif Motion ActiveCells Settings Normal ▼

Schedule Settings >

Alarm Action >

Save

表39. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
検出モード	オプションでNormal ModeとAdvanced Modeが選択可能です。Advanced Modeを選択した場合、ユーザーは最大4つの検出エリアと各検出エリアに対する感度を設定することができます。
感度	感度レベルは1~10です。
Onvif Motion ActiveCellsの設定	オプションには、NormalとCompatibleがあります。サードパーティ製ソフトウェアの動作エリアの設定が当社と異なる場合は、このオプションをCompatibleに設定してください。

[スケジュール設定]

ステップ5: モーション検知のスケジュールを設定します。

Enable Detection

Enable Motion Analysis

Basic Settings >

Schedule Settings ▾

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

Sun.

Mon.

Tue.

Wed.

Thu.

Fri.

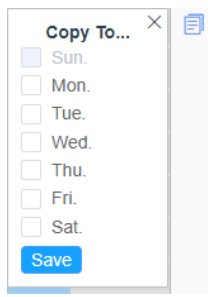
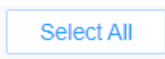

Sat.

Select All Clear All

Alarm Action >

Save

表40. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
	<p>スケジュールエリアを別の日付にコピーする。</p>
	<p>すべてのスケジュールを選択します。</p>
	<p>すべてのスケジュールを消去します。</p>

[アラームアクション]

ステップ6 : アラームアクションを設定します。

Enable Detection

Enable Motion Analysis

Basic Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action ▾

Record >

Snapshot >

External Output >





Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)

Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)

HTTP Notification >


Save

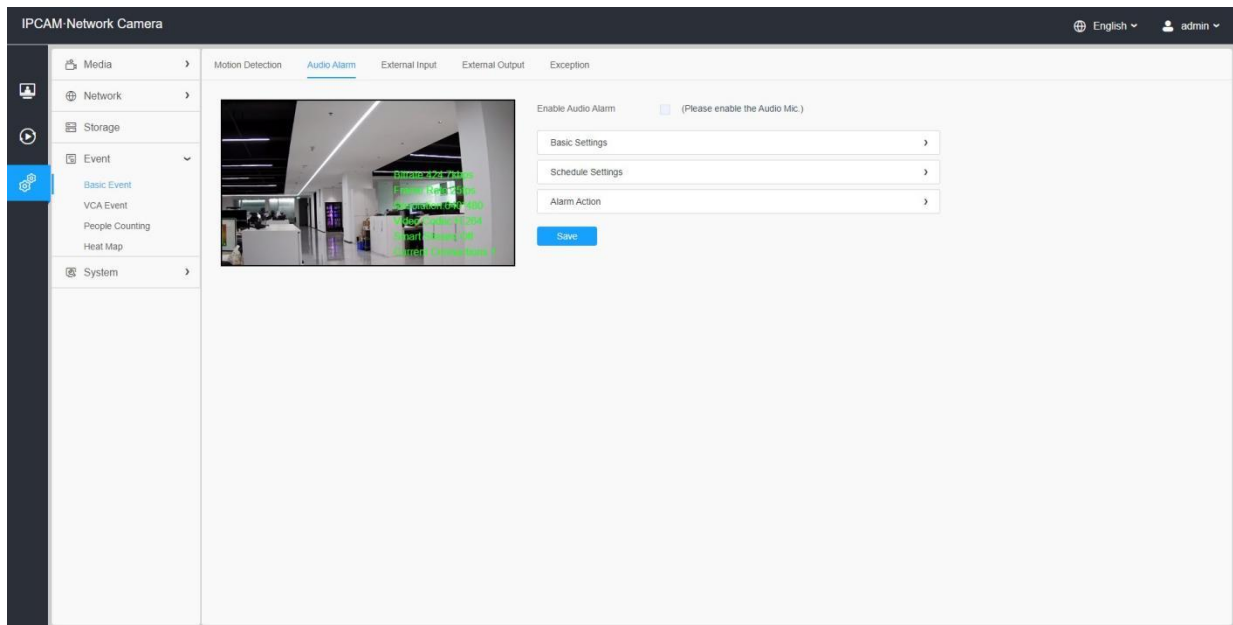
表41. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
録画	<p>継続時間: アラームの継続時間を選択しました。5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒が選択可能です。</p> <p>連動: アラーム録画ファイルをSDカードやNASに保存する、またはFTPで録画ファイルをアップロードすることができます。</p>
スナップショット	<p>数量: スナップショットの数、1~5が利用可能です。</p> <p>間隔: Snapshotに1以上の場合、編集することができます。</p> <p>連動: SDカードやNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。</p>
外部出力	<p>カメラに外部出力が装備されている場合、作動期間を設定した後にアクションを有効にすることができます。</p>
オーディオを再生する	<p>オート/10秒/30秒/1分/5分/10分が選択可能です。</p> <p> 注意: オーディオスピーカを有効にしてください。</p>
HTTP通知	<p>指定したHTTP URLにアラームニュースをポップアップする機能をサポート。</p> <p> 注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じイベントには最大で3つのHTTP通知を追加することができます。 • HTTP NotificationはBasic認証とDigest認証に対応しています。
ホワイトLED	<p>アラームが作動すると、ホワイトLEDが点灯し、検出された物体に警告を発します。</p> <p> 注意: PTZバレットのみ。</p>
PTZモーション	<p>モーションアラームが作動すると、PTZ Motionにより、カメラはレンズをモーショントリガーされた位置に移動し、ズームインすることができます。</p> <p> 注意: PTZバレットのみ。</p>
コールプリセット/ コールパトロール/ コールパターン (外部入力のみ)	<p>モーションアラームがトリガーされると、指定されたプリセット/パトロール/パターンを呼び出すことができます。</p> <p> 注意: PTZバレットのみ。</p>

7.4.1.2 オーディオアラーム

オーディオアラーム機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

 **注意:** オーディオアラーム機能を使用する前に、オーディオマイクを有効にしてください。

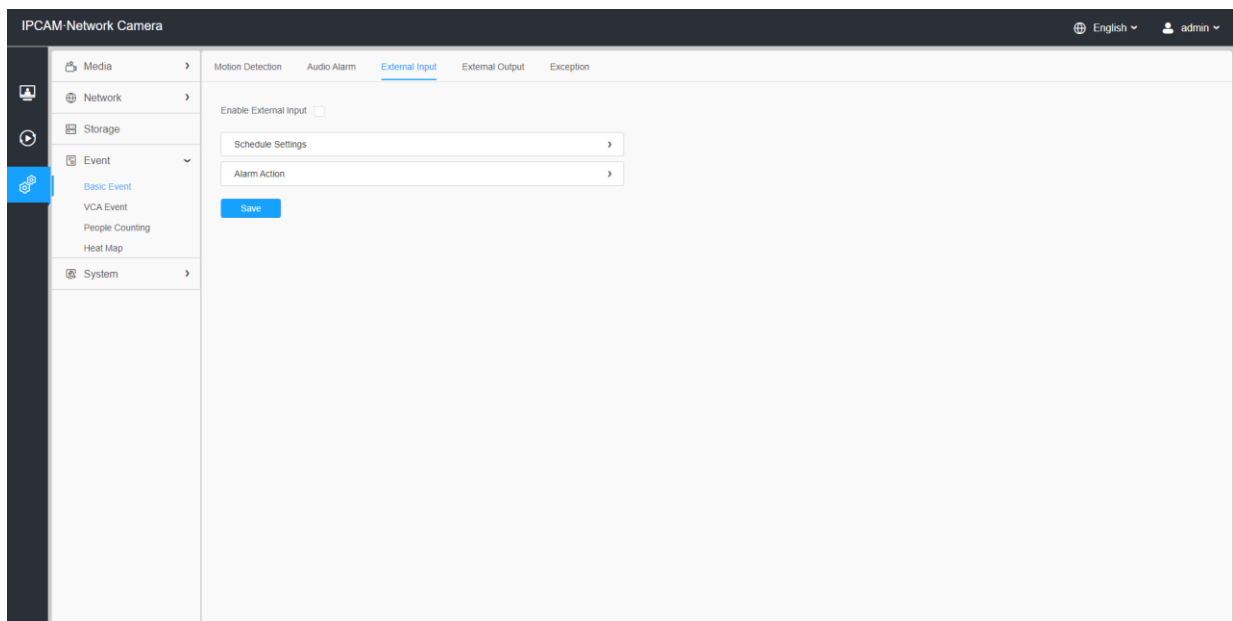


[基本設定]

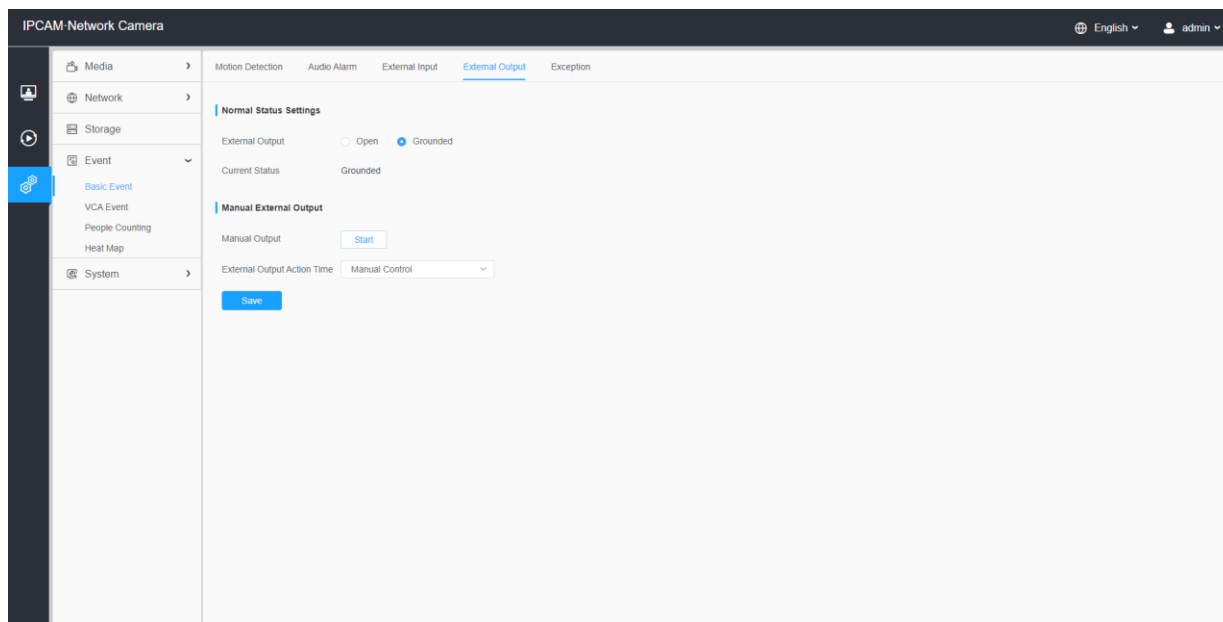
表42. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
アラーム閾値	音声アラームは、0~100のしきい値に達したときに発生します。
オーディオサンプル値	オーディオサンプルの現在値。

7.4.1.3 外部入力



7.4.1.4 外部出力



[通常状態の設定]

現在の状態が正常な状態と異なる場合、アラームが発生します。

[手動外部出力]

手動外部出力を設定することができます。

表43. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
手動出力	クリックすると、手動外部出力の開始/停止ができます。
外部出力アクション時間	マニュアルコントロール/カスタマイズ/10秒/1分/5分/10分も可能です。

7.4.1.5 例外

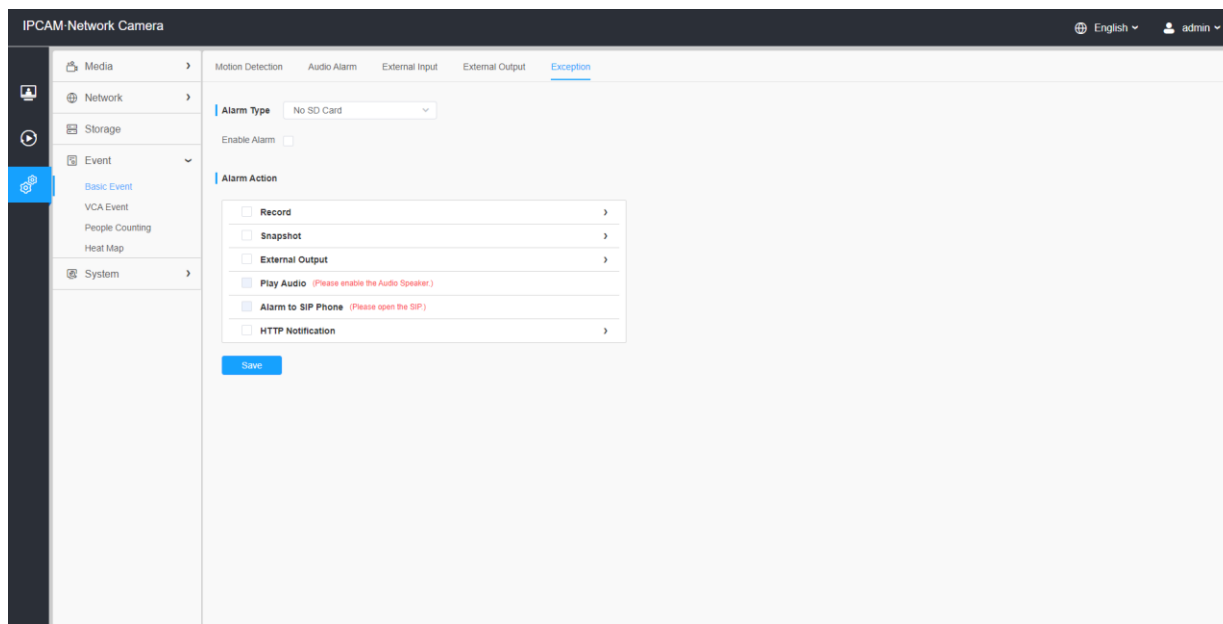


表44. ボタンの説明

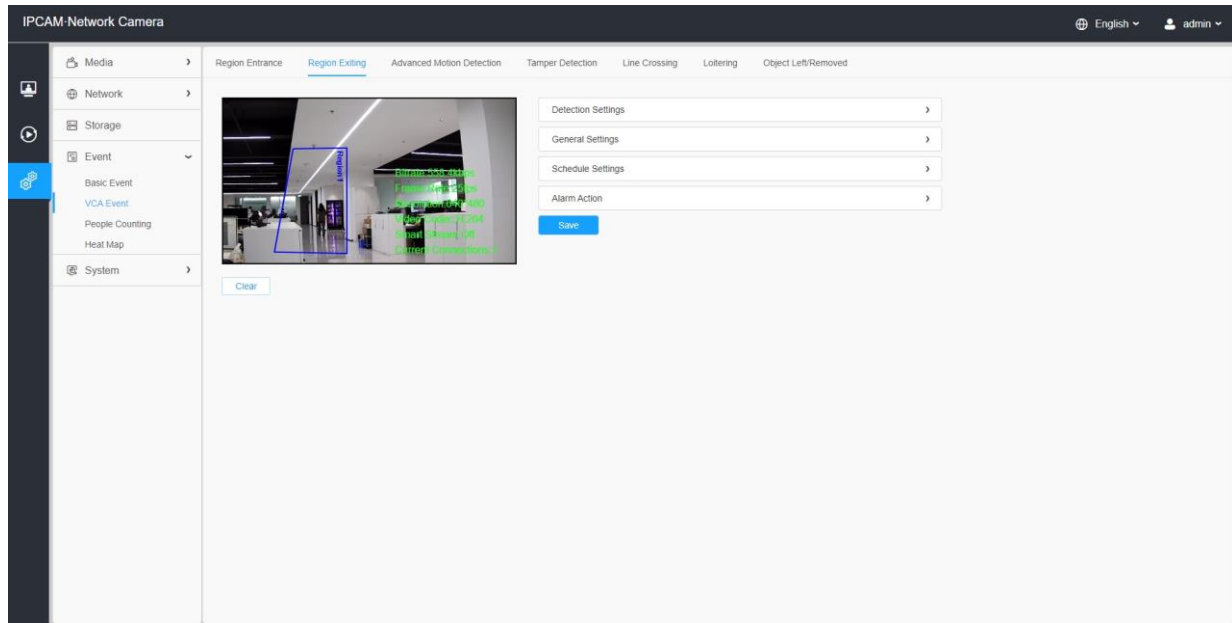
パラメータ	機能紹介
アラームタイプ	ネットワーク切断、IPアドレス競合、録画失敗、SDカード満杯、SDカード未初期化、SDカードエラー、SDカードなしが利用可能です。 選択したアラームの種類を有効にするチェックボックスをオンにします。
アラームアクション	項目の意味については、（105ページ）を参照ください。

7.4.2 VCAイベント

Smart Eventは、ネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ解析を提供するVCA（Video Content Analysis）技術を使用しています。AIチップを搭載した新世代のビデオ解析は、人間、車両、物体パターン認識モデルの膨大な属性を認識することが可能です。車両や人に関連するイベントは、セキュリティ監視において非常に重要であるため、フィルタリングをサポートし、より効率的に最適化します。

7.4.2.1 侵入検知

不審者や物体の侵入による潜在的な脅威から特定のエリアを保護する際に役立ちます。侵入検知を有効にすると、選択したエリアに物体が侵入した際にアラームが作動します。



設定手順を以下に示します。

[検出設定]

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます。

ステップ1：検出エリアを選択し、侵入検知を有効にします。

注意：通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出エリアを設定します。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアを設定します。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ2：検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントが作動します。

Detection Settings
▼

Region 1 2 3 4

Enable Detection

Detection Object Human Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings
›

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

[一般設定]

ステップ3：検出感度と対象物のサイズ制限を設定します。

Detection Settings >

General Settings ▾

Sensitivity 5

Object Size Limits

Edit

Min. Size 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

Max. Size 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings >

Alarm Action >

Save

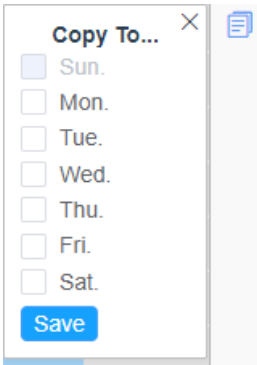

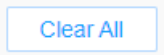
表45. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定する。

表46. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
	<p>スケジュールエリアを別の日付にコピーします。</p>
	<p>すべてのスケジュールを選択します。</p>
	<p>すべてのスケジュールを消去します。</p>

[アラームアクション]

ステップ5：アラームの動作を設定します。

Detection Settings >

General Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action >

Record >

Snapshot >

External Output >

Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)

Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)



HTTP Notification >




White LED >

PTZ Auto Tracking (Please Enable the Auto Tracking)

Save

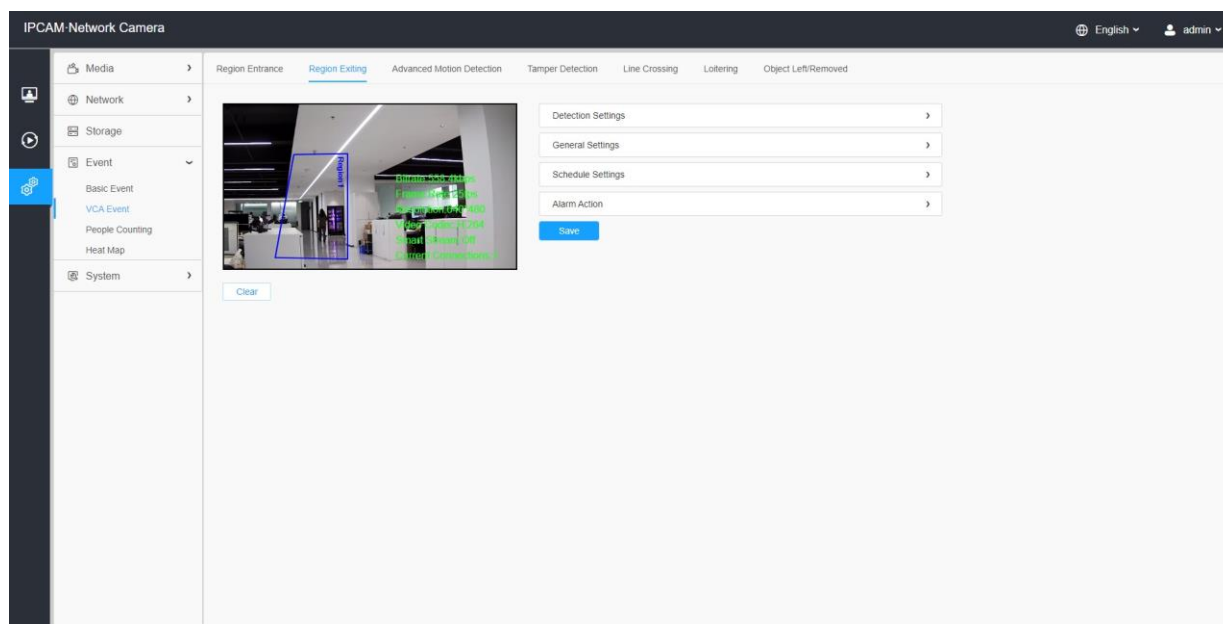
表47. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
録画	<p>継続時間: アラームの継続時間を選択しました。5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒が選択可能です。</p> <p>連動: アラーム録画ファイルをSDカードやNASに保存、またはFTPで録画ファイルをアップロードすることができます。</p>
スナップショット	<p>数量: スナップショットの数、1~5が利用可能です。</p> <p>間隔: Snapshotに1以上の場合、編集することができます。</p> <p>連動: SDカードやNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。</p>
外部出力	<p>カメラに外部出力が装備されている場合、作動期間を設定した後にアクションを有効にすることができます。</p>
オーディオを再生する	<p>オート/10秒/30秒/1分/5分/10分が選択可能です。</p> <p> 注意: オーディオスピーカを有効にしてください。</p>
HTTP通知	<p>指定したHTTP URLにアラームニュースをポップアップする機能をサポートです。</p> <p> 注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じイベントには最大で3つのHTTP通知を追加することができます。 • HTTP NotificationはBasic認証とDigest認証に対応しています。

ホワイトLED	<p>アラームが作動すると、ホワイトLEDが点灯し、検出された物体に警告を発します。</p> <p> 注意：PTZバレットのみ。</p>
PTZモーション	<p>モーションアラームが作動すると、PTZ Motionにより、カメラはレンズをモーションした位置に移動し、ズームインすることができます。</p> <p> 注意：PTZバレットのみ。</p>
コールプリセット/ コールパトロール/ コールパターン (外部入力のみ)	<p>モーションアラームが作動すると、指定されたプリセット/パトロール/パターンを呼び出すことができます。</p> <p> 注意：PTZバレットのみ。</p>

7.4.2.2 退出検知

監視エリアから人や物が出ないようにする検知です。人や物が外に出ると、アラームが鳴ります。




設定手順を以下に示します。

[検出設定]

 **注意**：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます。

ステップ1: 検出エリアを選択し、退出検知を有効にします。

 **注意**：通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出エリアを設定することをサポートします。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアの設定をサポートします。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ2：検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントが作動します。

Detection Settings

Region

Enable Detection

Detection Object Human Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action >

Save

[一般設定]

ステップ3：検出感度と対象物のサイズ制限を設定します。

Detection Settings >

General Settings

Sensitivity 5

Object Size Limits

Edit

Min. Size * Pixels (1*1~320*240)

Max. Size * Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings >

Alarm Action >


Save

表48. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]


ステップ4：検出スケジュールを設定します。

 **注意**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

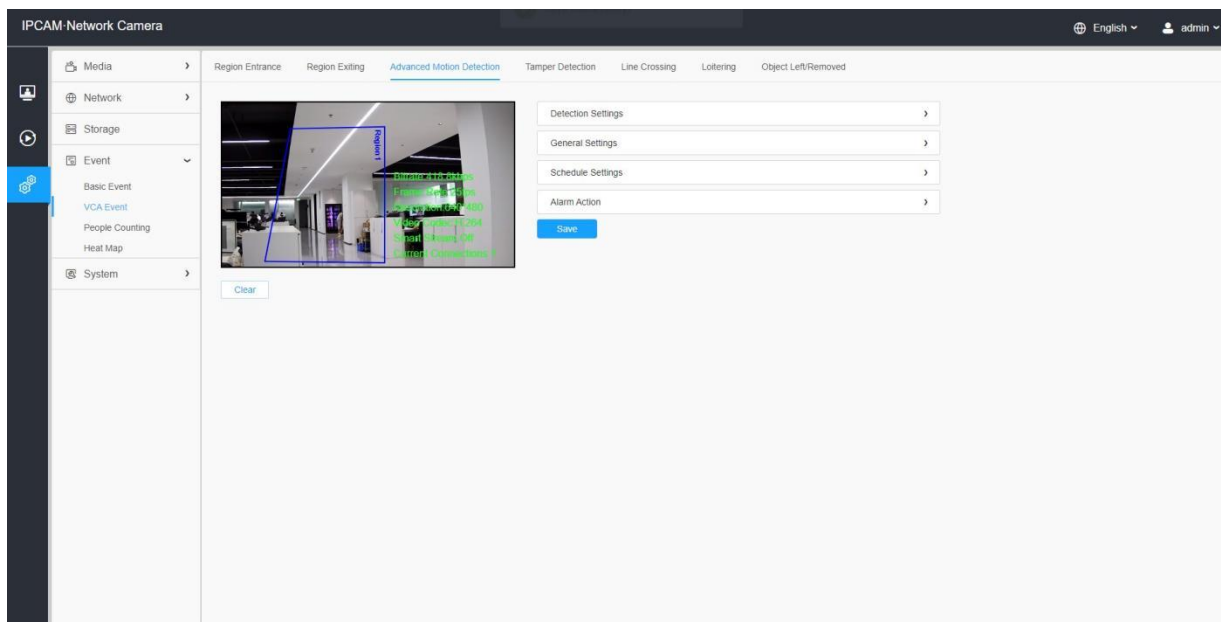
ステップ5：アラームのアクションを設定します。

Detection Settings	>
General Settings	>
Schedule Settings	>
Alarm Action	▼
<input type="checkbox"/> Record	>
<input type="checkbox"/> Snapshot	>
<input type="checkbox"/> External Output	>
<input type="checkbox"/> Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)	
<input type="checkbox"/> Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)	
<input type="checkbox"/> HTTP Notification	>
<input type="checkbox"/> White LED	>
<input checked="" type="checkbox"/> PTZ Auto Tracking (Please Enable the Auto Tracking)	
Save	

 **注意**：この部分は、通常のアラーム設定と同じです。


7.4.2.3 高度なモーション検知

従来のモーション検知とは異なり、高度なモーション検知では、照明の変化や自然な木の動きなどの「ノイズ」を除去できます。オブジェクトが選択したエリアを移動すると、アラームが作動します。



設定手順を以下に示します。

ステップ1: 検知エリアを選択し、高度なモーション検知を有効にします。

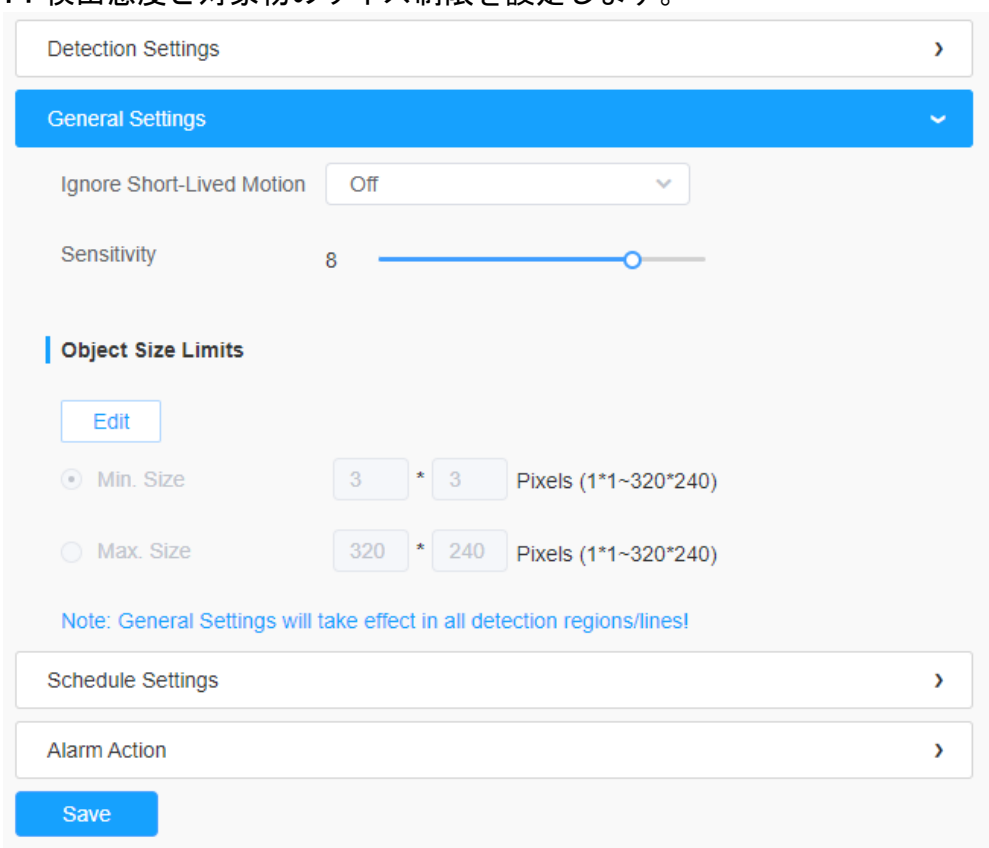
 **注意:** 通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出エリアを設定することをサポートします。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアの設定をサポートします。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ2: 検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発生し、関連イベントが作動します。

[一般設定]

ステップ3: 「短時間モーションを無視する」時間を設定します。この時間を設定すると、物体の移動時間が設定時間内であれば、アラームは作動しません。

ステップ4: 検出感度と対象物のサイズ制限を設定します。



Detection Settings

General Settings

Ignore Short-Lived Motion: Off

Sensitivity: 8

Object Size Limits

Edit

Min. Size: 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

Max. Size: 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings

Alarm Action

Save

表49. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
短時間モーションを無視する	物体の移動時間が設定時間内であれば、アラームは作動しません。オフ/1s/2s/3s/4s/5sが選択可能です。 注意: 短時間モーションを無視することは、設定時間内に瞬時に物体が動くことによる誤報を避けるためのものです。

感度	<p>レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。</p> <p>注意：感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームが作動しません。</p>
最小サイズ	<p>検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。</p>
最大サイズ	<p>画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。</p>

[スケジュール設定]

ステップ5：検出スケジュールを設定する。

 **注意：**この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

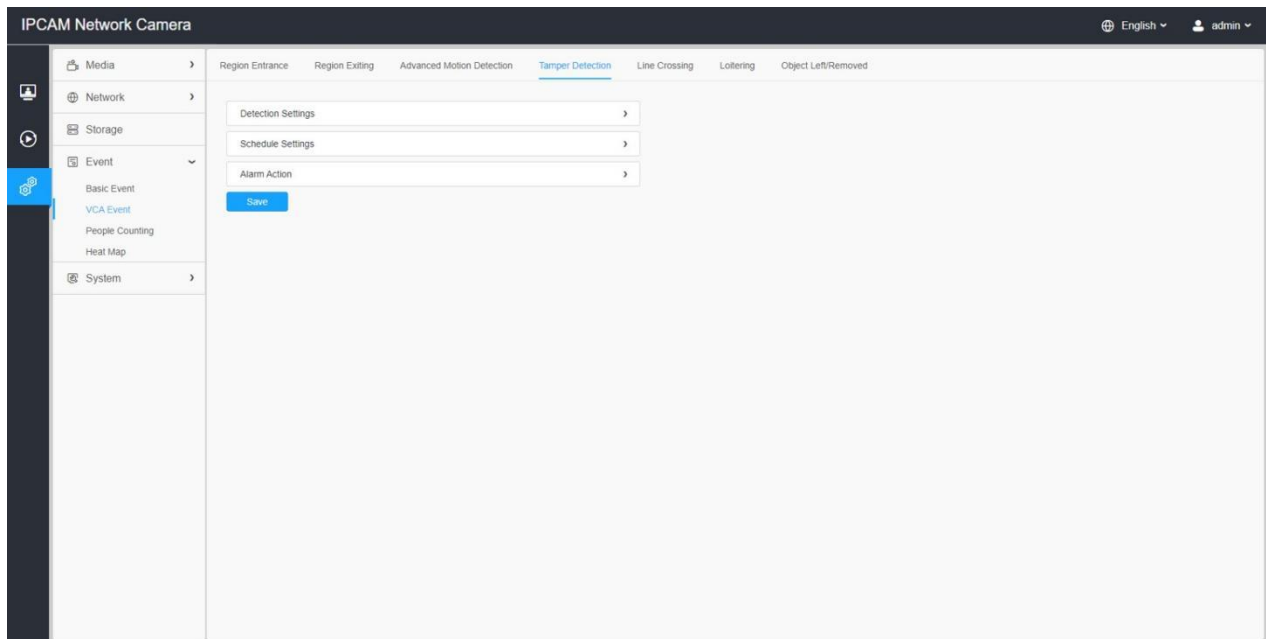
ステップ6：アラームアクションを設定します。

 **注意：**

- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。
- 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択すると、物体の動作時間が選択エリアで設定した「短時間モーションを無視する」より長い場合、外部出力動作アラーム時間はアラームが解除されるまで常に一定に保たれます。

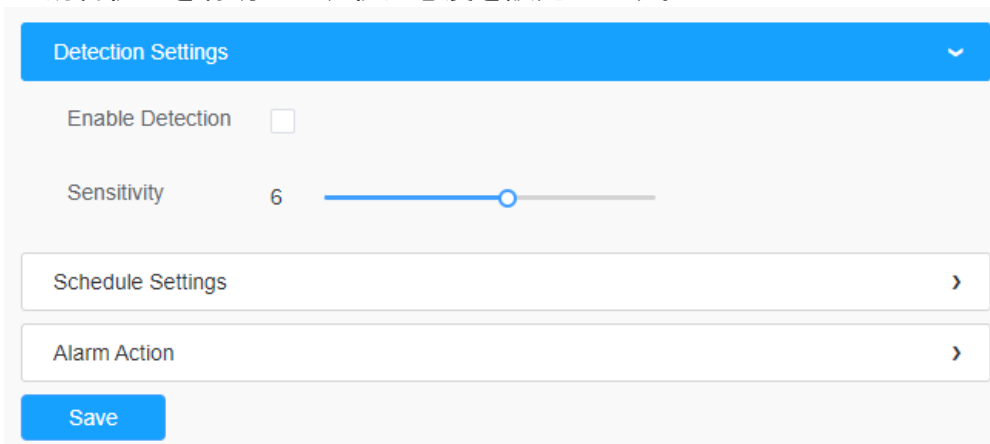
7.4.2.4 妨害検知

妨害検知は、カメラのピントが合っていない、障害物がある、動いているなど、妨害の可能性を検知するために使用されます。この機能は、上記のようなアクションが発生した場合、セキュリティスタッフに即座に警告を発します。



設定手順を以下に示します。

ステップ1：妨害検知を有効にし、検出感度を設定します。



[スケジュール設定]

ステップ2：検出スケジュールを設定します。

 **注意：**この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ3：アラームアクションを設定します。

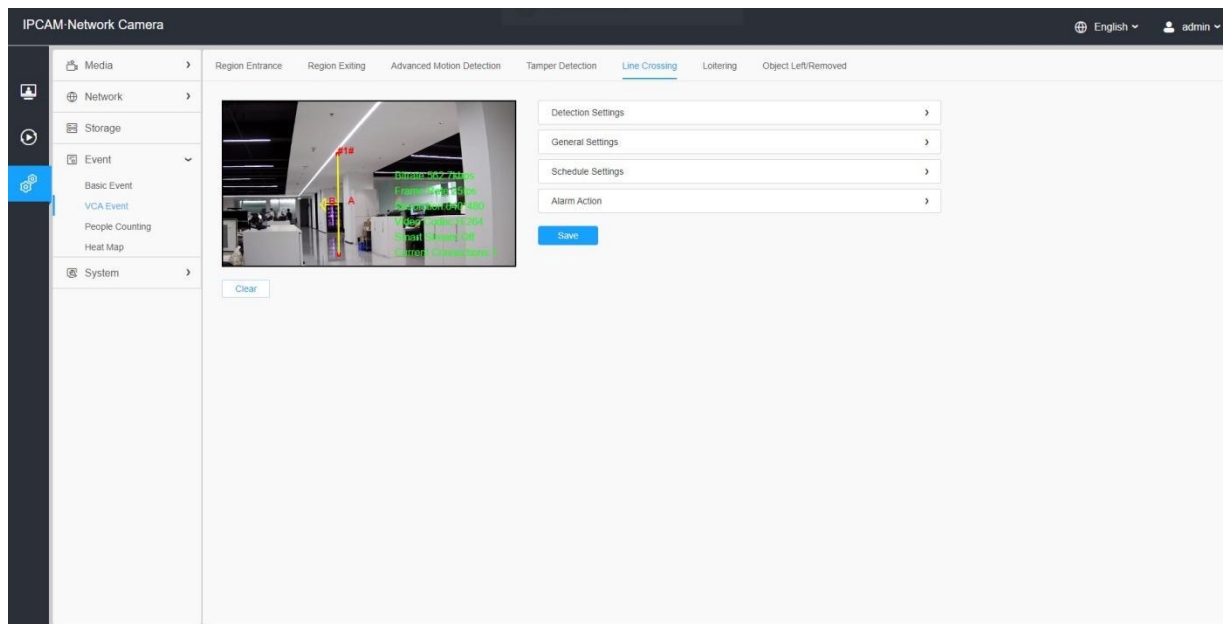
 **注意：**

- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。
- 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択すると、妨害がある場合、外部出力動作のアラームはアラームが解除されるまで常に一定になります。

- また、妨害検知機能では、デフォーカス検出をサポートしています。

7.4.2.5 ラインクロス検知

ラインクロス検出は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想線を横切る物体を検出すると作動します。



設定手順を以下に示します。

[検出設定]

ステップ1: 検出ラインを選択し、ラインクロス検出を有効にし、検出方向を定義します

📌 注意 :

- 通常モードを選択した場合、現在のエリアに対する検出エリアの設定をサポートします。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択すると、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアの設定をサポートします。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。
- 一度に最大4ラインまで設定可能。アラームのトリガーには3つの方向モードがあります。「A→B」は、A側からB側へのラインを横切る物体があると、アラームが作動します。「B→A」はその逆です。「A↔B」は、どちらかの側からオブジェクトがラインを横切ったときにアラーム作動します。

ステップ2: 検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントが作動します。

[一般設定]

ステップ3：検出感度と対象物のサイズ制限を設定します。

表50. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。

最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定する。

The screenshot displays the 'Schedule Settings' configuration screen. At the top, there are three tabs: 'Detection Settings', 'General Settings', and 'Schedule Settings' (which is selected and highlighted in blue). Below the tabs is a 24-hour timeline grid for each day of the week (Sun., Mon., Tue., Wed., Thu., Fri., Sat.). The timeline is currently set to 'All' days, indicated by the blue shading across all 24 hours for every day. Below the timeline are two buttons: 'Select All' and 'Clear All'. At the bottom of the screen, there is an 'Alarm Action' dropdown menu and a 'Save' button.

 **注意**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ5：アラームの動作を設定します。

Detection Settings >

General Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action ▾

- Record >
- Snapshot >
- External Output >
- Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)
- Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)
- HTTP Notification >
- White LED >
- PTZ Auto Tracking (Please Enable the Auto Tracking)

Save

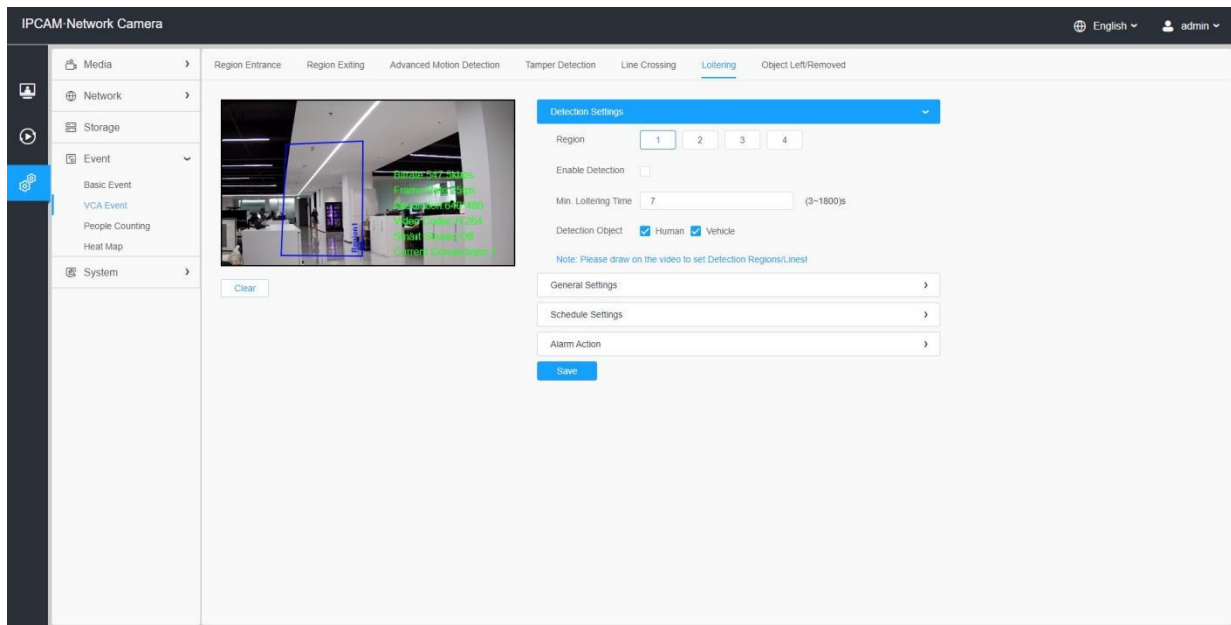


注意：

- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。
- PTZ自動追尾を有効にすると、カメラは自動的にオブジェクトを追尾し、定義された仮想線を横切るオブジェクトを検出するとアラームをトリガーします。
- 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択すると、オブジェクトが定義された仮想線を横切ったとき、外部出力動作アラームはアラームが解除されるまで常に一定となります。

7.4.2.6 滞留検知

決められたエリアに一定時間、物体がうろつくと、アラームが鳴ります。



設定手順を以下に示します。

[検出設定]

注意：一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます。

ステップ1：検出エリアを選択し、滞留検出を有効にします。

注意：通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出エリアを設定します。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアを設定します。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。

ステップ2：最小滞留時間と滞留時間を設定します。3秒から1800秒の間で最小滞留時間を設定すると、最小滞留時間を超えて選択したエリアを滞留している物体があれば、アラームが発生します。

ステップ3：検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントが作動されます。

Detection Settings
▼

Region 1 2 3 4

Enable Detection

Min. Loitering Time (3~1800)s

Detection Object Human Vehicle

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings
›

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

[一般設定]

ステップ4: オブジェクトのサイズ制限を設定します。

Detection Settings
›

General Settings
▼

Object Size Limits

Edit

Min. Size * Pixels (1*1~320*240)

Max. Size * Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings
›

Alarm Action
›

Save

表51. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。


[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定する。

 **注意：**この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ5：アラームのアクションを設定します。

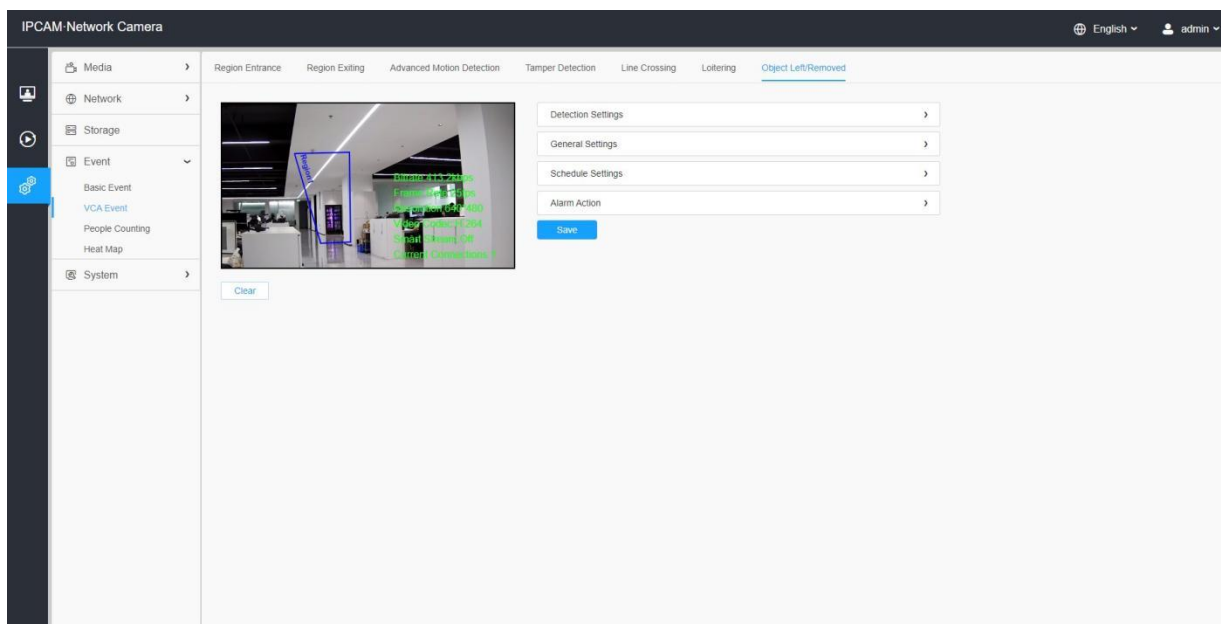
 **注意：**

- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。
- PTZ自動追尾および徘徊検出を有効にすると、カメラは自動的にオブジェクトを追尾し、オブジェクトが定義されたエリアで最小滞留時間以上経過した場合にアラームを開始します。

ステップ6：アラームを設定します。外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択すると、選択したエリアに物体が滞留した場合、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラーム時間が常に一定になります。

7.4.2.7 オブジェクトの置き去り/持ち去り検知

オブジェクトが事前に定義された検索エリアに残された場合に検出され、アラームが発生します。オブジェクト持ち去り検知は、オブジェクトが事前に定義された検索エリアから削除された場合に検出され、アラームが表示されます。




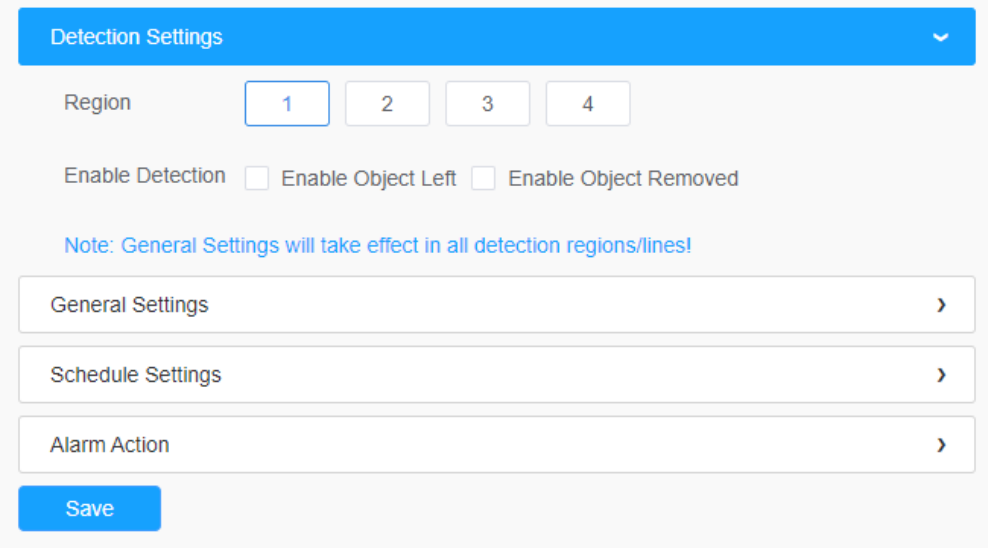
設定手順を以下に示します。

[検出設定]

 **注意：**一般設定は、すべての検出エリア/ラインに適用されます

ステップ1：検出エリアを選択し、オブジェクトの置き去り/持ち去り検知を有効にします（または、両方の機能を同時に有効にすることができます）。

 **注意：**通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出エリアを設定します。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択した場合、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）の検出エリアを設定します。そして、オブジェクトのサイズ制限を設定します。



Detection Settings

Region 1 2 3 4

Enable Detection Enable Object Left Enable Object Removed

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

General Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action >

Save

[一般設定]

ステップ2：最小時間、検出感度、オブジェクトサイズの制限を設定します。

Detection Settings >

General Settings >

Min. Time (5~1800)s

Sensitivity 5

Object Size Limits

Min. Size * Pixels (1*1~320*240)

Max. Size * Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings >

Alarm Action >

表52. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
最小時間	最小時間を5秒から1800秒の間で設定した後、最小時間を超えて選択したエリアに物体を置いたり、取り除いたりすると、アラームが作動します。
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。 注意: 感度は、さまざまな要件に応じて、さまざまな動きを検出するように設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームは開始しません。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ5: 検出スケジュールを設定する。

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ6：アラームアクションを設定します。



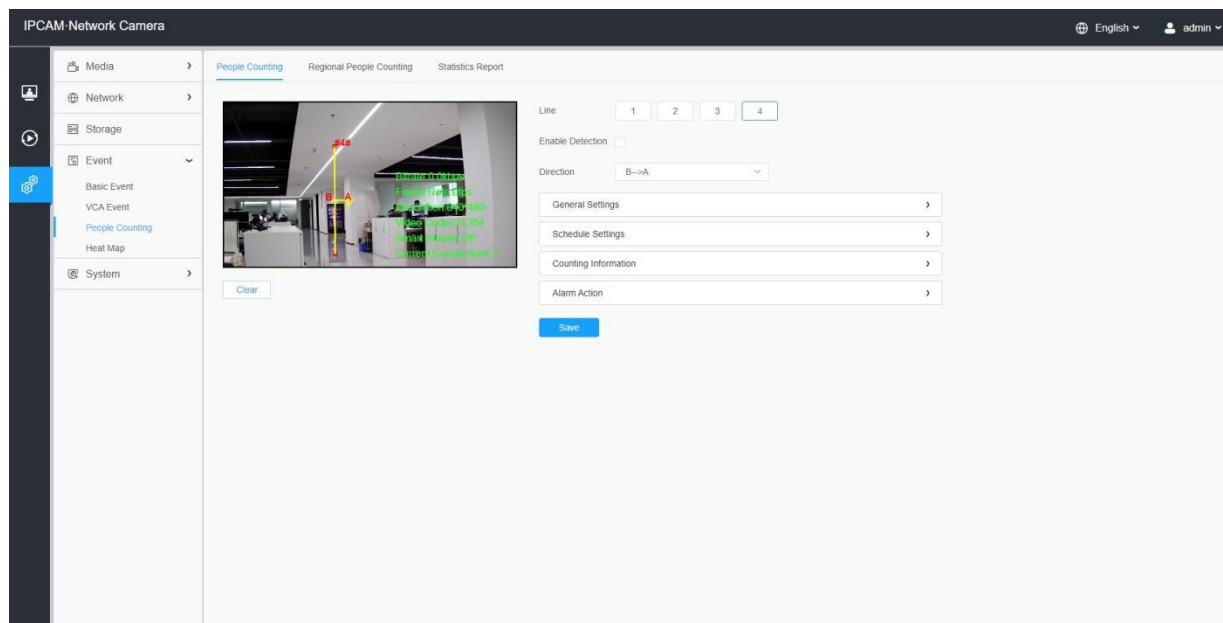
注意：

- この部分は、通常のアラーム設定と同じです。(page 84)を参照してください。
- PTZ自動追尾を有効にすると、カメラは自動的にオブジェクトを追跡し、定義されたエリアでオブジェクトが残された、または取り除かれた場合にアラームを開始します。
- 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択すると、選択したエリアからオブジェクトが離脱した場合、外部出力動作アラームはアラームが解除されるまで常に一定となります。

7.4.3 人数カウント

7.4.3.1 人数カウント

設定した時間内に何人ぐらいが出入りしたかをカウントすることができます。



設定方法は以下の通りです。

ステップ1：人数カウントを有効にします。

ステップ2：検出ラインと方向を設定します。



注意：

- 矢印の方向に沿って交差すると「In」、反対方向は「Out」として録画されます。
- 最大4本の検出ラインをサポート。

[一般設定]

ステップ3: 感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

注意: 通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出ラインを設定することをサポートします。アドバンスモード (PTZシリーズのみ) を選択すると、異なるPTZプリセット (今のところプリセット1~4のみサポート) の検出ラインを設定することをサポートします。

Line: 1, 2, 3, 4

Enable Detection:

Direction: B->A

General Settings

Sensitivity: 5

Object Size Limits

Edit

Min. Size: 3 * 3 Pixels (1*1~320*240)

Max. Size: 320 * 240 Pixels (1*1~320*240)

Note: General Settings will take effect in all detection regions/lines!

Schedule Settings

Counting Information

Alarm Action

Save

表53. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

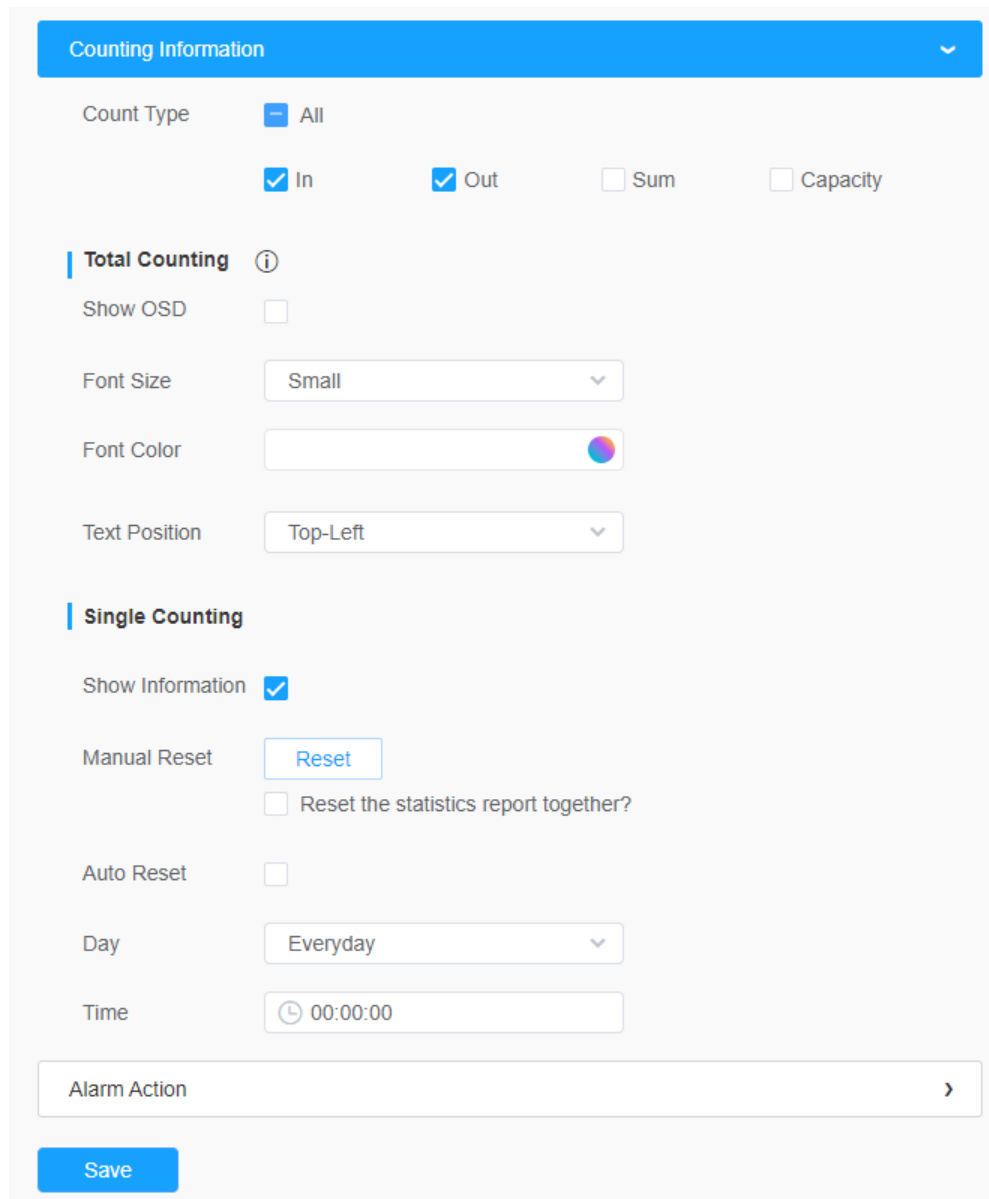
[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定します。

 **注意**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[カウント情報]

ステップ5：カウント情報を設定します。



Counting Information

Count Type All In Out Sum Capacity

Total Counting ⓘ

Show OSD

Font Size

Font Color

Text Position

Single Counting

Show Information

Manual Reset

Reset the statistics report together?

Auto Reset



Day

Time

Alarm Action

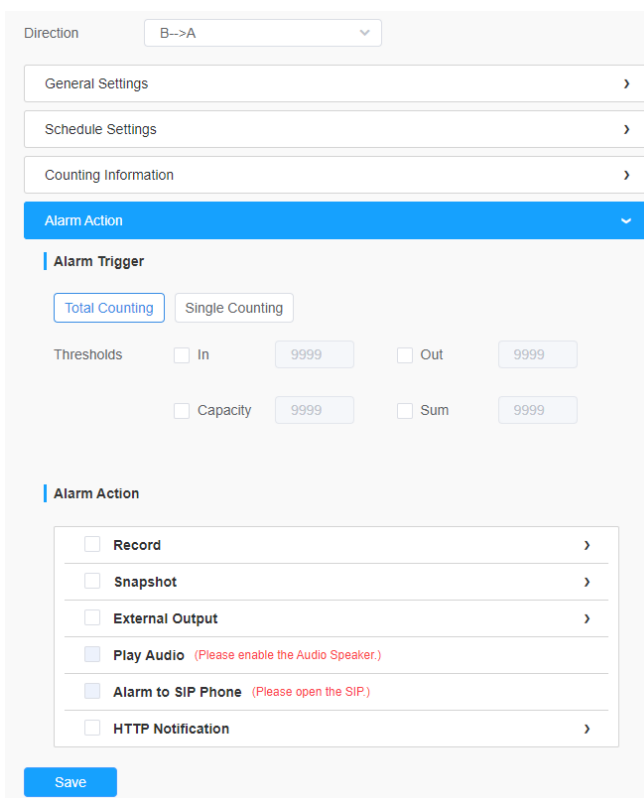
表54. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
カウントの種類	ユーザーはLive Videoに表示したい情報を選択することができます。

<p>トータルカウント</p>	<p>カウントOSDを設定します。</p> <p> 注意：トータルカウントOSDの設定は全ての検出ラインでリンクしています。</p> <p>OSDを表示：ボタンをクリックしてOSDの表示を有効/無効にします。</p> <p>フォントサイズ：OSDディスプレイのフォントサイズ</p> <p>フォントカラー：OSDディスプレイのフォントカラー</p> <p>テキスト位置：OSD表示のテキスト位置</p>
<p>シングルカウント</p>	<p>シングルカウントを設定します。</p> <p> 注意：トータルカウントOSDの設定は全ての検出ラインでリンクしています。</p> <p>情報を表示：クリックすると、情報が表示されます。</p> <p>マニュアルリセット：1行ずつのカウントをリセットします。統計レポートも一緒にリセットするか選択できます。</p> <p>オートリセット：シングルカウント情報を自動的にクリアするために使用されます。</p> <p>日：オートリセットの日</p> <p>時間：オートリセットの時間</p>

[アラームアクション]

ステップ6：アラームトリガーとアラームアクションを設定します。



Direction: B->A

General Settings >

Schedule Settings >

Counting Information >

Alarm Action ▾

Alarm Trigger

Total Counting | Single Counting

Thresholds

In 9999 Out 9999

Capacity 9999 Sum 9999

Alarm Action

Record >

Snapshot >

External Output >

Play Audio (Please enable the Audio Speaker.)

Alarm to SIP Phone (Please open the SIP.)

HTTP Notification >

Save

表55. ボタンの説明

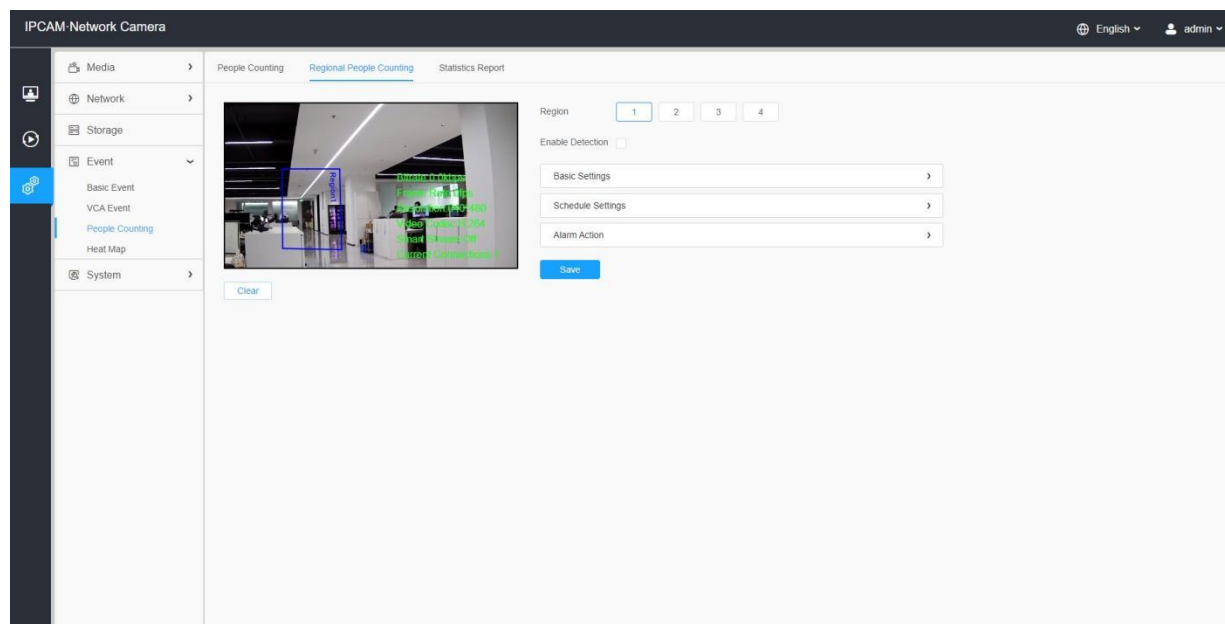
パラメータ	機能紹介
<p>アラームトリガー</p>	<p>1~9999の範囲で指定した閾値に達するとアラームが発生します。トータルカウントとシングルカウントがあります。アラームのしきい値は、In/Out/Capacity/Sumのいずれかに設定可能です。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> トータルカウントの場合、閾値は4つの検出ラインの総数の合計となります。 シングルカウントの場合、選択された検出ラインに対する閾値です。
<p>アラームアクション</p>	<p>この部分は、通常のアラーム設定と同じです。(page 84)を参照してください。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> アラームアクションは、4つの検出ラインに対して同時に有効です。 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択した場合、スレッシュホールドが設定した値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラームが常に一定になります。

7.4.3.2 リージョナル人数カウント

リージョナル人数カウントを有効にすると、検知エリアのリアルタイム人数と各人の滞在時間を確認することができます。


注意：

- リージョナル人数カウントのため、最大4つの検出エリアをサポートします。
- ユーザーは、ライブビューインターフェイスで、検知エリア内の人数と滞在時間をリアルタイムに把握することができます。




設定方法は以下の通りです。

ステップ1: 検出リージョナルを選択し、リージョナル人数検出を有効にする。

 **注意**：最大4つの検出エリアをサポートします。

[基本設定]

ステップ2：感度とオブジェクトサイズの制限を設定します。

 **注意**：通常モードを選択した場合、現在のエリアの検出ラインを設定することをサポートします。アドバンスモード（PTZシリーズのみ）を選択すると、異なるPTZプリセット（今のところプリセット1~4のみサポート）用の検出ラインの設定をサポートします。

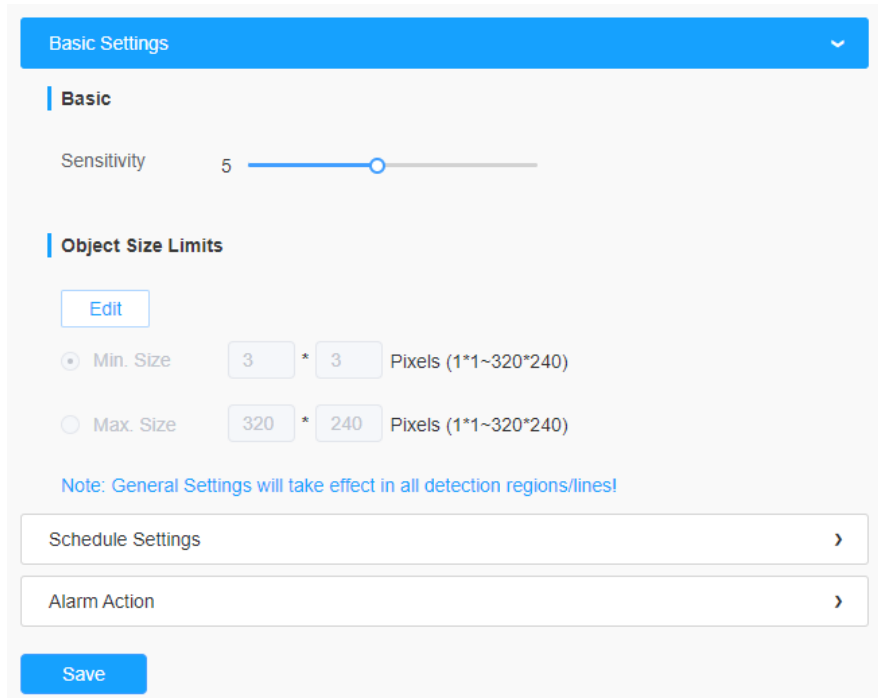


表56. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
最小サイズ	検出されるオブジェクトの最小サイズを設定するために、画面を描画するか、ピクセル番号を入力します。オブジェクトがこのサイズより小さい場合、検出されません。デフォルトの最小サイズは3*3です。
最大サイズ	画面描画または入力画素数で、検出される物体の最大サイズを設定します。このサイズより大きいオブジェクトは検出されません。デフォルトの最大サイズは320*240です。

[スケジュール設定]

ステップ4：検出スケジュールを設定します。

 **注意**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ6：アラームトリガーとアラームアクションを設定します。

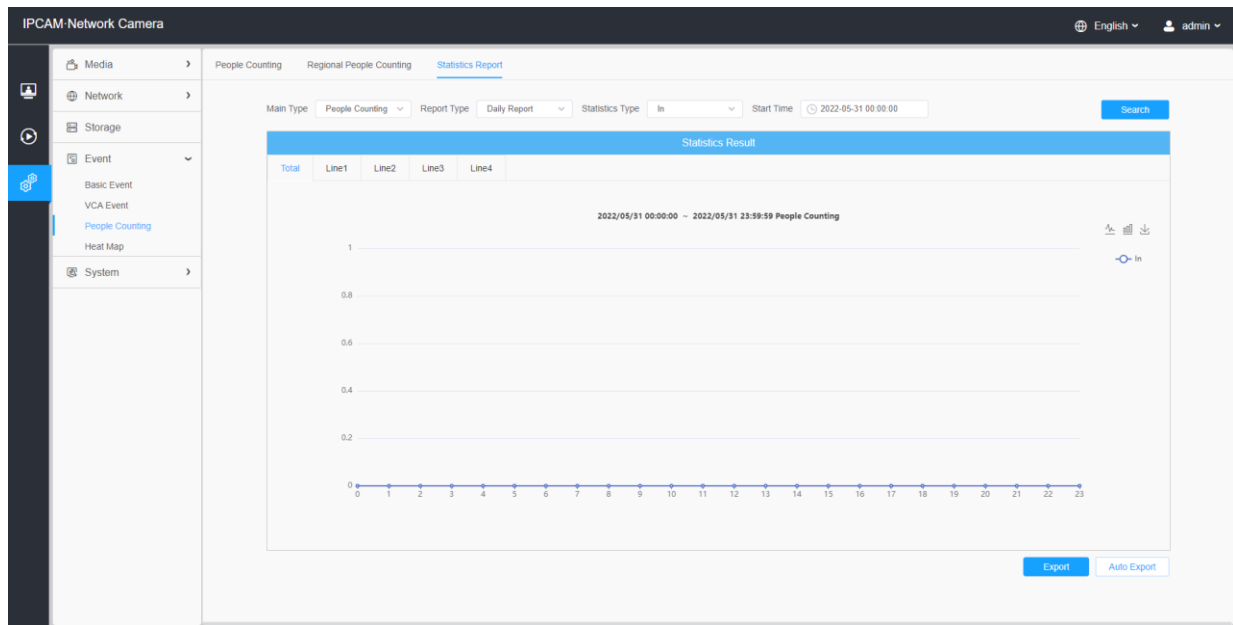
The screenshot shows the 'Alarm Action' configuration page. Under 'Alarm Trigger', there are three checked items: 'Max.Stay' with a value of 60, 'Min.Stay' with a value of 1, and 'Max.Length of Stay' with a value of 30. Under 'Alarm Action', there are six options: 'Record', 'Snapshot', 'External Output', 'Play Audio' (disabled with a note 'Please enable the Audio Speaker.'), 'Alarm to SIP Phone' (disabled with a note 'Please open the SIP.'), and 'HTTP Notification'. A 'Save' button is located at the bottom left.

表57. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
アラームトリガー	<p>最大滞留、最小滞留時間が設定のしきい値に達するとアラームが発生します。</p> <p> 注意： 値は1～60の範囲でなければならない。</p>
アラームアクション	<p>この部分は、通常のアラーム設定と同じです。(page 84)を参照してください。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> アラームアクションは、4つの検出エリアで同時に有効です。 外部出力を有効にし、外部出力動作時間一定を選択した場合、スレッシュホールドが設定した値に達すると、アラームが解除されるまで外部出力動作のアラームが常に一定になります。

7.4.3.3 統計データレポート

有効期間中の結果は、「統計データレポート」インターフェースに表示されます。



ステップ1: メインタイプを選択します。

ステップ2: 日報、週報、月報、年報など、レポートの種類を選択します。

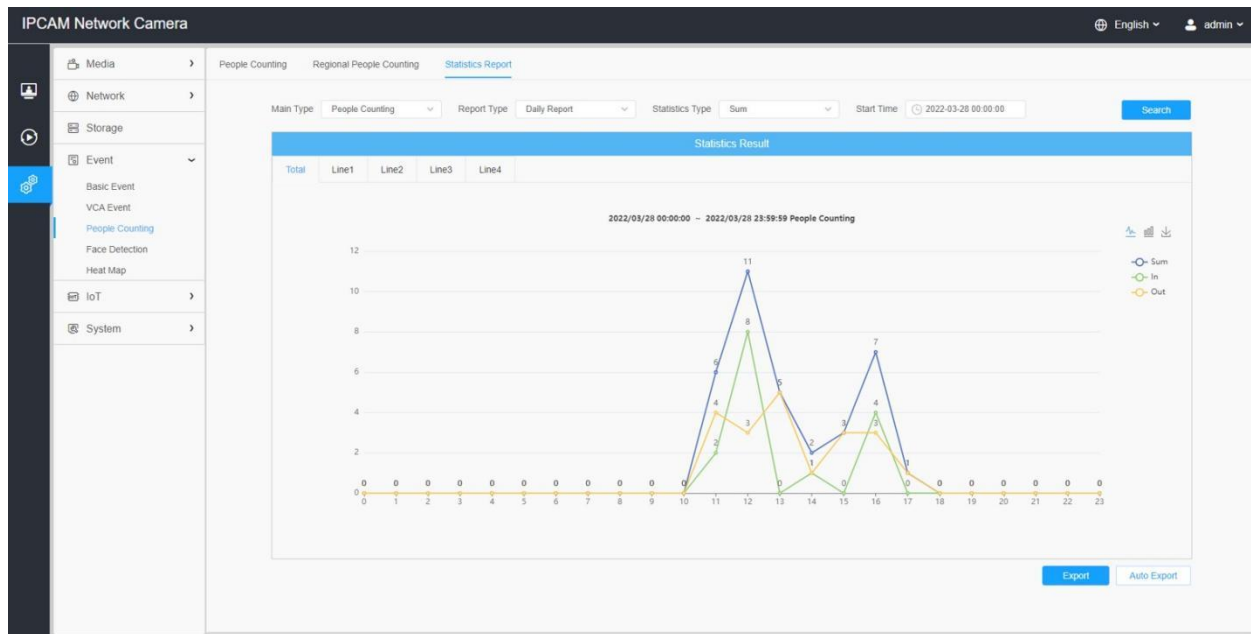
ステップ3: 人数カウントの場合、「In」「Out」「Sum」などの「統計タイプ」を選択します。エリア別合計では、「滞在時間」を「全て」「それ以上」「それ以下」から選択し、「それ以上」「それ以下」の時間を設定します。

注意: リージョナル人数カウントの場合、チェックボックスにチェックを入れると、必要に応じてリージョナルのレポートを検索することができます。

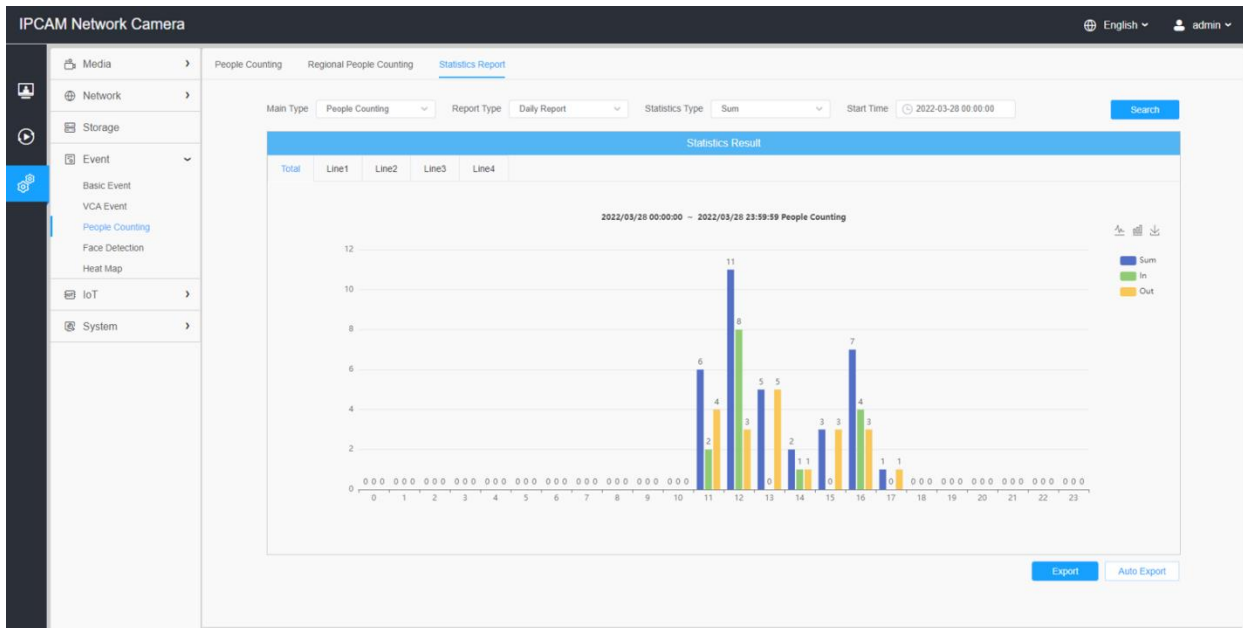
ステップ4: 開始時間を選択し、「検索」ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（選択されたレポートタイプに基づく）のデータを数え、対応するレポートを生成します。

ステップ5: さらに、「折れ線グラフ」または「棒グラフ」ボタンをクリックして、統計レポートの表示モードを以下のように切り替えることができます。

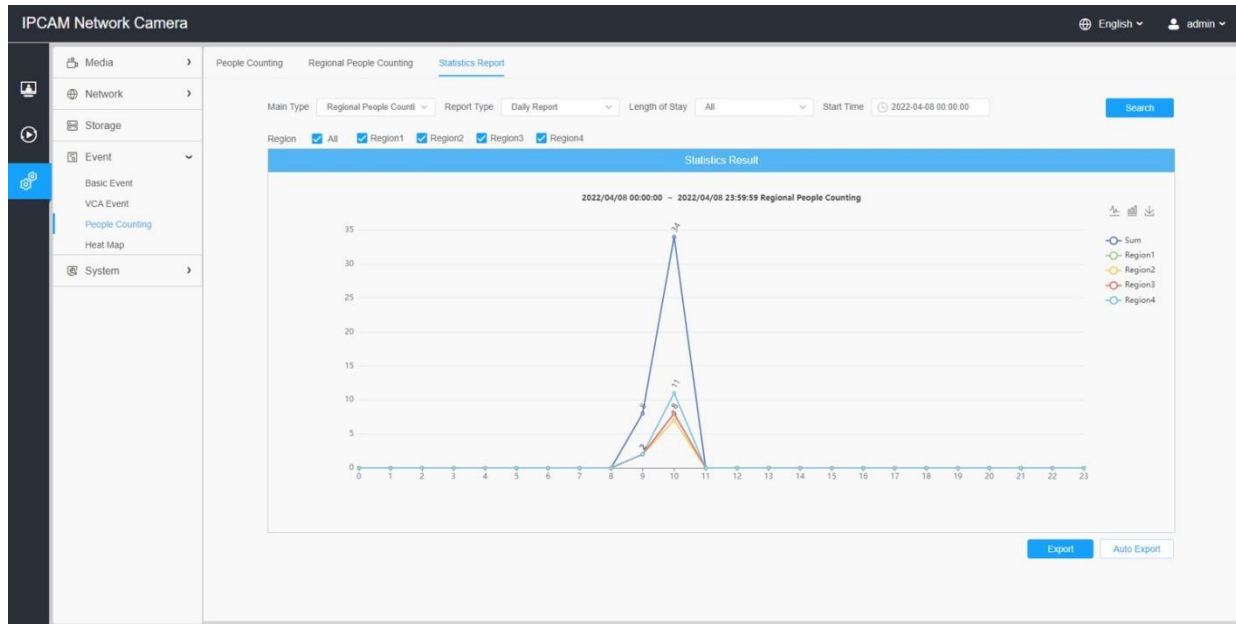
人数カウント統計レポート（折れ線グラフ）



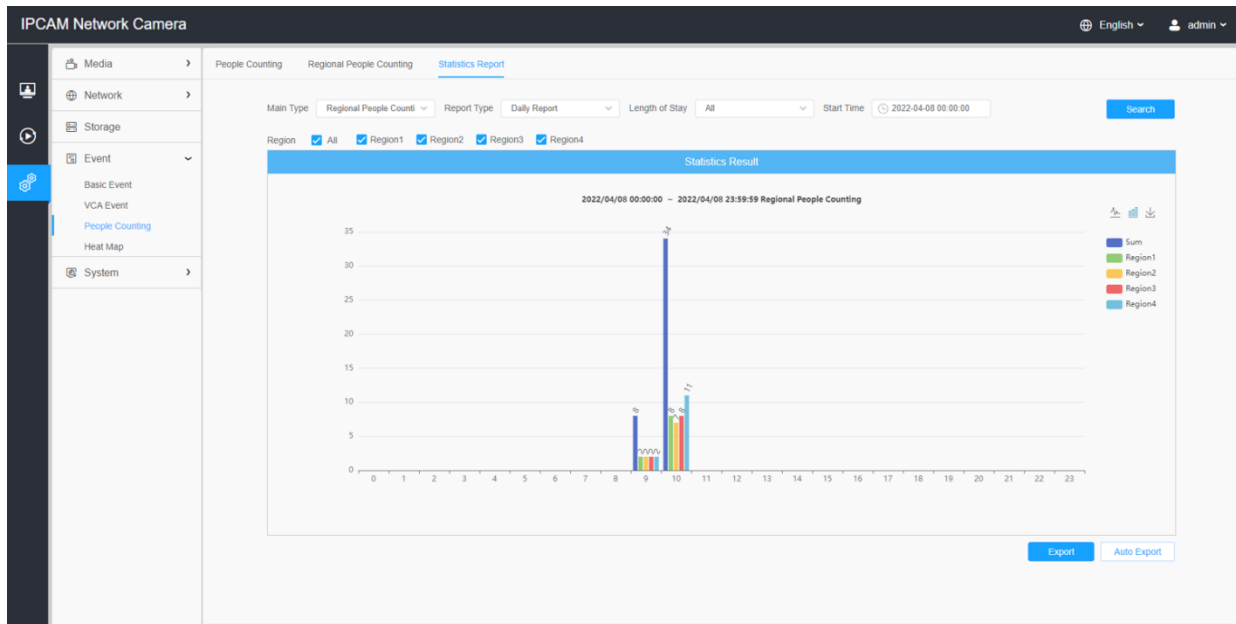
人数カウント統計レポート（棒グラフ）



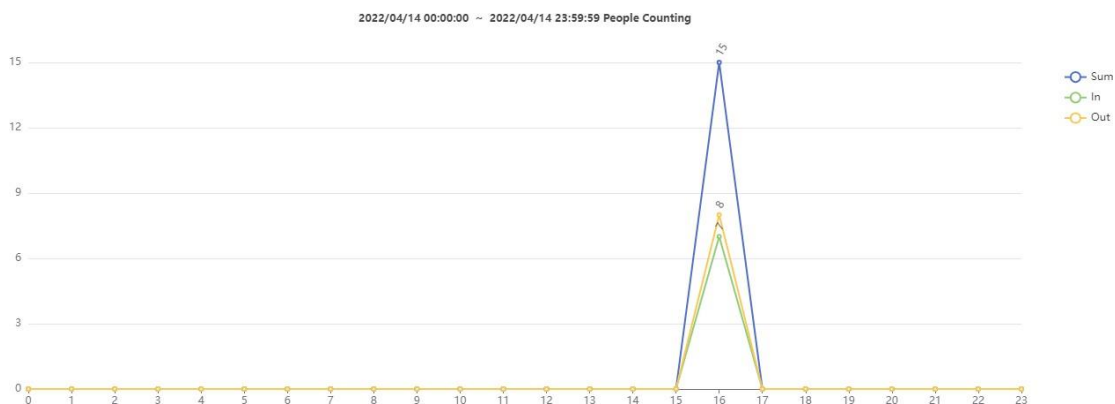
リージョナル人数統計レポート（折れ線グラフ）



リージョナル人数統計レポート（棒グラフ）



ステップ6: 「ダウンロード」ボタンをクリックし、統計レポートのスクリーンショットをダウンロードします。



ステップ7: 「エクスポート」ボタンをクリックすると、次のような「エクスポート」ウィンドウがポップアップ表示されます。統計レポートをカウントしている人は、チェックボックスをチェックして、必要に応じて異なる行のレポートをエクスポートすることができます。

人数カウント-エクスポート

Export

File Format CSV

Line All Total Line1 Line2 Line3 Line4

Export Cancel

リージョナル人数カウント-エクスポート

Export

File Format CSV

Export Cancel

ステップ8: 「自動エクスポート」ボタンをクリックすると、次のような統計レポート設定がポップアップ表示されます。

人数カウント-オートエクスポート

Auto Export

People Counting Regional People Counting

Enable

Line All
 Total Line1 Line2
 Line3 Line4

Day

Time

Export Time Range

Export to FTP Email Storage

- 人数カウントの自動エクスポートを有効にする場合はチェックボックスをオンにし、必要に応じて行を選択します。
- 曜日を設定します。ユーザーは、毎日を選択して毎日のレポートをエクスポートし、他を選択して特定の曜日にレポートをエクスポートすることができます。

Day

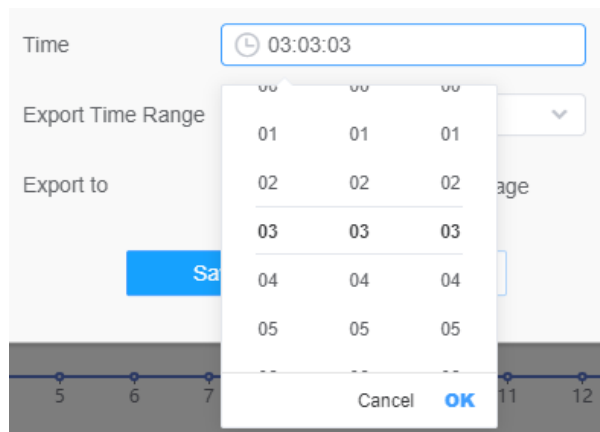
Length of Stay

Time

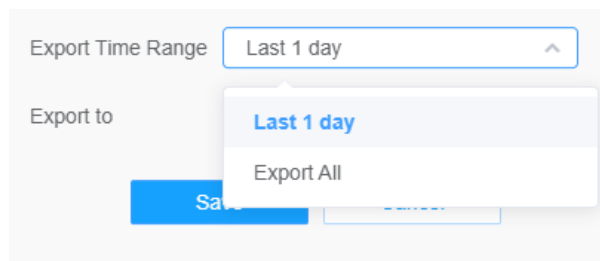
Export Time Range

Export to

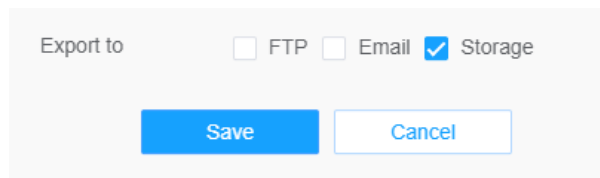
- 時間を設定します。統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセレクションがポップアップ表示されます。




- エクスポート時間範囲を設定します。



- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式でFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。その後、「保存」をクリックします。



 **注意**：現在の統計レポートを生成した場合、csv形式で保存されます。

リージョナル人数カウント-オートエクスポート

The screenshot shows the 'Auto Export' dialog box with the following settings:

- People Counting: **Regional People Counting**
- Enable:
- Day: **Everyday**
- Length of Stay: **All**
- Time: **00:00:00**
- Export Time Range: **Last 1 day**
- Export to: FTP Email Storage

Buttons: **Save** (blue), **Cancel** (white)

- リージョナル人数カウントの自動エクスポートを有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。
- 曜日を設定します。ユーザーは、毎日を選択して毎日のレポートをエクスポートし、他を選択して特定の曜日にレポートをエクスポートすることができます。

The 'Day' dropdown menu is open, showing the following options:

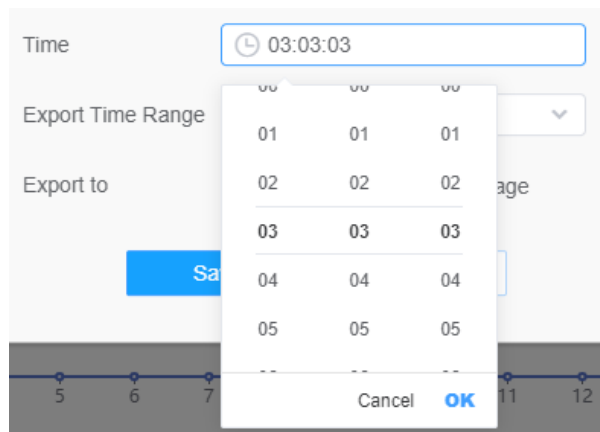
- Monday
- Everyday
- Sunday
- Monday** (highlighted)
- Tuesday
- Wednesday
- Thursday
- Friday

- 滞在期間を設定します。

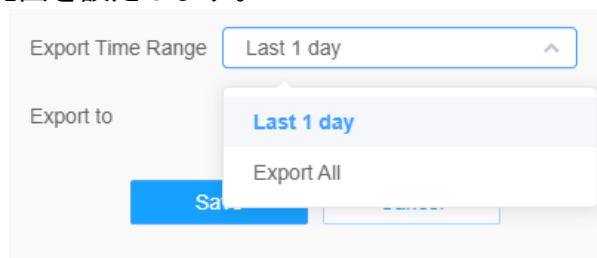
The 'Length of Stay' dropdown menu is open, showing the following options:

- All
- All** (highlighted)
- More Than
- Less Than

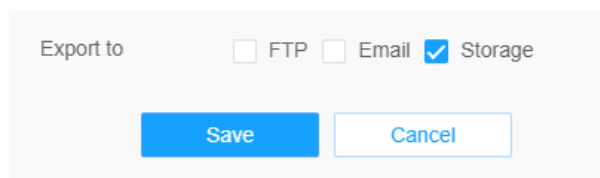
- 時間を設定します。統計レポートを自動的にエクスポートする時間帯を選択できます。カレンダーアイコンをクリックすると、以下のクイックセクションがポップアップ表示されます。




- エクスポート時間範囲を設定します。



- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した曜日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートの形式でFTP/Eメール/ストレージに自動的にエクスポートされます。その後「保存」をクリックします。

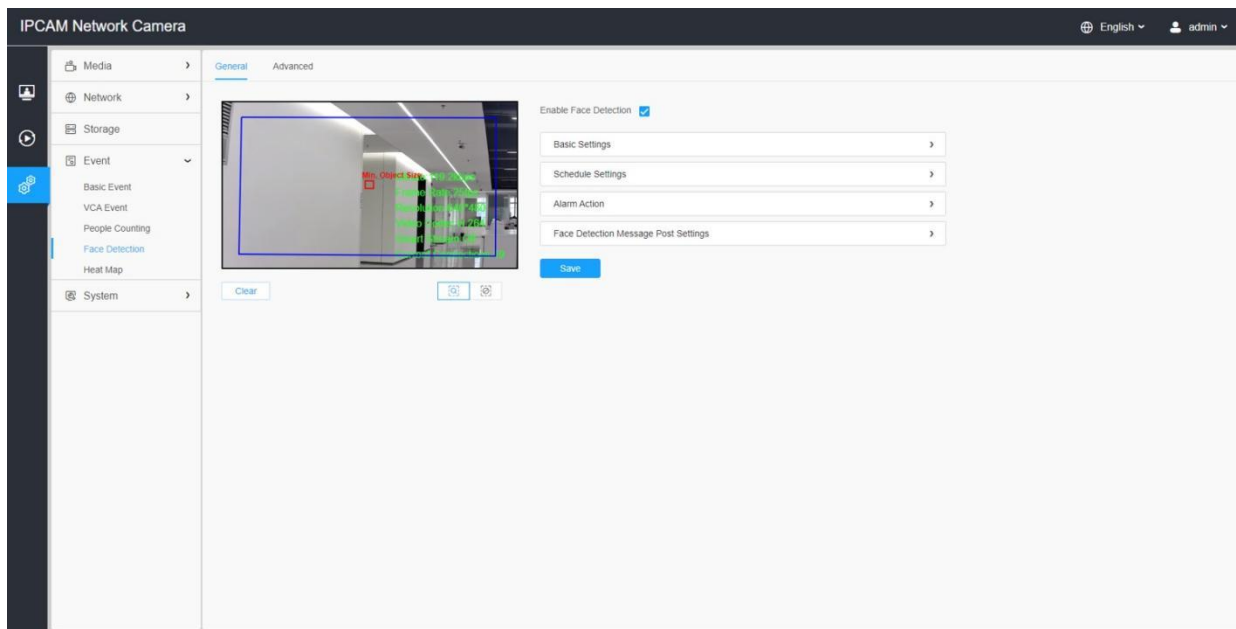


 **注意**：現在の統計レポートを生成した場合、csv形式で保存されます。

7.4.4 顔検出

顔検出機能は、描画エリアに現れた顔を検出し、顔のスナップショットをストレージに保存、FTPや電子メールでアップロード、ライブビューで表示することができます。

7.4.4.1 一般



設定方法は以下の通りです。

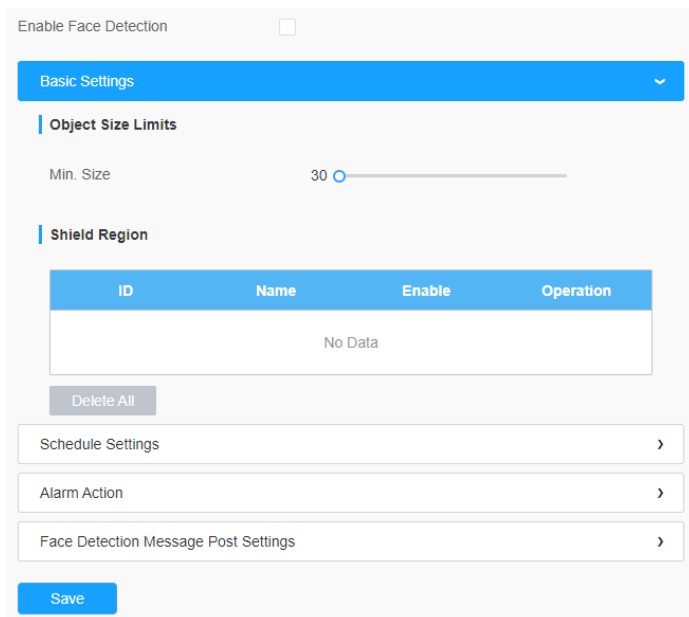
ステップ1：顔検出を有効にします。

[基本設定]

ステップ2：最小オブジェクトサイズを設定します。

ステップ3：検出エリアを設定します。検出エリアをドラッグしてサイズを調整することができます。このエリア内の顔のみが検出されます。

ステップ4：シールドエリアを設定することで、検出エリアの一部で顔を検出しないようにすることができます。まず、プレビュー画面でシールドエリアを描き、「追加」ボタンをクリックします。最大で4つのシールドエリアを描画することができます。



[スケジュール設定]

ステップ5：検出スケジュールを設定する。

 **注意**：この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

[アラームアクション]

ステップ6：アラームアクションを設定します。

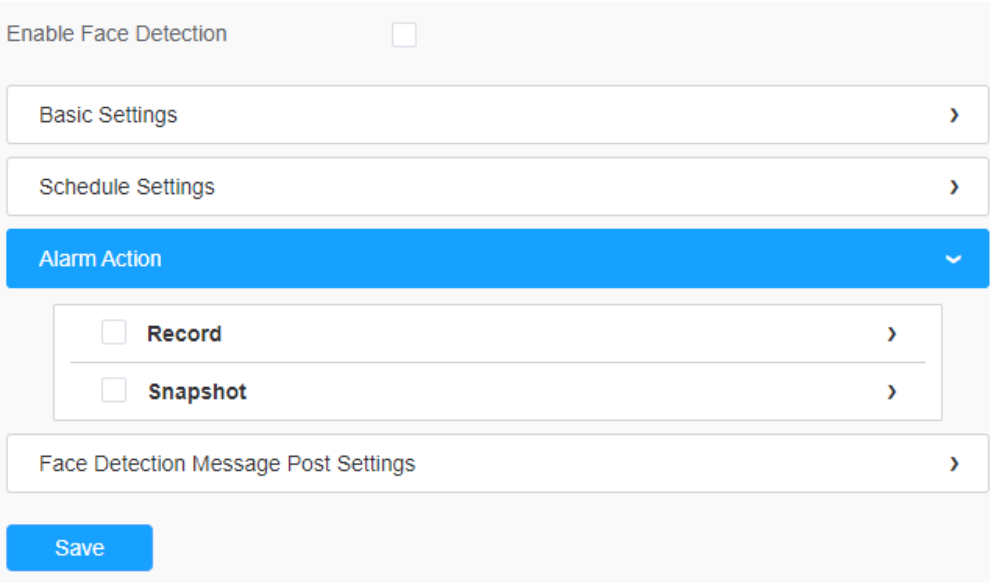


表58. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
録画	<p>継続時間：アラームの継続時間を選択しました。5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒が選択可能です。</p> <p>連動：アラーム録画ファイルをSDカードやNASに保存する、またはFTPで録画ファイルをアップロードすることができます。</p>
スナップショット	<p>数量：スナップショットの数、1～5が利用可能です。</p> <p>間隔：スナップショットに1以上の場合、編集することができます。</p> <p>連動：SDカードやNASにアラーム録画ファイルを保存し、FTPで録画ファイルをアップロードし、アラームメールを送信します。</p>

[顔検出メッセージポスト設定]

ステップ6：顔検出メッセージポストを有効にします。

Enable Face Detection

Basic Settings >

Schedule Settings >

Alarm Action >

Face Detection Message Post Settings ▾

Enable Face Detection Message Post

Post Type TCP HTTP

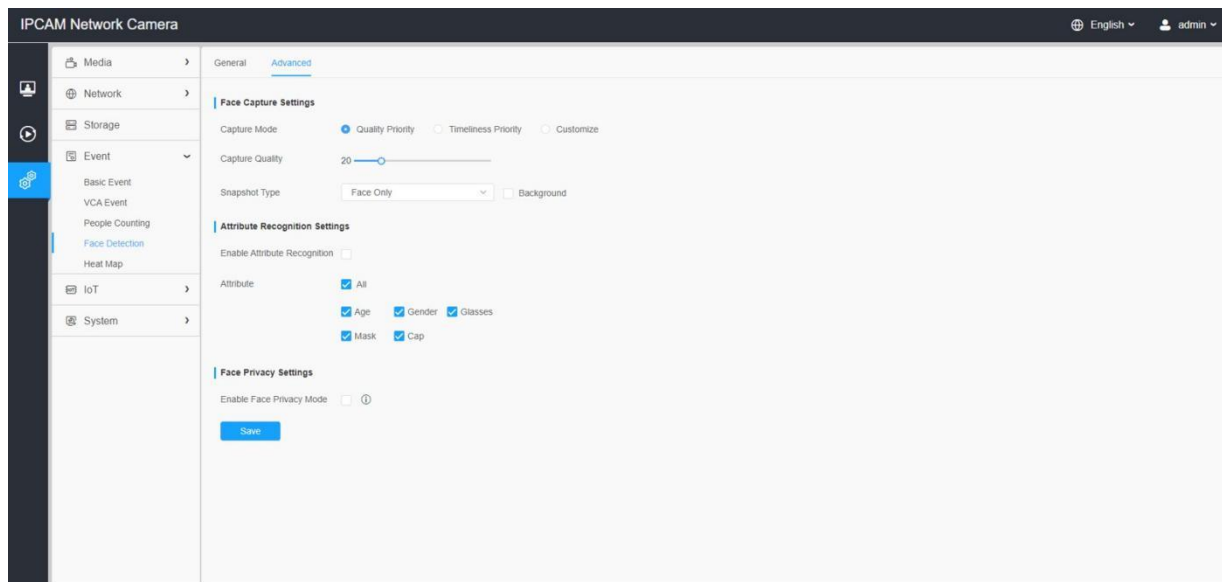
Port

Save

表59. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
顔検出メッセージポストを有効にする	顔検出メッセージ投稿を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。一部のサードパーティ製機器や対応ソフトウェアに情報をプッシュします。情報のプッシュは、TCPまたはHTTPで行います。
ポートタイプ	情報はTCPまたはHTTPでプッシュすることができます。

7.4.4.2 アドバンスド



[フェイスキャプチャーの設定]

フェイスキャプチャースナップショットの設定を行います。

表60. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>キャプチャーモード</p>	<p>オートモード、画質重視、フレーム重視、カスタマイズが利用可能です。</p> <p>オートモード：顔検出時に、スクリーンショットの画質とプッシュスピードに応じた顔スクリーンショットをプッシュします。</p> <p>画質重視：顔が検出されたときに、最も良い画質の顔スクリーンショットをプッシュします。</p> <p>フレーム重視：顔検出時に最短時間で顔スクリーンショットをプッシュします。</p> <p>カスタマイズ：スナップショット間隔、斜め顔角度制限、ピッチング顔角度制限、横顔角度制限、ぼかし制限など、検出条件をカスタマイズできます。</p>
<p>スナップショット間隔</p>	<p>80ミリ秒、200ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2秒、4秒があります。</p> <p> 注意：カスタマイズモードではオプションです。</p>
<p>斜めの顔の角度制限 Oblique Face Angle Limit</p>	<p>斜めの顔の角度制限を1~180に設定します。値が大きいほど、検出可能な斜めの面の角度が大きくなります。</p> <p> 注意：カスタマイズモードではオプションです。</p>
<p>ピッチングフェースアングルリミット Pitching Face Angle Limit</p>	<p>ピッチング顔の角度制限を 1~180 に設定します。値を大きくすると、検出できるピッチング顔の角度が大きくなります。</p> <p> 注意：カスタマイズモードではオプションです。</p>
<p>サイド顔の角度制限 Side Face Angle Limit</p>	<p>サイド顔の角度制限を1~180に設定します。値を大きくすると、検出できる側面の角度が大きくなります。</p> <p> 注意：カスタマイズモードではオプションです。</p>
<p>ブラーリミット Blur Limit</p>	<p>ブラーリミットを1~10に設定します。値を大きくすると、よりぼやけた顔を検出することができます。</p> <p> 注意：カスタマイズモードではオプションです。</p>
<p>スナップショットタイプ</p>	<p>Face Only、Upper Body、Whole Bodyがあります。</p> <p>顔だけ：顔のみのスクリーンショットを撮影します。</p> <p>上半身：上半身のスクリーンショットを撮影します。</p> <p>全身：全身のスクリーンショットを撮影します。</p> <p>「背景」にチェックを入れると、画像全体のスクリーンショットをもう一枚撮影します。</p>

カメラは、設定したリージョナルと条件に従って、ライブビューで顔を検出します。「軌跡を表示」にチェックを入れると、ライブビューの左側にID付きの顔スクリーンショットを表示します。

[属性認識設定]

ここでは、属性認識を有効にし、検出する属性を設定することができます。

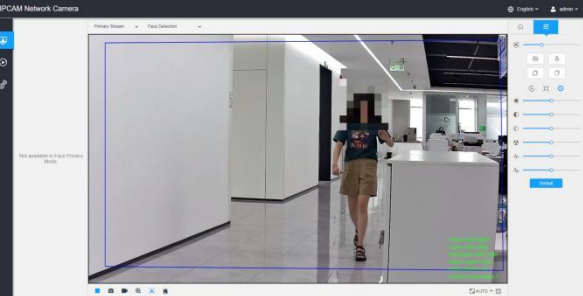
表61. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
属性認識を有効にする	<p>属性認識を有効にすると、検出された顔の属性がライブビューインターフェースの左側に表示されます。属性には、年齢、性別、メガネ、マスク、帽子が含まれます。属性認識は、特殊なシナリオでユーザーのニーズを満たし、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。</p>  <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none">• 顔検出機能が有効になっていることをご確認ください。• キャプチャモードオプションが「画質重視」に設定されていることを確認してください。• 属性認識機能は、顔認証機能との併用はできません。
属性	<p>ユーザーは必要に応じて属性を選択することができます。</p> <p>All： ワンクリックですべての属性を選択または選択解除します。</p> <p>年齢： 顔によって、子供（0～17歳）、大人（18～59歳）、高齢者（59歳以上）などの年齢を認識することができます。</p> <p>性別： 顔から性別を認識し、男性、女性などのタイプを認識します。</p> <p>メガネ： 眼鏡をかけているかどうかを認識します。</p> <p>マスク： マスクの有無を認識します。</p> <p>帽子： 帽子をかぶっているかどうかを認識します。</p> <p> 注意： 認識できない属性や、異常に認識された属性は、「-」で表示されません。</p>

[顔のプライバシー設定]

顔検出のプライバシーモードを有効にすることができます。

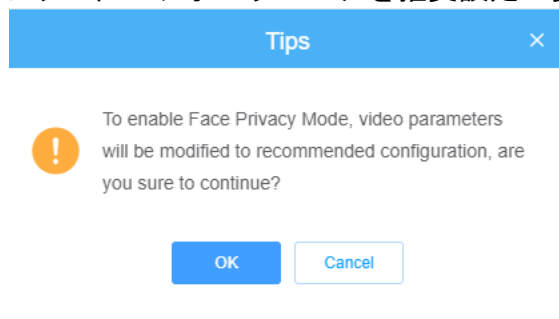
表62. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>フェイスプライバシーモードを有効にする</p>	<p>Face Privacy Modeを有効にすると、顔検出エリアで検出された顔に自動的にモザイクがかけられます。モザイクの大きさは、検出された顔の大きさに関係し、ユーザーは必要に応じて検出された顔の大きさをカスタマイズすることができます。この機能により、肖像権に配慮した特殊なシーンでの利用が可能になります。</p> 

注意：フェイスプライバシーモードを有効にするには、ビデオパラメータが下記の通りです。

- H. 265ビデオコーデック(全ストリーム)。
- メインストリーム：1080P@25fps。
- セカンドストリーム：704*576@25fps。
- サードストリーム：無効です。
- フェイスプライバシーモードでは、顔キャプチャ／顔検出メッセージポスト／属性認識は使用できません。

ポップアップウィンドウで、ビデオパラメータを推奨設定に変更することができます。



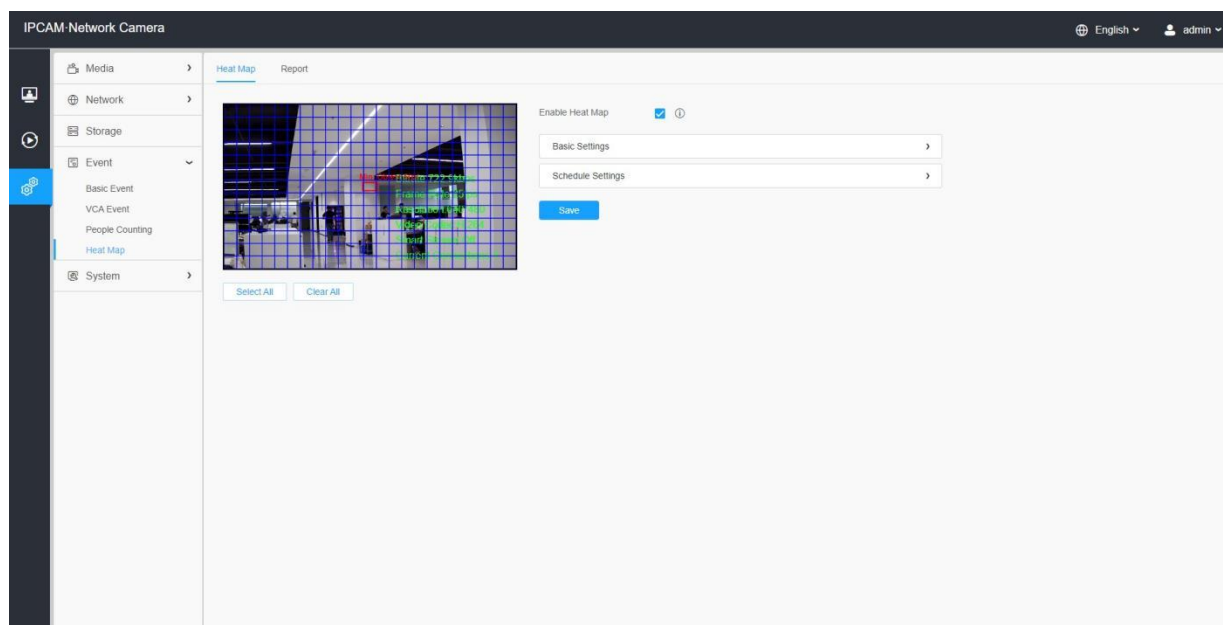
7.4.5 ヒートマップ

ヒートマップ機能は、顧客の動きを分析し、必要に応じて時間または空間パターンで直感的で正確な統計分析結果を使用して、ビジネス管理を改善するための洞察を明らかにできます。

7.4.5.1 ヒートマップ

注意：

- ヒートマップ機能は、PTZシリーズを除くAIモデルでサポートされています。
- SDカードやNASがない場合、7日以内のレポートのみ閲覧可能です。



ステップ1：ヒートマップ機能を有効にする。

[基本設定]

Enable Heat Map

Basic Settings ▾

Basic

Sensitivity 5

Min. Object Size 10

Min. Dwell Time s(1-300)

Scene Change Adaptability 5

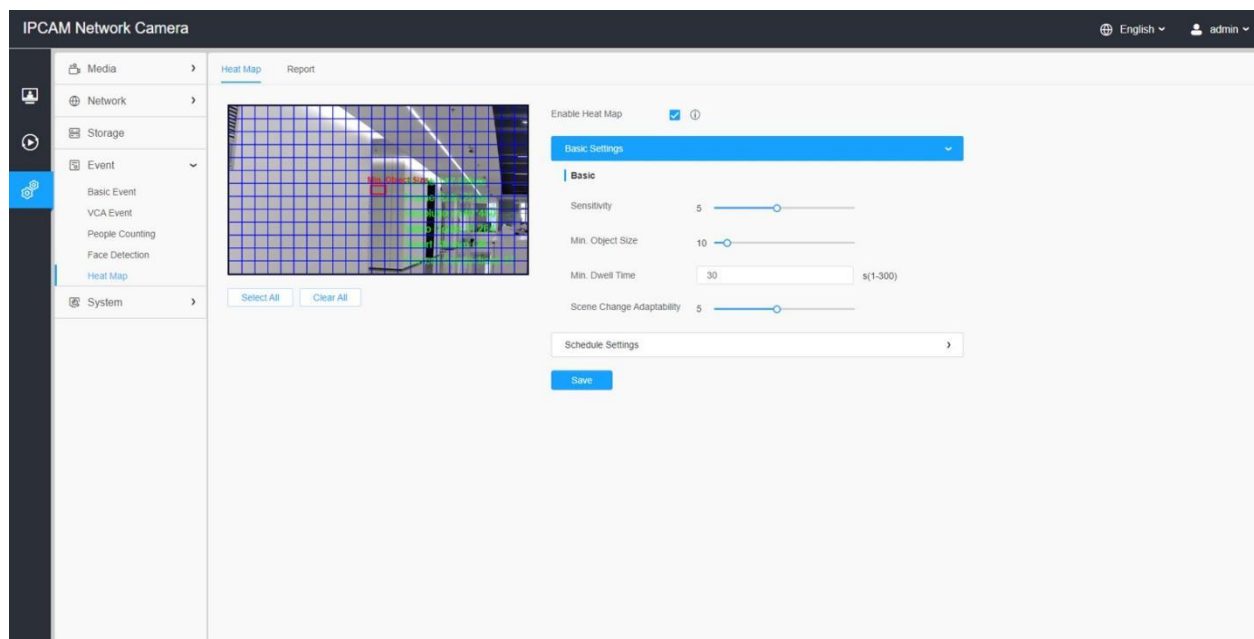
Schedule Settings ▸

Save

表63. ボタンの説明


パラメータ	機能紹介
感度	レベル1~10があり、デフォルトは5です。感度が高いほど、動きのある被写体が結果に録画されやすくなります。
対象物の最小サイズ	オブジェクトの最小サイズを1~100の間で設定します。デフォルト値は10です。この値より小さいオブジェクトは結果に録画されません。
最小滞留時間	最小滞留時間を1~300の間で設定します。初期値は30です。設定した「最小滞在時間」よりも長くオブジェクトが滞在した場合、結果は録画されません。
シーン変化適応性	レベル1~10があり、デフォルトのレベルは5です。シーン変化適応性とは、カメラがシーンの変化に適応し、検出の精度を高めることができることを示します。値が高いほど、カメラはより速く変化するシーンに適応します。

ステップ2: ヒートマップエリアを設定する。画面を描画して、検出エリアを設定します。「全選択」ボタンで全エリアを選択し、「全消去」ボタンで現在描画しているエリアを削除することができます。



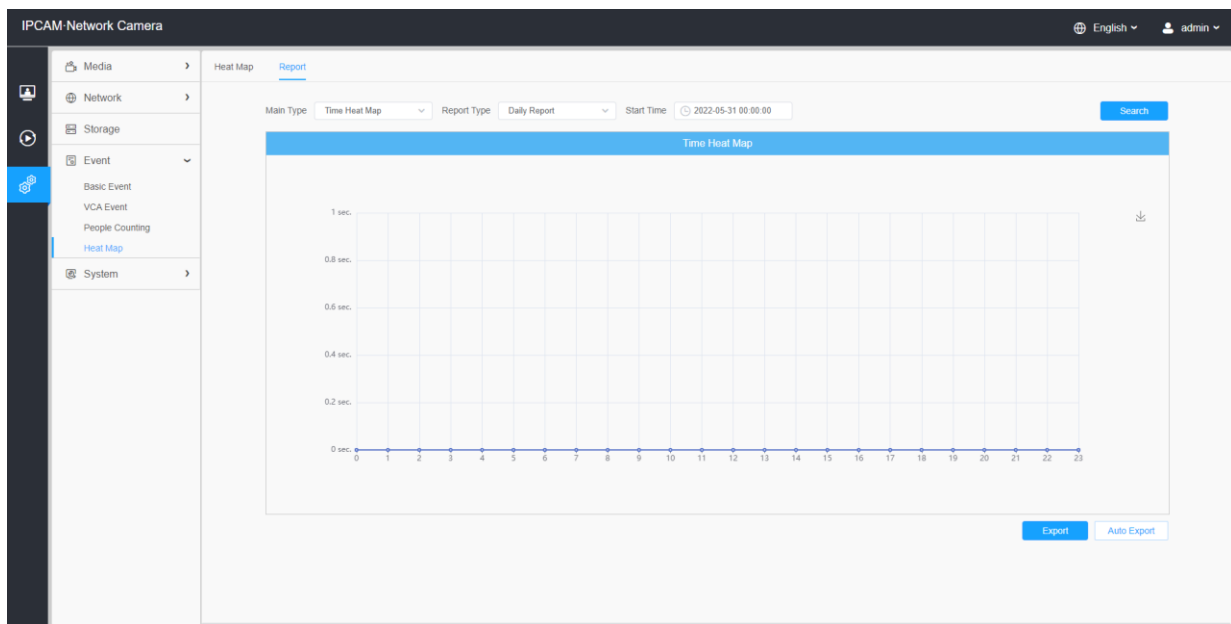
[スケジュール設定]

ステップ3: スケジュール設定を行います。

 **注意:** この部分は通常のスケジュール設定と同じです。

8.2.1.2 レポート

ヒートマップの結果は、このインターフェースに表示されます。



ステップ1：メインヒートマップタイプを選択します。

[スペースヒートマップ]

スペースヒートマップは、異なる色の画像として表示されます。異なる色は異なる熱の値を表します。赤は最も高く、青は最も低いことを表しています。

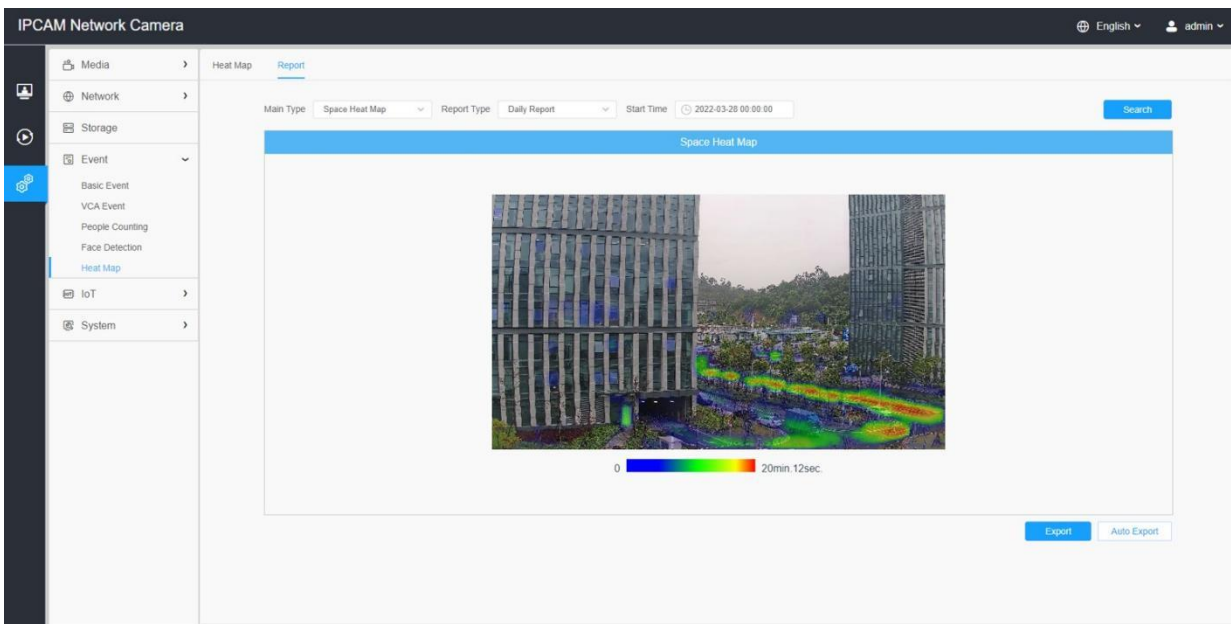
[時間ヒートマップ]

時間ヒートマップは、異なる時間帯の熱量を折れ線グラフで表示します。

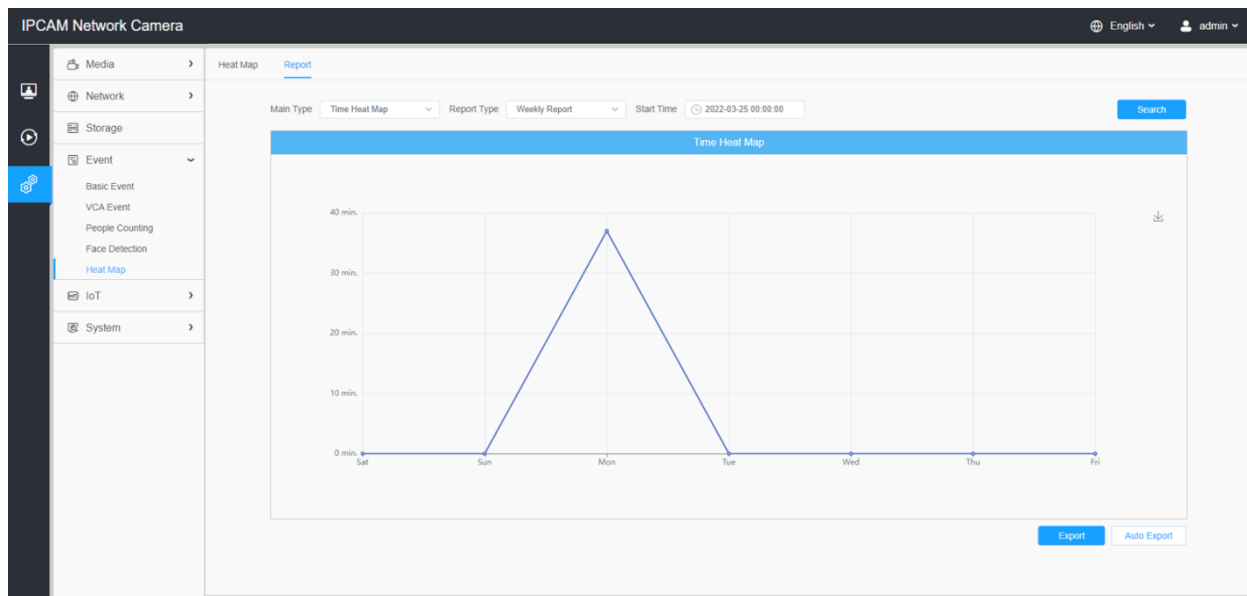
ステップ2：日報、週報、月報、年報など、レポートの種類を選択します。

ステップ3：開始時間を選択し、「検索」ボタンをクリックすると、カメラは自動的に開始時間から日/週/月/年（選択されたレポートタイプに基づく）のデータをカウントし、以下のように対応するレポートを生成します。

スペースヒートマップ

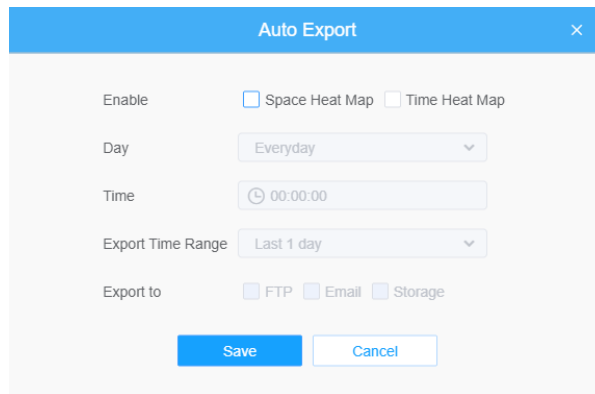


時間ヒートマップ

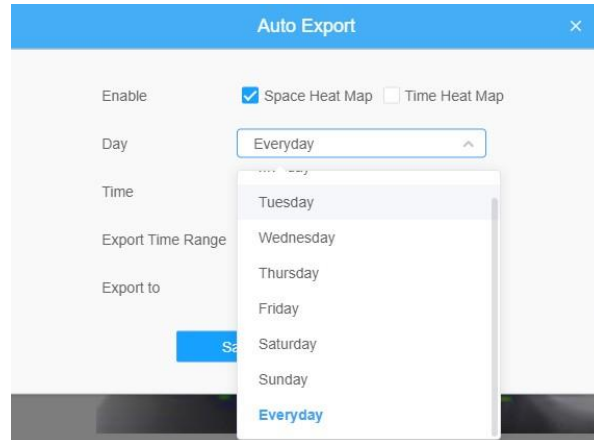


ステップ4: 「Report Export」 ボタンをクリックし、レポートをローカルにエクスポートします。

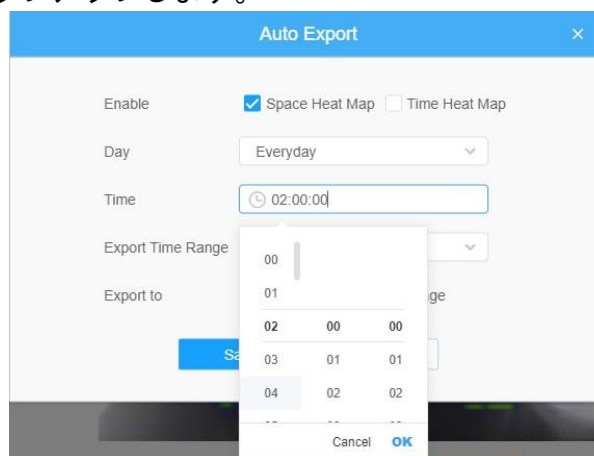
ステップ5: 「自動エクスポート」 ボタンをクリックすると、下図のようなヒートマップレポート設定がポップアップ表示されます。



- エクスポートタイプを設定します。スペースヒートマップ、時間ヒートマップのいずれか、または両方にチェックを入れることができます。スペースヒートマップ、時間ヒートマップのいずれかにチェックを入れると、以下のようにグレーの項目が編集可能な状態になります。
- 曜日を設定します。ユーザーは、毎日を選択して毎日のレポートをエクスポートし、他を選択して特定の曜日にレポートをエクスポートすることができます。



- 時間を設定します。ヒートマップを自動的にエクスポートする時間帯を選択することができます。カレンダーのアイコンをクリックすると、以下のクイックセレクションがポップアップします。



- エクスポート時間範囲を設定します。

The screenshot shows the 'Auto Export' dialog box with the following settings: 'Enable' has 'Space Heat Map' checked and 'Time Heat Map' unchecked; 'Day' is set to 'Tuesday'; 'Time' is set to '02:00:00'; 'Export Time Range' is set to 'Last 1 day'. The 'Export to' dropdown menu is open, showing 'Last 1 week' and 'Export All' as options. A 'Save' button is visible at the bottom.

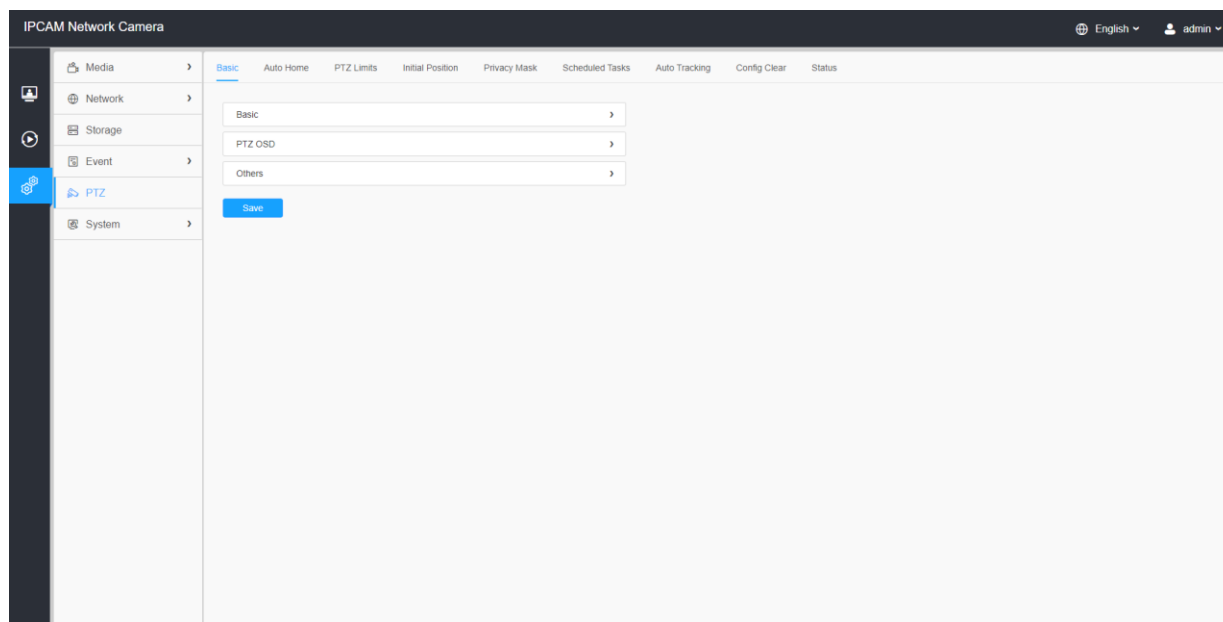
- 自動的にエクスポートされるレポートの保存先パスを設定します。レポートは、設定した日、時間、エクスポート時間範囲に従って、Excelスプレッドシートまたは画像の形式で自動的にFTP/電子メール/ストレージにエクスポートされます。その後、「保存」をクリックします。

The screenshot shows the 'Auto Export' dialog box with the following settings: 'Enable' has 'Space Heat Map' checked and 'Time Heat Map' unchecked; 'Day' is set to 'Tuesday'; 'Time' is set to '02:00:00'; 'Export Time Range' is set to 'Last 1 day'. Under 'Export to', 'Storage' is checked, while 'FTP' and 'Email' are unchecked. 'Save' and 'Cancel' buttons are visible at the bottom.

スペースヒートマップが生成された場合、png画像として保存されます。
時間ヒートマップが生成された場合、csv形式として保存されます。

7.5 PTZ

7.5.1 基本



[基本]

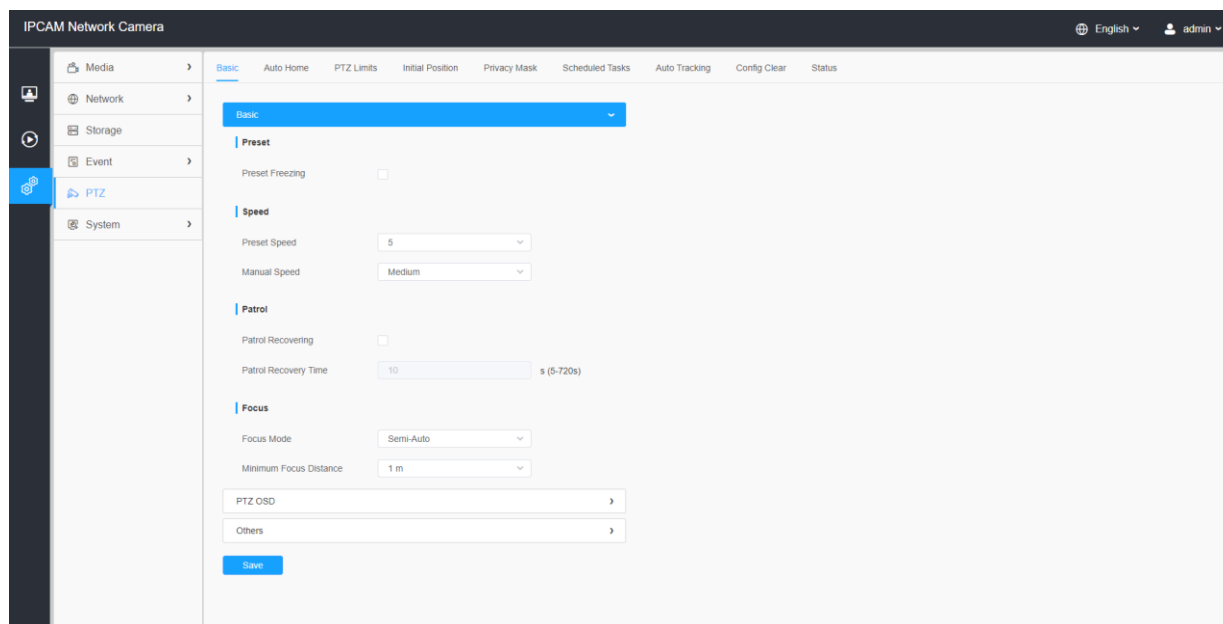


表64. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
プリセット	プリセットフリーズを有効にすると、プリセットポジションへの移動経路とライブビューの両方を表示する代わりに、プリセットポジションのライブビューを直接表示ようになります。また、デジタルネットワークシステムの帯域幅の使用量を削減することができます。

スピード	<p>プリセット速度：プリセットを呼び出す速度を設定します。レベル1～10があります。</p>
	<p>手動速度：PTZの手動制御スピードを設定します。ロー/ ミディアム/ ハイが選択可能です。</p> <p> 注意：スピードドームのみ。</p>
	<p>スキャン速度：オートスキャンの速度を決定します。レベル1～10があります。</p> <p> 注意：スピードドームのみ。</p>
パトロール	<p>パトロールリカバリング：Patrol Recoveringを有効にする場合はクリックします。</p>
	<p>パトロール回復時間：パトロールが回復するまでの時間を5秒から720秒の間で設定します。</p>
フォーカス	<p>フォーカスモード：3つのフォーカスモードが利用可能です。オート/セミオート/マニュアルです。</p>
	<p>最短撮影距離：各フォーカスのステップ長を調整するための最短フォーカス距離を設定します。1m、1.5m、3m、6m、10m、20mが選択可能です。デフォルトの最短フォーカス距離は1メートルです。</p>

[PTZ OSD]

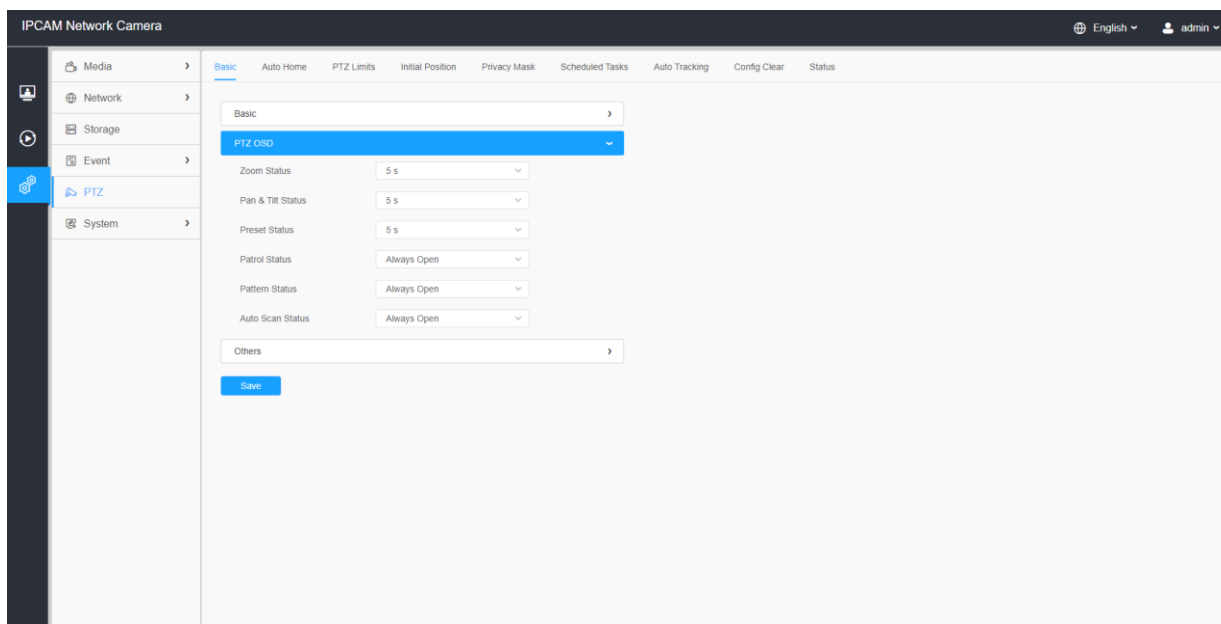


表65. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
ズームステータス	2s/5s/10s/Always Open/Always Closeが使用可能です。
パン&チルトステータス	2s/5s/10s/Always Open/Always Closeが使用可能です。
プリセットステータス	2s/5s/10s/Always Open/Always Closeが使用可能です。

パトロール ステータス	常時開/常時閉が可能です。
パターン ステータス	常時開/常時閉が可能です。
オートスキャン ステータス	常時開/常時閉が可能です。

[その他]

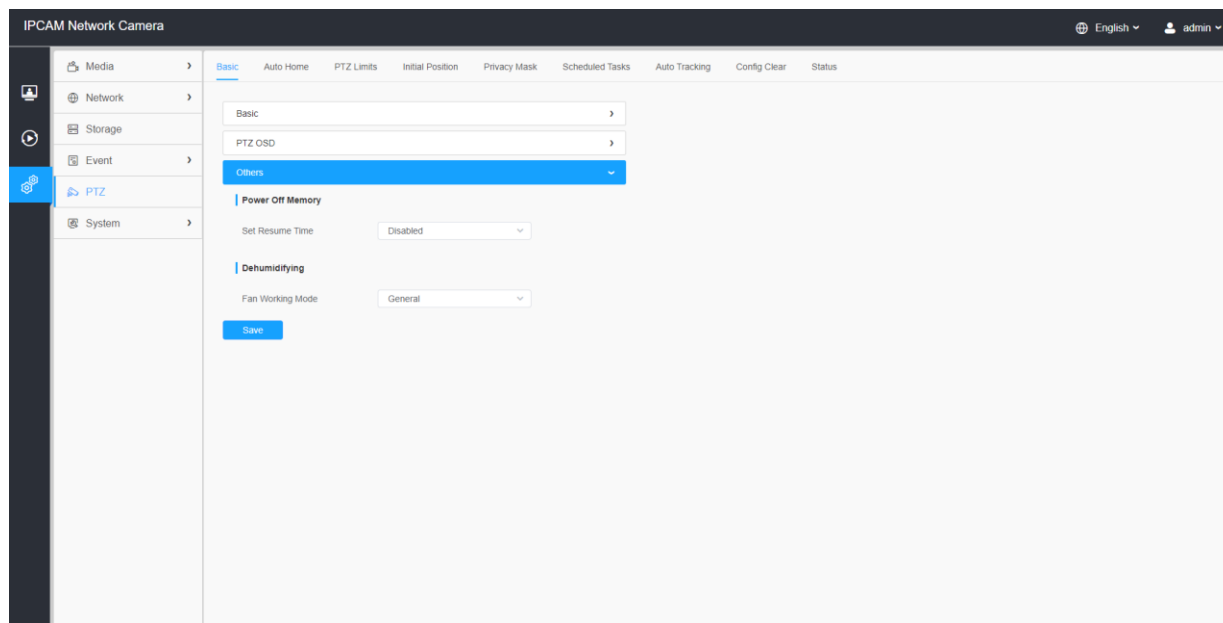
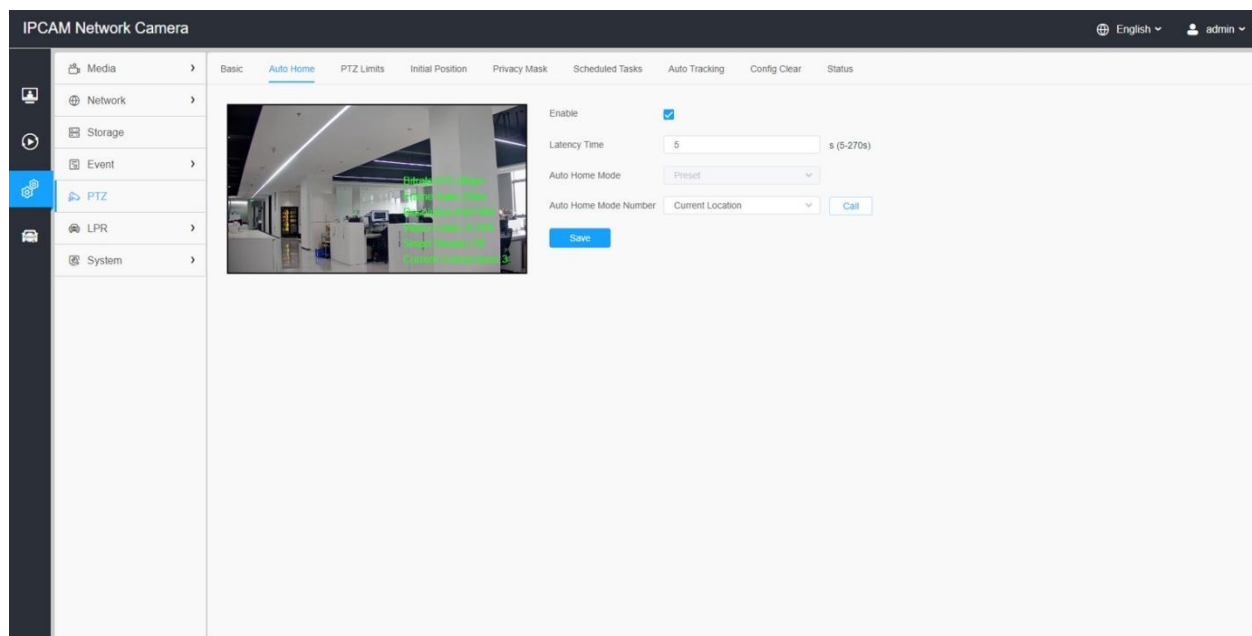


表66. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
パワーオフメモリ	<p>カメラがあらかじめ設定された時間より長い間作業を停止した場合、その位置が録画されます。そしてそれは電源遮断から正常な仕事に戻った後位置に再開します。</p> <p>レジューム時間を30秒、60秒、300秒、600秒に設定して、その位置を録画することができます。</p>
除湿	<p>ファンワーキングモード: 3つのファンワーキングモードが利用可能です。一般/強化/常時です。</p> <p>一般: 毎日午前4時から午前7時、午後5時から午後8時までファンを回しています。</p> <p>強化: 毎日午後5時から午前7時までファンを回しています。</p> <p>常時: ファンは24時間稼働しています。</p>

7.5.2 オートホーム



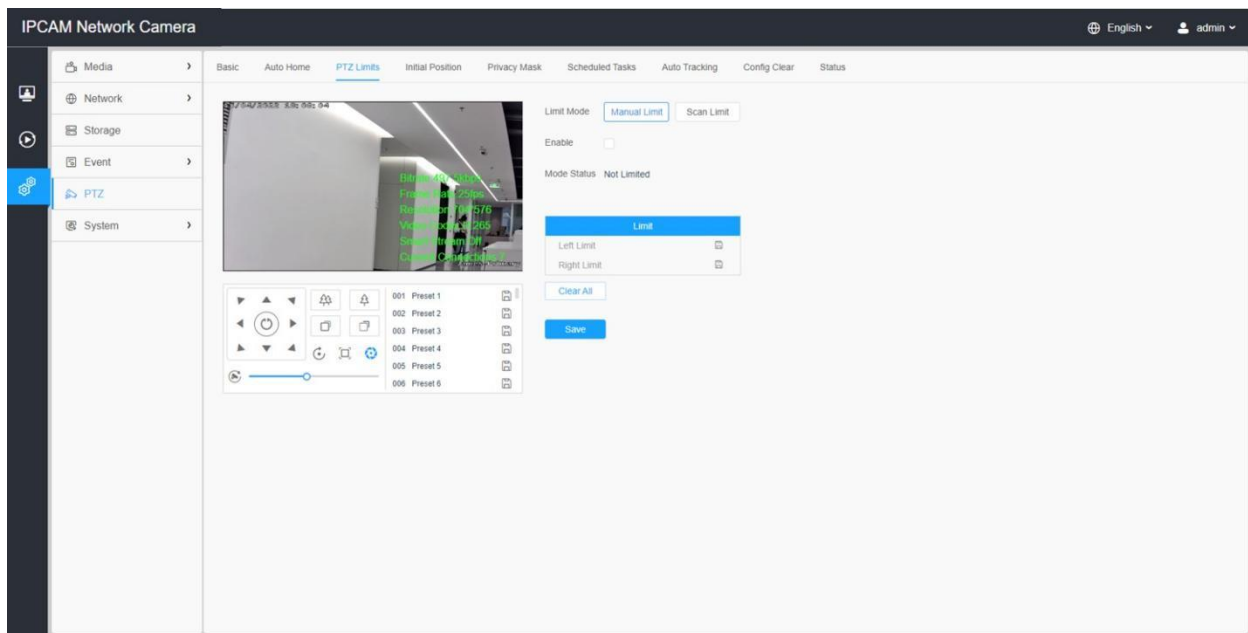
オートホームは、一定時間経過後にPTZカメラが事前に設定したホームポジションに自動的に戻るようにします。チェックボックスをオンにすると、自動原点復帰モードが有効になります。

表67. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	オートホーム機能の有効/無効を設定します。
Latency Time	オートホームモードをトリガーするまでの待ち時間を5~720秒に設定します。
Auto Home Mode	プリセット：オートホームをトリガーしたときにプリセットポイントが有効になります。
Auto Home Mode Number	リストから事前定義済みのプリセットを選択し、「発信」を押して場所を確認します。現在地選択にも対応しています。

7.5.3 PTZ制限

PTZカメラは、設定可能なPTZ制限（左/右）で移動するようにプログラムできます。



ステップ1：チェックボックスをチェックしてPTZ制限機能を有効にします。

ステップ2：手動モードまたはスキャンモードとして制限モードを選択します。

- ・手動制限：

- 手動制限停止が設定されている場合は、制限付き監視エリア内でのみPTZコントロールパネルを手動で操作できます。

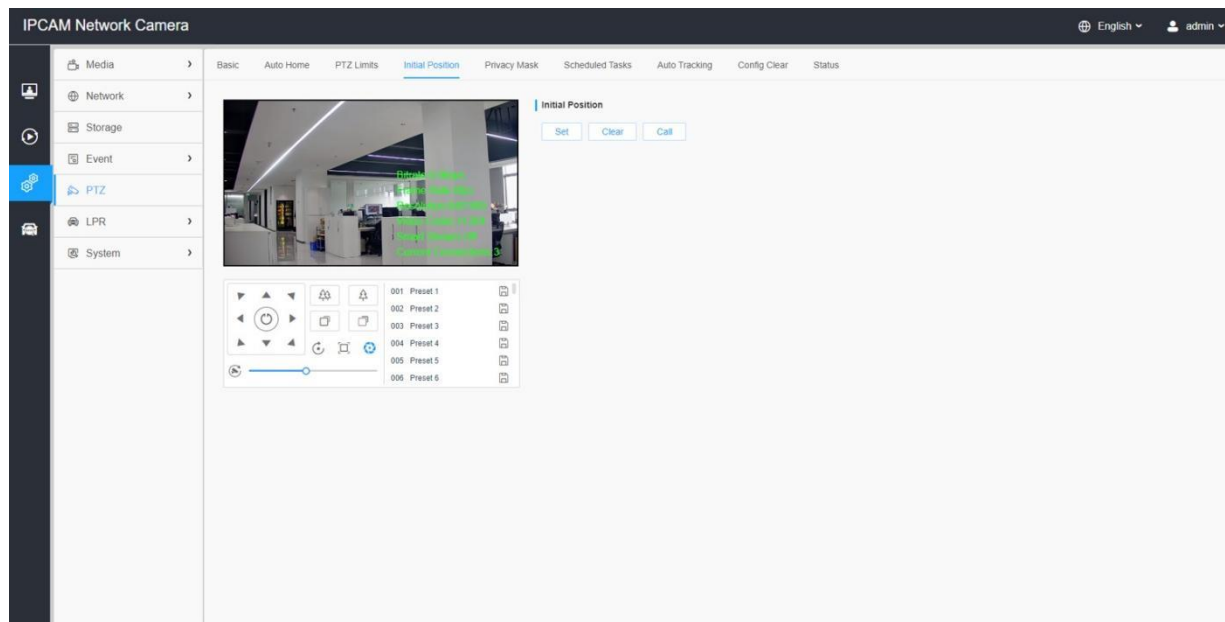
- ・スキャン制限：

- スキャン制限停止が設定されている場合、自動スキャンは制限付き監視エリアのみ実行されます。

ステップ3：PTZコントローラボタンをクリックして、左右のリミットストップを設定します。定義済みのプリセットを呼び出して、それらをPTZカメラの制限として設定することもできます。

ステップ4：[設定]をクリックして制限を保存するか、[消去]をクリックして制限を消去します。

7.5.4 初期位置



PTZカメラの初期位置をゼロ点として設定することができます。

ステップ1: PTZバレットカメラの初期位置としてPTZコントロールボタンをクリックし、また定義されたプリセットを呼び出し、初期位置としてそれを設定することができます。

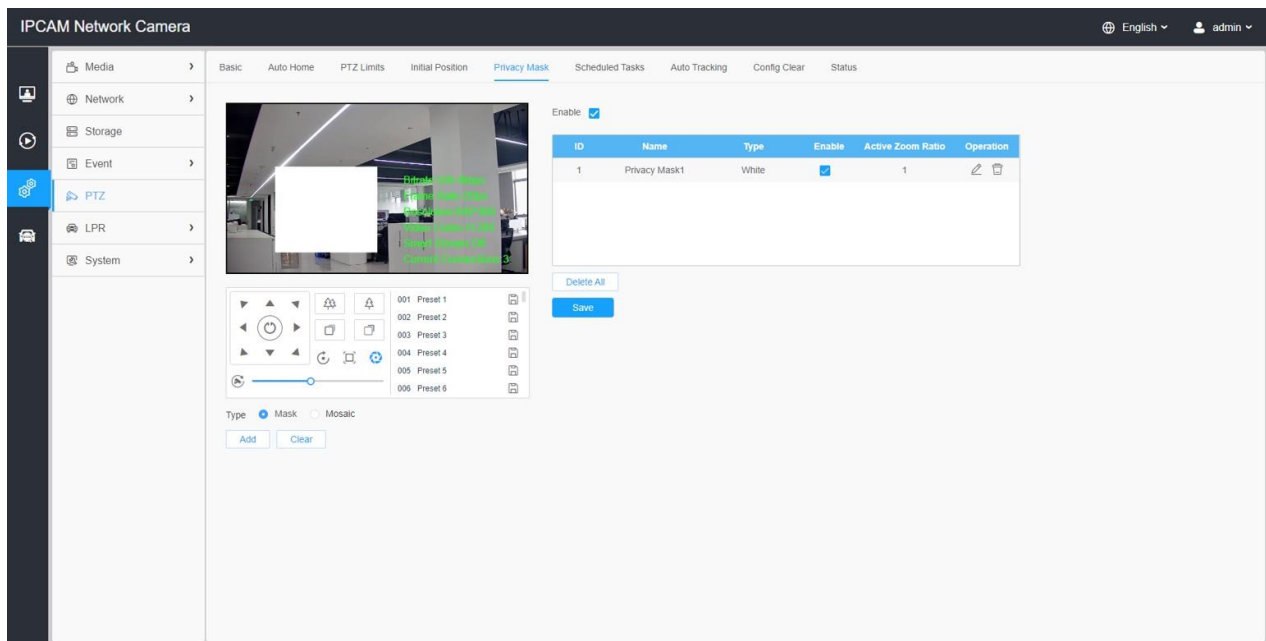
ステップ2: [Set] をクリックすると、その位置が初期位置として保存されます。

表68. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
セット	クリックして現在位置を初期位置に設定します。
クリア	初期位置をデフォルト設定にクリアします。
呼び出し	クリックして初期位置を呼び出します。

7.5.5 プライバシーマスク

プライバシーマスクは、ライブ映像上の特定のエリアをカバーし、監視エリアの特定の場所を表示および録画されないようにすることができます。マスクエリアは、レンズの移動に伴って移動することはありません。



[プライバシーマスク]

ライブ映像の特定エリアを覆う色を選択することができます。

表69. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
有効	ボックスにチェックを入れるとプライバシーマスク機能が有効になります。
追加	現在の描かれたエリアをプライバシーマスクとして追加します。
消去	現在の描かれたエリアを消去します。
全消去	前に描かれた全てのエリアを削除します。
名前	プライバシーマスクの名前をカスタマイズします。
タイプ	プライバシエリアに使用する色を選択してください。8色が利用可能です： 白、黒、青、黄、緑、茶色、赤、紫
Active Zoom Ratio	必要に応じてActive Zoom Ratioの値を設定すると、ズーム率が事前定義された値より大きい場合にのみマスクが表示されます。

[プライバシーマスクのモザイクタイプ]

ライブ映像の特定のエリアをカバーするために使用するカラータイプとモザイクタイプを選択することができます。モザイクタイプは、映像の連続性を保ち、視覚効果を高めることができます。マスクエリア24個とモザイクエリア4個の合計28個まで対応可能です。

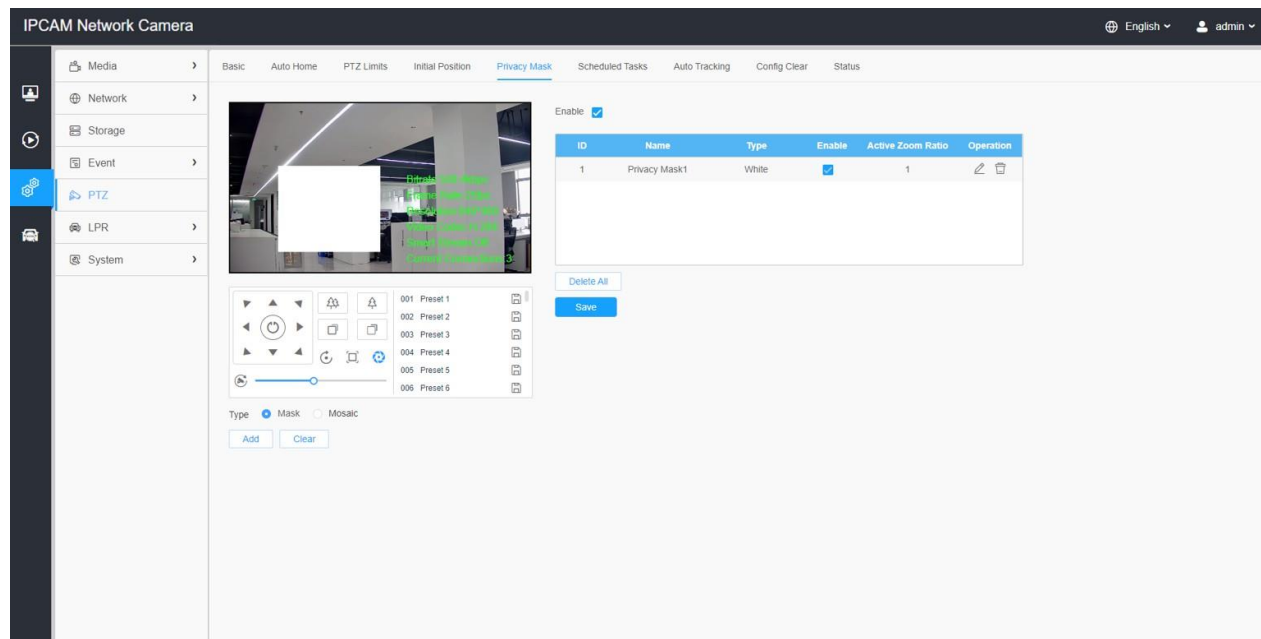
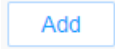




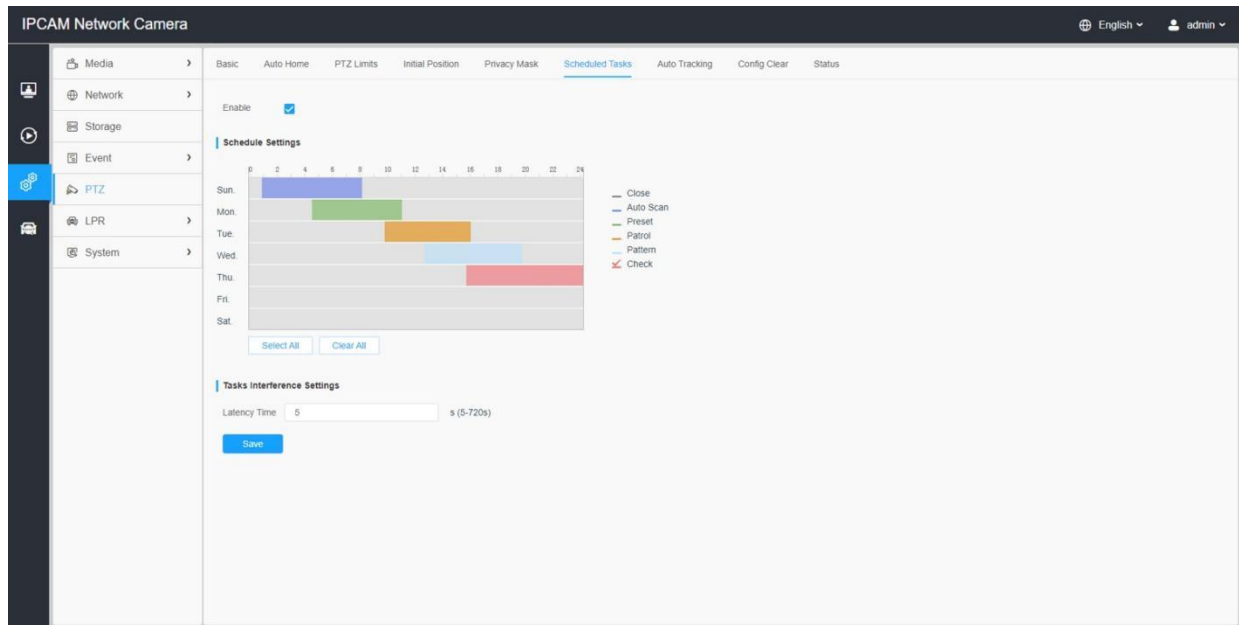


表70. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介	
有効	プライバシーマスク機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。	
タイプ	プライバシーエリアに使用するタイプを選択します。マスクとモザイクの2種類があります。	
	必要に応じて、ライブ映像にプライバシーエリアを描きます。	
	ライブ映像に描いた範囲をクリアにします。	
Operation		選択した ROI エリアの有効化/無効化 します
		Maskエリアの色を変更することができます。白、黒、青、黄、緑、茶、赤、紫の8色です。
		プライバシーマスクのエリアを削除します。

7.5.6 スケジュールタスク

PTZカメラがユーザー定義の時間帯に自動的に特定の動作を行うように設定することができます。




ステップ1: スケジュールタスクの設定インターフェースに入る。

ステップ2: 「スケジュールされたタスクを有効にする」のチェックボックスをオンにします。

ステップ3: スケジュールとタスクの詳細を設定します。

ステップ4: タスク回復時間（5秒から720秒まで）を設定します。PTZカメラがスケジュールとタスクの詳細を開始するまでの時間（非アクティブの期間）を設定することができます。


ステップ5:  ボタンをクリックすると、すべての設定が保存されます。

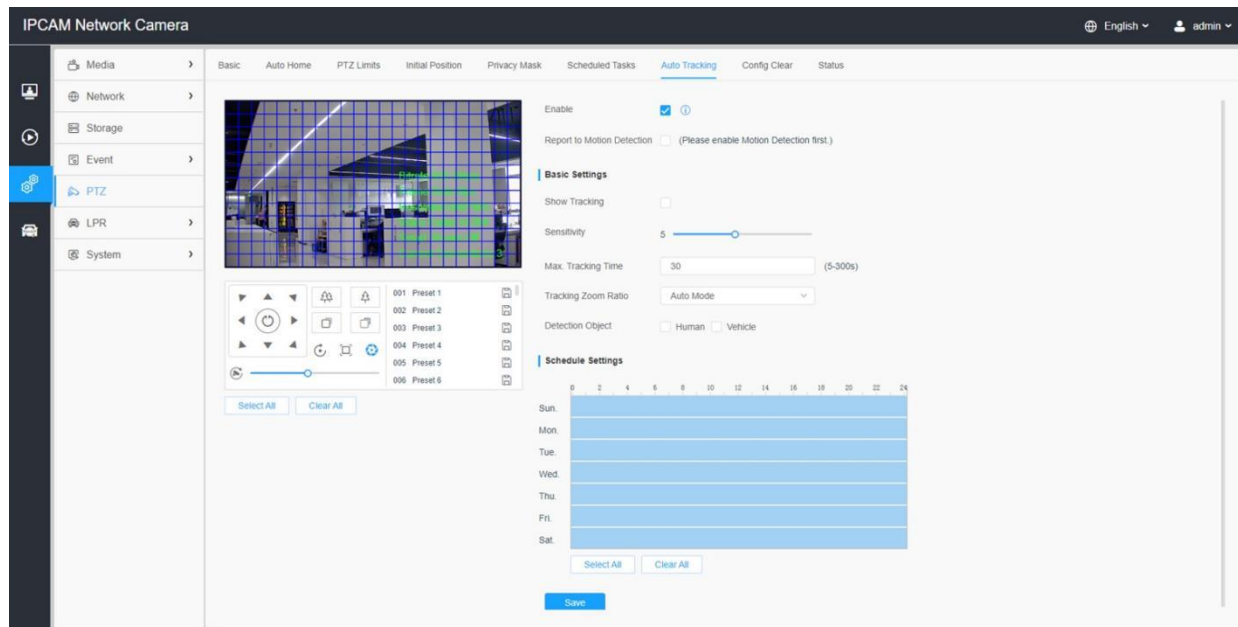
注意:

- 各タスクの時間帯は重複できません。各日に最大10個のタスクが設定できます。
- スケジュールタスク機能は、オートホーム機能より優先されます。これら2つの機能が同時に設定された場合、スケジュールタスク機能のみが有効になります。
- ボタンをクリックすると、異なる種類のタスクのスケジュールをすべて選択したり、閉じたりすることができます。

7.5.7 自動追尾

PTZシリーズのカメラは、この機能を設定すると、移動するオブジェクトを自動的に追尾することができます。

 **注意:** 関連性のない場合では、自動追尾の優先順位は、VCAイベント>自動追尾>モーション検出となります。



設定手順を以下に示します。

ステップ1: チェックボックスにチェックを入れ、自動追尾を有効にします。

ステップ2: チェックボックスをオンにして、Report to Motion Detection を有効にします。自動追尾中にモーション検知アラームが作動するようになります。

注意: 最初にモーションディテクトを有効にしてください。

[基本設定]

ステップ3: “Show Tracking ”を有効にすると、自動追尾機能でトラッキングを表示することができます。

ステップ4: 検出感度を設定します。

ステップ5: 最大トラッキング時間を設定します。Tracking Timeは5~300sの間で設定してください。カメラはトラッキング時間が切ると、トラッキングを停止します。

ステップ6: オートモードとカスタマイズを含むトラッキングズーム比を設定します。自動モードが選択された場合、カメラはトラッキングズーム比を自動的に調整します。カスタマイズを選択した場合、ユーザーはズームボタンを調節してトラッキングズーム比を設定する必要があり、その後カメラは自動的にトラッキングズーム比を調節します。


カスタマイズされたトラッキングのズーム比と、その瞬間の画像内のオブジェクトの割合に応じて、自動的に移動オブジェクトを追尾します。同時に、オブジェクトはトラッキングプロセス中、常に画像内の同じプロポーションを維持します。


ステップ7: 検出オブジェクトを選択します。人または車両属性をチェックすると、カメラは人または車両を検出するとアラームを発し、関連イベントを開始します。

[スケジュール設定]

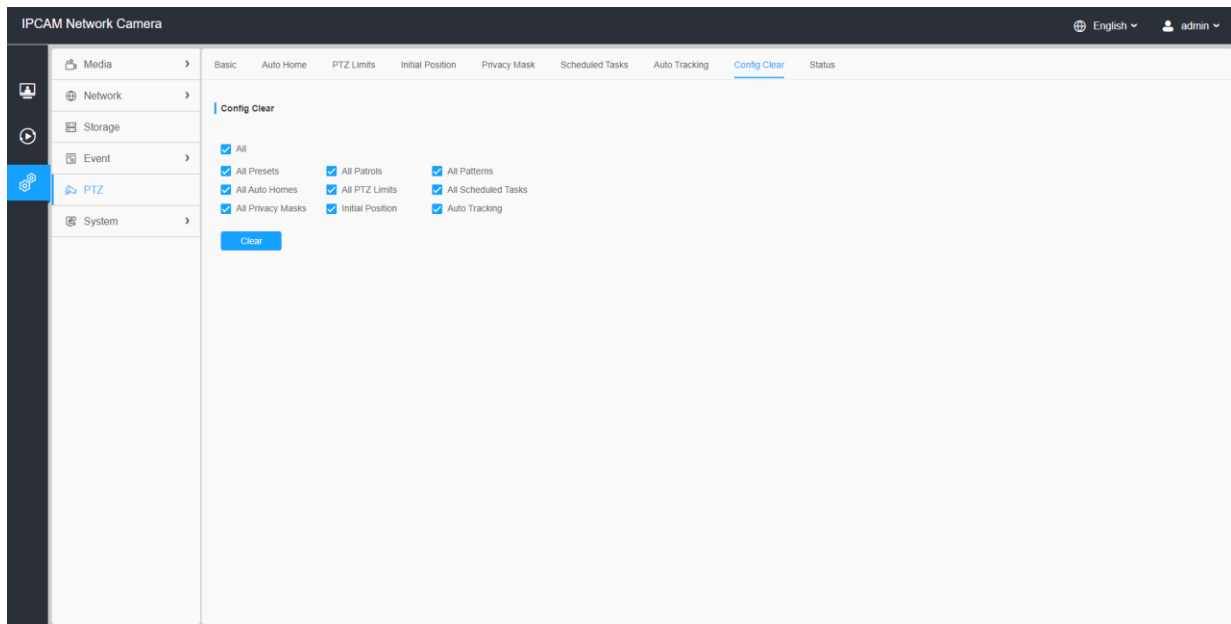
ステップ8: 自動追尾のスケジュールを設定する。

ステップ9: 画面を描画し、検出エリアを設定します。

ステップ10:  をクリックし、設定を保存します。

 **注意**: 自動追尾を使用する前に、自動原点をオフにしてください。

7.5.8 設定クリア

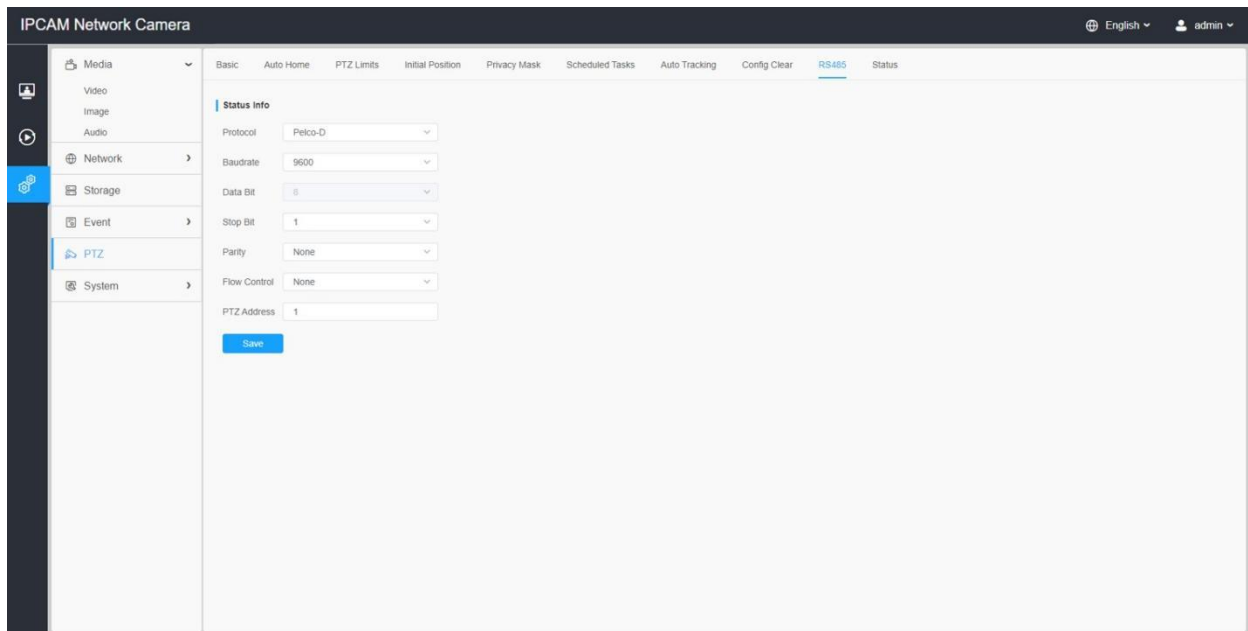


すべてのPTZ設定、プリセット、パトロール、パターン、オートホーム、PTZ制限、初期位置（ミニPTZバレット）、プライバシーマスク、およびスケジュールされたタスクを含むPTZ設定を消去できます。

7.5.9 RS485

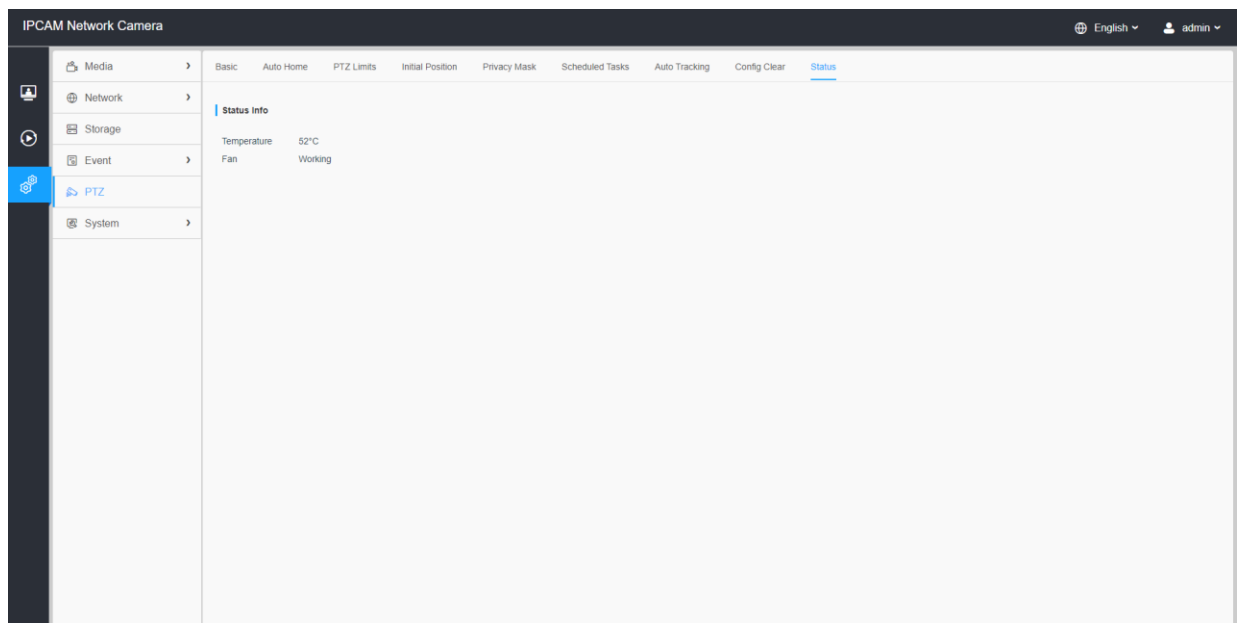
プロドームPTZの PTZ を制御するための RS485 シリアルポートの設定を行います。プロトコル、ボーレート、データビット、ストップビット、パリティ、フロー制御、PTZアドレスは、制御機器と全く同じにする必要があります。

 **注意**: この機能はプロドームPTZのみです。



7.5.10 ステータス

ここでは、温度やファンの状態など、PTZカメラのステータス情報を見ることができます。



7.6 システム

ここでは、[システム設定]、[セキュリティ]、[ログ]、[メンテナンス]を設定することができます。

7.6.1 システム設定

システム情報と日時を確認することができます。

7.6.1.1 システム情報

カメラのハードウェア、ソフトウェアに関するすべての情報を確認することができます。

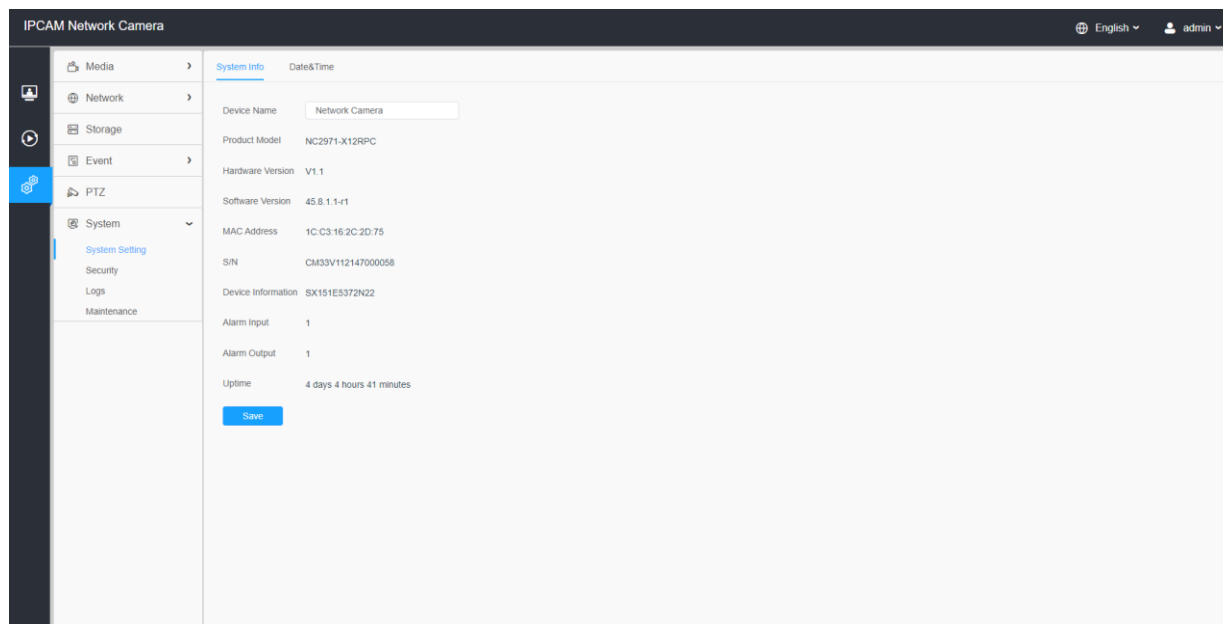


表71. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
デバイス名	デバイス名をカスタマイズすることができます。ビデオファイルのファイル名に表示されます。
製品モデル	カメラの製品モデルです。
ハードウェアのバージョン	カメラのハードウェアバージョンです。
ソフトウェアバージョン	カメラのソフトウェアのバージョンアップが可能です。
LPRライセンス (LPR2、LPR3、LPR4、LPR EU、LPRAPおよびLPR AMのみ)	カメラの情報により生成されます。 注意 ：LPRシリーズのみ
ライセンス状態 (LPR2、LPR3、LPR4、LPR EU、LPRAPおよびLPR AMのみ)	Valid と Invalid を含む現在のライセンスステータスを表示 注意 ：LPR シリーズのみ
MACアドレス	Media Access Controlのアドレス
S/N	在庫番号
デバイス情報	アラームI/Oやクリッパーチップの情報を含むデバイス情報です。
アラーム入力	アラーム入カインタフェースの数です。 注意 ：アラーム入力は、カメラにアラーム入力/出カインタフェースがある場合にのみ表示されます。

アラーム出力	アラーム出カインターフェースの数です。 注意： アラーム出力は、カメラにアラーム入出カインターフェースがある場合のみ表示されます。
アップタイム	端末の最終再起動からの経過時間です。
Save	設定を保存します。

7.6.1.2 日付と時刻

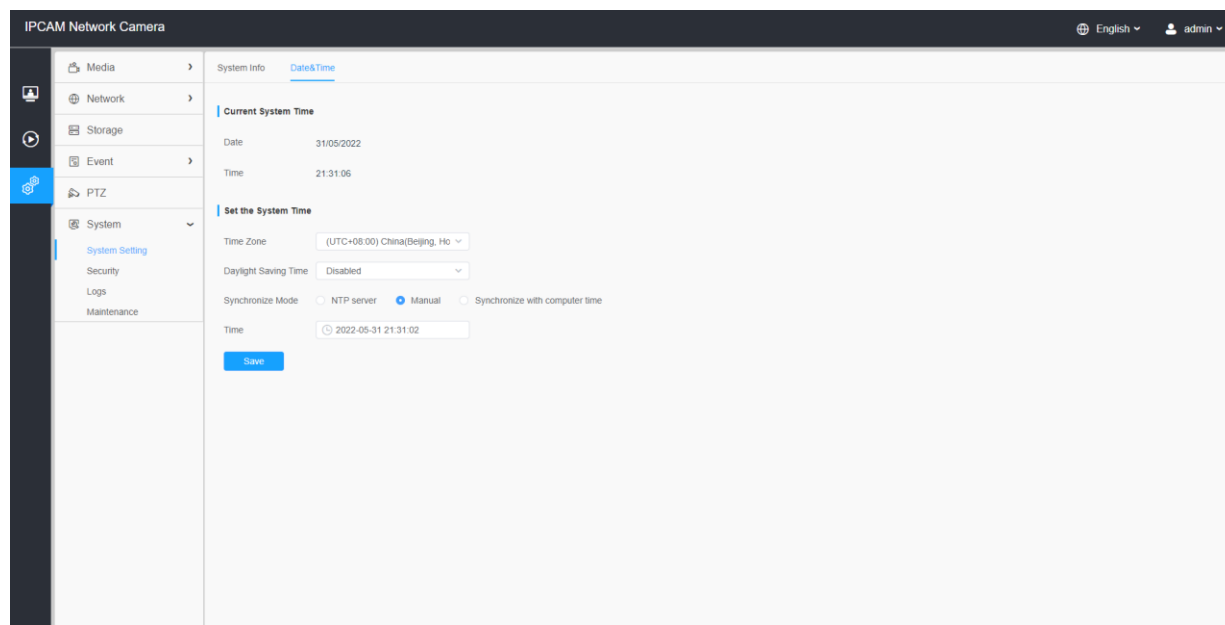


表72. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
現在のシステム時刻	システムの現在の日付と時刻を表示しています。
システム時刻を設定する	タイムゾーン： 現地のタイムゾーンを選択してください。
	デライト・セービング・タイム： Daylight Saving Timeを有効にします。
	同期モード： NTPサーバー、マニュアル、コンピュータ時刻の同期が選択可能です。
	NTPサーバー： NTPサーバーのアドレスを入力します。
	NTP同期： インターバルタイムに従って、定期的に時刻を更新します。
	手動： システム時刻を手動で設定します。
	コンピュータの時刻と同期させる： 時間をコンピュータと同期させます。
Save	設定を保存します。

7.6.2 セキュリティ

ユーザー、アクセスリスト、セキュリティサービス、ウォーターマークなどを設定することができます。

7.6.2.1 ユーザー

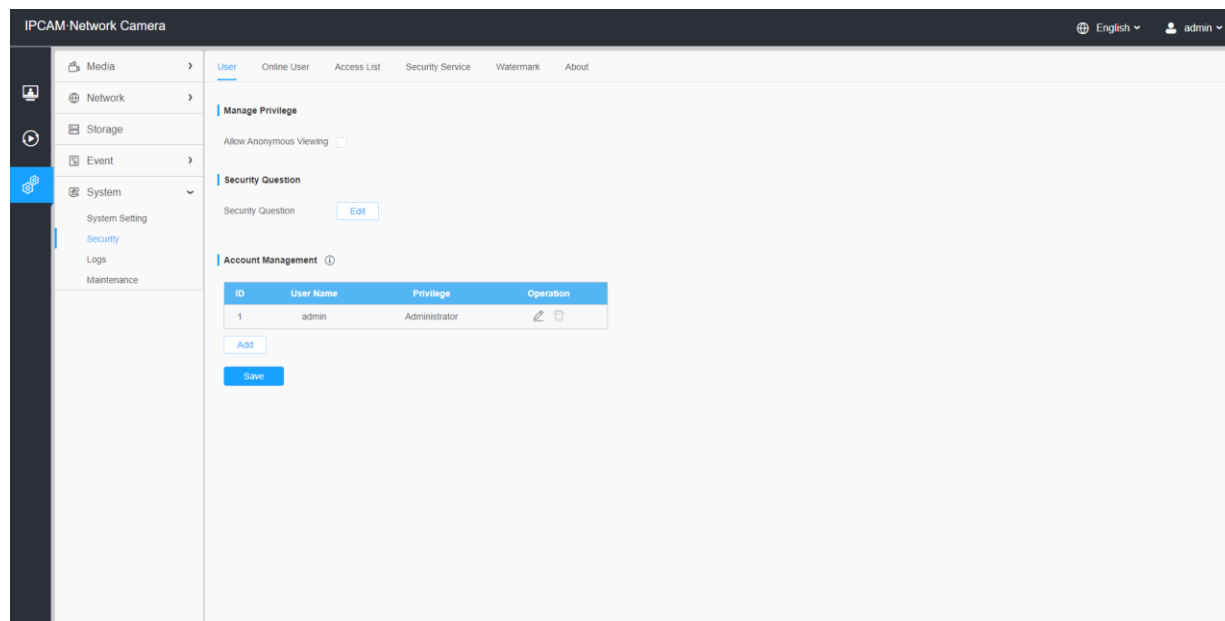


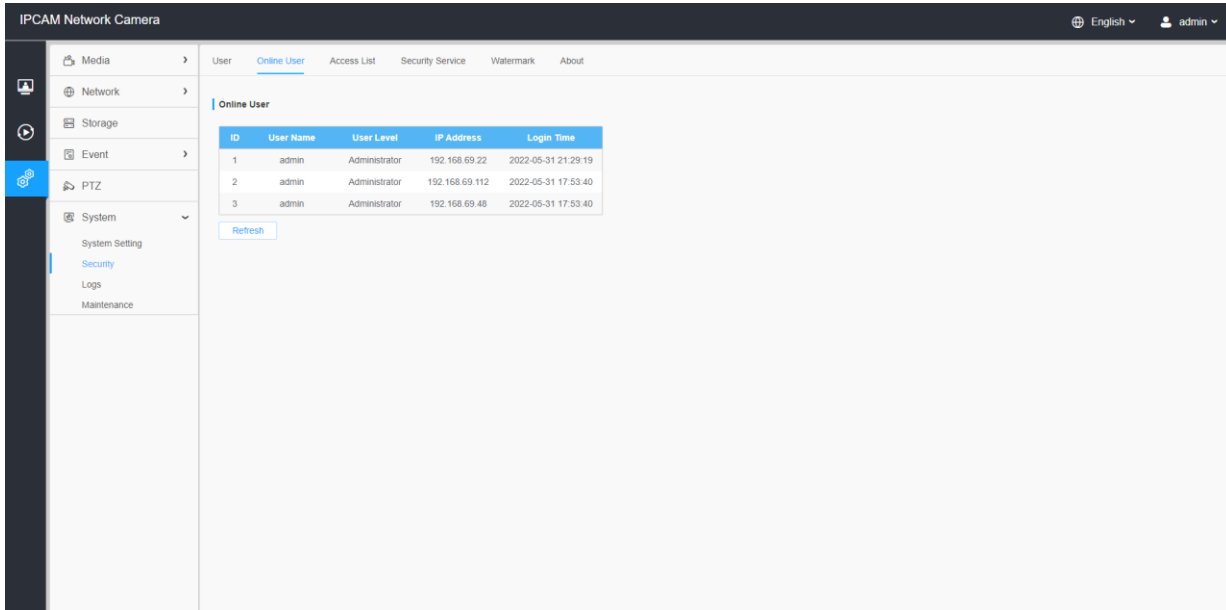
表73. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
権限管理	匿名での閲覧を許可する：チェックボックスをオンにすると、端末のアカウントを持っていない人からの訪問を可能にします。
セキュリティに関する質問	<p>「編集」ボタンをクリックすると、カメラに3つのセキュリティ質問を設定することができます。パスワードを忘れた場合は、ログイン画面で「パスワードを忘れた場合」ボタンをクリックし、3つのセキュリティ質問に正しく答えることでパスワードを再設定することができます。</p> <div data-bbox="537 1480 966 1829" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #f9f9f9;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">Security Question Settings ×</p> <p>Admin Password* <input type="password"/></p> <p>Security Question1 <input type="text" value="What's your father's name?"/></p> <p>Answer1* <input type="text"/></p> <p>Security Question2 <input type="text" value="What's your father's name?"/></p> <p>Answer2* <input type="text"/></p> <p>Security Question3 <input type="text" value="What's your father's name?"/></p> <p>Answer3* <input type="text"/></p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Cancel"/> </p> </div> <p>デフォルトの質問は以下の12種類ですが、カスタマイズすることも可能です。</p>

	
<p style="text-align: center;">アカウント管理</p>	<p>追加ボタンをクリックすると、アカウント管理画面が表示されます。管理者パスワード、ユーザーレベル、ユーザー名、新規パスワード、確認、ユーザー権限の編集を入力し、追加ボタンをクリックするとカメラにアカウントを追加することができます。追加されたアカウントはアカウントリストに表示されます。</p> <p>管理者パスワード：正しい管理者パスワードを入力してから、アカウントを追加することができます。</p> <p>ユーザーレベル：アカウントの権限を設定します。</p> <p>ユーザー名：アカウントを作成するためのユーザー名を入力します。</p> <p>新しいパスワード：アカウントのパスワードを入力します。</p> <p>確認：パスワードを確認します。</p> <p>管理者アカウントの下にあるアカウントリストで、編集と削除ができます。デフォルトの管理者アカウントについては、パスワードの変更のみ可能で、削除はできません。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトユーザーとカスタムで追加した19人のユーザーを含む、最大20人のユーザーをサポートします。 オペレーター権限は、デフォルトで全てチェックされています。

7.6.2.2 オンラインユーザー

カメラにログインしているユーザーの状態をリアルタイムで表示します。



ID	User Name	User Level	IP Address	Login Time
1	admin	Administrator	192.168.69.22	2022-05-31 21:29:19
2	admin	Administrator	192.168.69.112	2022-05-31 17:53:40
3	admin	Administrator	192.168.69.48	2022-05-31 17:53:40

表74. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
リフレッシュ	クリックすると、カメラにアクセスしているユーザーの最新ステータスが表示されます。
ID	カメラにログインしているユーザーのシリアルナンバーを録画します。 注意： <ul style="list-style-type: none"> 一覧で表示されるレコードは最大30件です。 同じユーザーが同じIPアドレスでカメラにログオンした場合、録画は1つだけです。
ユーザー名	カメラにログインしているユーザー名です。
ユーザーレベル	カメラにログインしているユーザーのレベルです。
IPアドレス	カメラにログインしているユーザーがいる端末のIPアドレスです。
ログイン時間	ユーザーがカメラにログインしたときのカメラシステム時刻です。

7.6.2.3 アクセスリスト

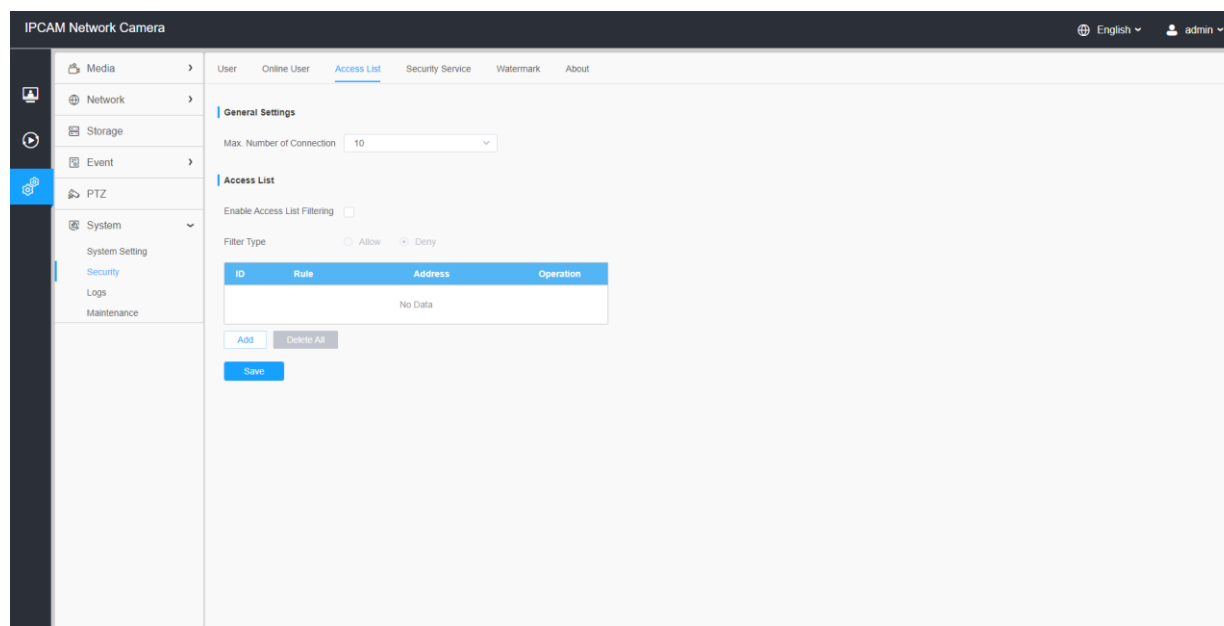
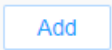
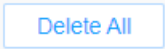




表75. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
一般設定	最大接続数： 同時ストリーミングの最大数を選択します。オプションは、無制限、1~10です。
アクセスリスト	アクセスリストフィルタリングを有効にする： あるIPアドレスに対してのアクセス、またはアクセス制限を可能にします。
	フィルターの種類： アクセスを許可または拒否します。

アクセスリスト		ルールSingle、Network、Rangeを選択可能です。 IPアドレスです。機器にアクセスするためのアドレスを入力します。
		アクセスリストをすべて削除します。
		アクセスリストで選択したIPを編集します。
		アクセスリストで選択したIPを削除します。
	設定を保存します。	

7.6.2.4 セキュリティサービス

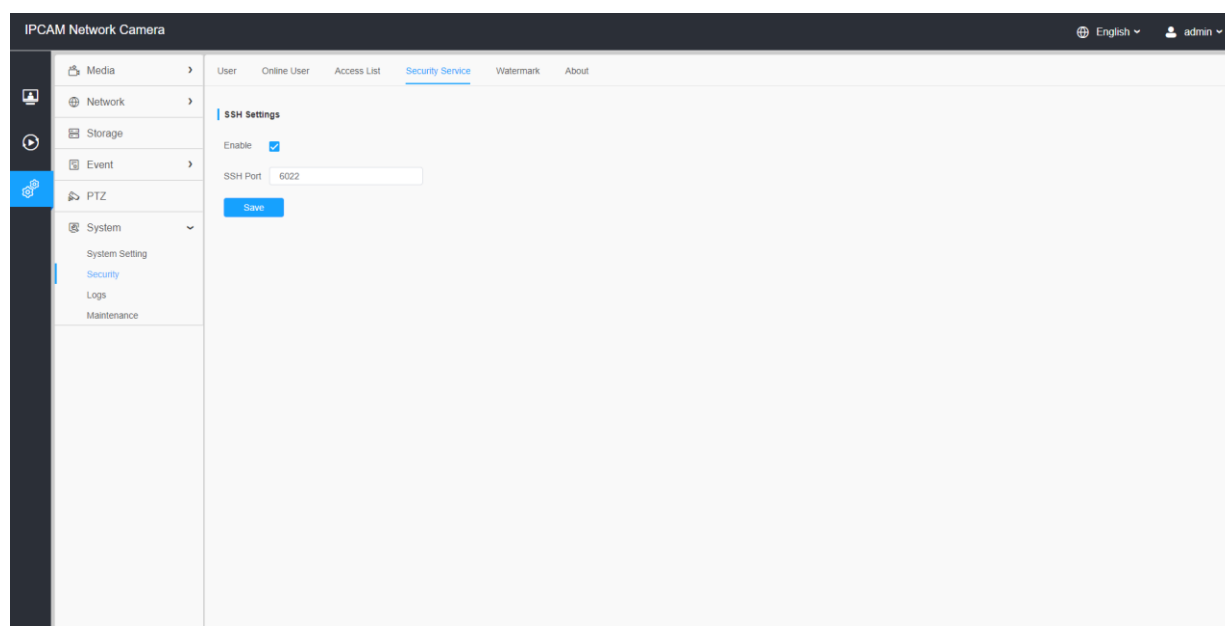
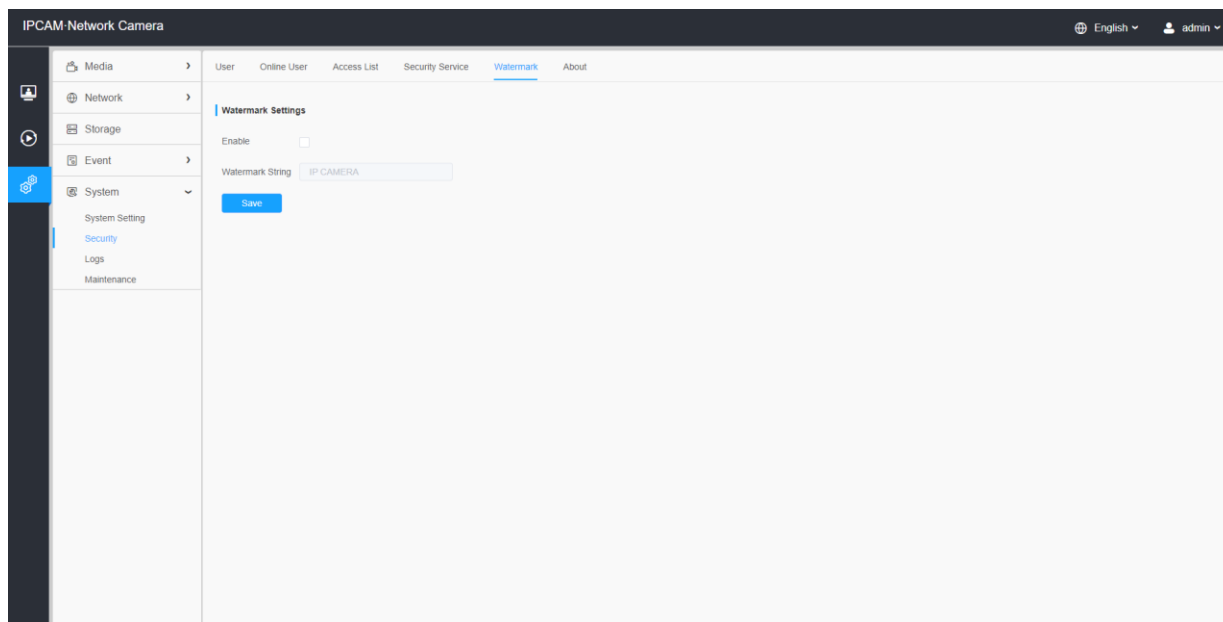


表76. ボタンの説明

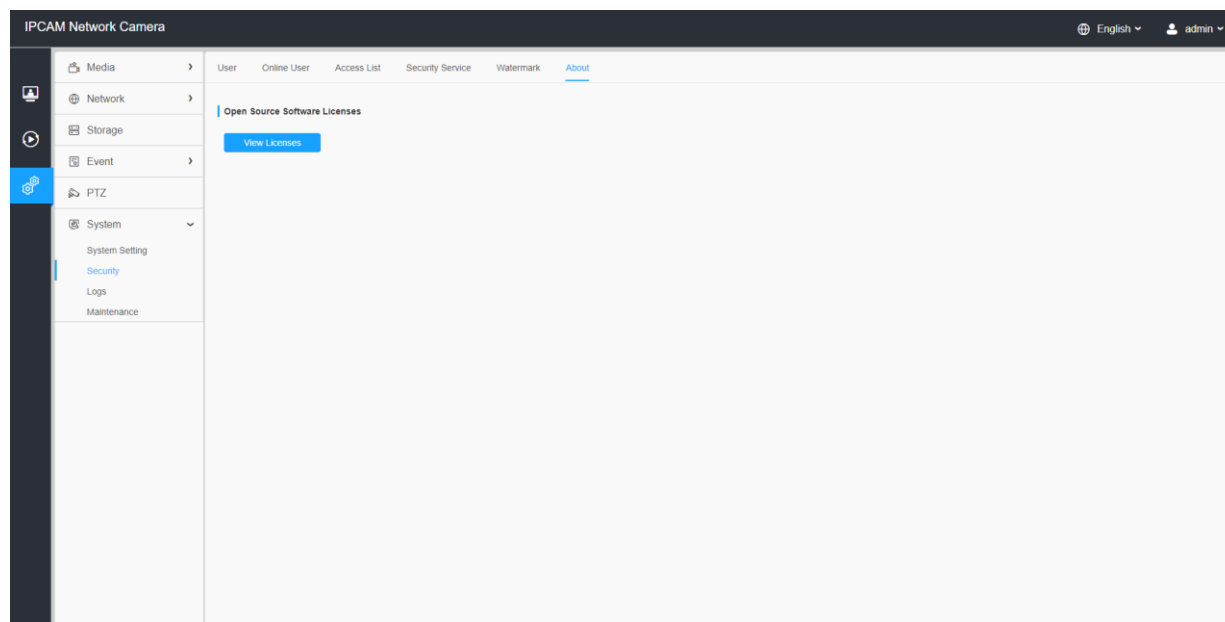
パラメータ	機能紹介
SSHの設定	Secure Shell (SSH)は多くの機能を持っています。Telnetを置き換えることができ、またFTPやPOP、さらにはPPPのための安全なチャンネルを提供します。

7.6.2.5 ウォーターマーク



ウォーターマークは、情報セキュリティの保護に有効な手法で、偽造防止や著作権保護のトレーサビリティを実現します。ネットワークカメラは、情報セキュリティを確保するために電子透かし機能をサポートしています。

7.6.2.6 OSSライセンス



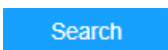

ライセンス表示ボタンをクリックすると、カメラに関するいくつかのオープンソースソフトウェアのライセンスが表示されます。

7.6.3 ログ

ログには、Web経由でカメラにアクセスした時間やIPの情報が含まれています。

Time	Main Type	Sub Type	Param	User	IP	Detail
2022-05-31 19:00:02	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.140.204	HTTP
2022-05-31 18:47:06	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.140.204	HTTP
2022-05-31 18:46:54	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.140.204	HTTP
2022-05-31 18:23:00	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.140.204	HTTP
2022-05-31 18:13:59	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.140.204	HTTP
2022-05-31 17:56:39	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:38	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:36	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:27	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:27	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:22	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:22	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:19	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:19	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:56:13	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:55:14	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:55:12	Operation	RTSP Session Start	-	admin	192.168.69.22	HTTP
2022-05-31 17:55:12	Operation	RTSP Session Stop	-	admin	192.168.69.22	HTTP

表77. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
メインタイプ	ログの種類は大きく分けて5つあります。All Type、Event、Operation、Information、Exception、Smartの5種類です。
サブタイプ	メインタイプを選択したことを前提に、サブタイプを選択してログの範囲を絞り込みます。
開始時間	タイムログが開始されます。
終了時刻	タイムログが終了します。
	ログを検索します。
	ログをエクスポートします。
次のページへ	ログのページ数を入力します。

7.6.4 メンテナンス

ここでは、システムメンテナンスと自動再起動を設定することができます。

7.6.4.1 システムメンテナンス

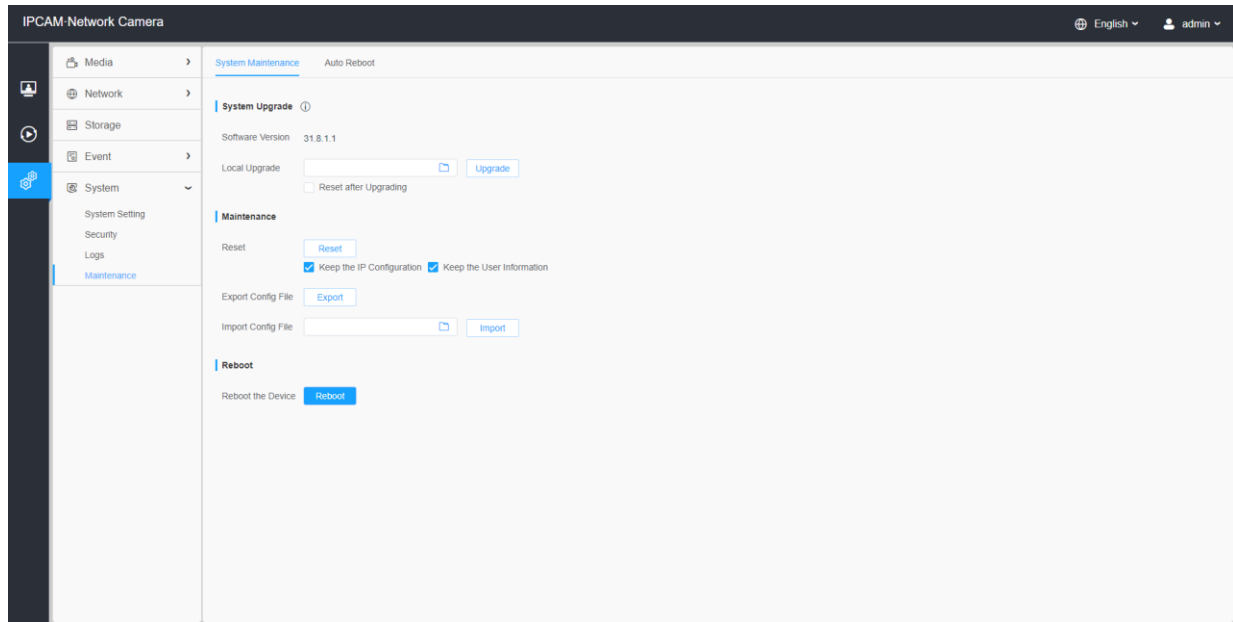


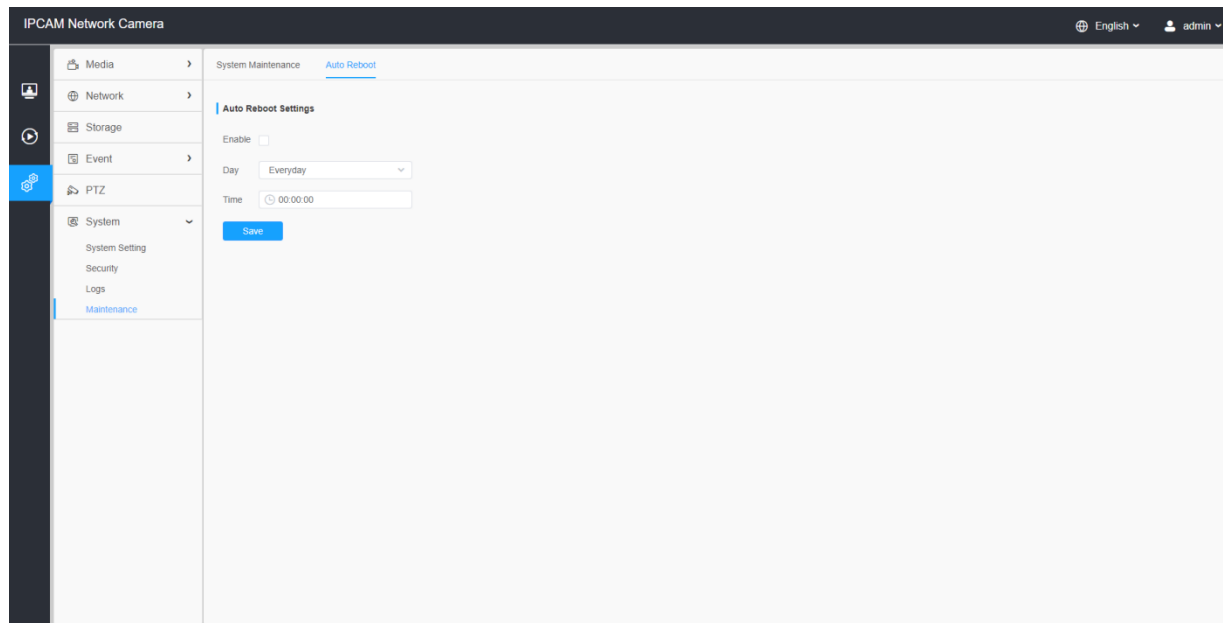


表78. ボタンの説明

パラメータ	機能紹介
<p>システムのアップグレード</p>	<p>ソフトウェアのバージョン：カメラのソフトウェアのバージョンです。</p> <p>ローカルアップグレード：「参照」ボタンをクリックして、アップグレードファイルを選択し、「アップグレード」ボタンをクリックして、アップグレードを開始します。システムが正常に再起動した後、アップグレードは完了します。</p> <p>アップグレード後にリセット：チェックを入れると、アップグレード後にカメラをリセットすることができます。</p> <p>オンラインアップグレード：ボタンをクリックし、弊社Webサイトで現在の最新ファームウェアのバージョンを確認し、“OK”をクリックすると、このバージョンにアップグレードされます。</p> <p>すでに最新版である場合は、「現在のバージョンは最新版です」と表示されます。</p> <div data-bbox="605 1644 1203 1705" style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> Tips × </div> <div data-bbox="678 1766 1117 1818" style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: #ffc107; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 5px;">!</div> The current version is the latest version. </div> <div data-bbox="846 1892 964 1938" style="background-color: #007bff; color: white; text-align: center; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;">OK</div> <p> 注意：アップグレード中は、機器の電源を切らないでください。バージョンアップを完了するために、デバイスが再起動されます。</p>

<p>メンテナンス</p>	<p>リセット：ボタンをクリックすると、カメラが工場出荷時の設定にリセットされます。</p> <p>IP設定を保持：このオプションをオンにすると、カメラをリセットするときにIP設定が保持されます。</p> <p>ユーザー情報を保持：このオプションをチェックすると、カメラをリセットするときにユーザー情報が保持されます。</p> <p>システム情報をエクスポート：このボタンをクリックすると、デバイスの動作状態のログとシステム情報がエクスポートされます。</p> <p> 注意：ファイル形式は“.txt”です。</p> <p>設定ファイルをエクスポート：このボタンをクリックすると、下図のようなウィンドウが表示されます。</p> <div data-bbox="592 636 1386 961" data-label="Form"> </div> <p>再度パスワードを入力・確認し、保存ボタンをクリックすると、設定ファイルがエクスポートされます。</p> <p>設定ファイルをインポート：このボタンをクリックすると、ウィンドウが表示され、「OK」をクリックすると設定が更新されます。</p> <p>「設定ファイルのパスワードを入力してください」というウィンドウが表示されますので、パスワードを入力して保存ボタンをクリックすると、設定ファイルがインポートされます。</p> <div data-bbox="592 1293 1386 1556" data-label="Form"> </div> <p> 注意：</p> <p>同じ設定ファイルをエクスポート、インポートする。パスワードは同じにする必要があります。</p>
<p>再起動</p>	<p>「再起動」ボタンをクリックすると、すぐに端末が再起動します。</p>

7.6.4.2 自動再起動



自動再起動機能を有効にするには、日付と時刻を設定します。長時間実行した後、カメラがオーバーロードした場合に、カスタマイズされた時間に従って自動的に再起動します。

7.7 トラブルシューティング

番号	トラブル内容	確認手順
1	カメラに接続できない	<p>■電源やLANケーブルなどの配線状況の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラへの電源が確実に供給されているか確認してください ・カメラと接続するパソコン等がLANケーブルや無線LANなどで同じネットワークに接続されているか確認してください <p>■WindowsPCを使用した確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属アプリケーションの「Smart Tools」でカメラを検索し、IP設定が正しく設定されているか確認してください ・ブラウザでカメラのIPアドレスが正しく入力されているか確認してください ・推奨ブラウザの「Google Chrome」を使用しているか確認してください <p>■NVRを使用した確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ検索でカメラのIP設定が正しく設定されているか確認してください
2	ログインパスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・リセットボタンで初期化をし、初期ユーザー名とパスワードで再度ログイン、設定してください ユーザー名「admin」 パスワード：「pass1234」
3	カメラの映像が表示されない	<p>■WindowsPCを使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラから表示するパソコン間の通信帯域が十分確保されているか確認してください ・ライブ画面よりActiveXをダウンロード、インストールしブラウザを再起動してください <p>■NVRを使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NVRとモニター間のケーブルが正しく接続しているか確認してください ・モニターの電源が入っているか確認してください ・NVRのWebUI（ブラウザでの画面）はH. 264以外の設定だと正しく表示されない場合があります カメラの映像設定を「H. 264」に設定してください ・解像度別に同時表示できる上限数があります 仕様書をご確認の上、接続しているカメラの解像度を再設定してください
4	音が出ない	<p>■WindowsPCを使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WindowsPCの音量設定を確認してください（「0」になっていないか、ミュートになっていないか） ・カメラの設定で音声ONになっているか確認してください <p>■NVRを使用した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラの設定で音声ONになっているか確認してください ・モニターの音量設定を確認してください（「0」になっていないか、ミュートになっていないか）
5	映像の明るさや色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・設定画面からカメラの映像に関する設定（明るさやRGB、逆光補正等）を変更してください



Network Camera

取扱説明書
Network Camera User Manual

V4.01 : 2022/12

株式会社プロテック

【本社】〒721-0973
広島県福山市南蔵王町6-18-40
TEL : 084-943-6444 FAX : 084-943-6446

【東京営業所】〒105-0013
東京都港区浜松町2-7-8加藤ビル2階
TEL : 03-6435-7905 FAX : 03-6435-7908